DocuSign

2022-03-04

DocuSign eSignature for Salesforce ユーザーガイド

2022-03-04

目次

DocuSign アプリケーションランチャーの機能にアクセスする..... 6

Salesforce ユーザーの翻訳の有効化..... 6

DocuSign eSignature for Salesforce でエンベロープを作成して送信する..... 7

DocuSign アプリケーションランチャーの標準の[DocuSign で送信]ボタンを使用してエンベロープを送信する..... 8

ステップ 1: 標準の「DocuSign で送信」エンベロープに文書またはテンプレートを追加する..... 8

ステップ 2: エンベロープに受信者を追加する..... 10

ステップ 3: DocuSign と Salesforce のフィールドを追加してエンベロープを送信する..... 12

DocuSign エンベロープテンプレートボタンを使って文書を署名者に送信する..... 14

ステップ 1: 文書を表示または追加する..... 15

ステップ 2: 受信者を表示または追加する..... 16

ステップ 3: DocuSign と Salesforce のフィールドを表示または追加してエンベロープを送信する..... 17

クイック送信用の DocuSign エンベロープテンプレートを使用してエンベロープを送信する..... 19

フィールドの配置のみのエンベロープテンプレートのボタンを使って Salesforce レコードからエンベロープを送信する..... 20

エンベロープテンプレートのボタン[今すぐ送信]を使って Salesforce レコードからエンベロープを送信する..... 22

DocuSign Negotiate[アクション]メニューを使用して文書を署名者に送信する..... 22

ステップ 1: エンベロープに追加する文書を選択する..... 23

ステップ 2: エンベロープに受信者を追加する..... 24

ステップ 3: DocuSign と Salesforce のフィールドを追加してエンベロープを送信する..... 25

DocuSign で Salesforce Experience Cloud ユーザーとして署名する..... 27

[DocuSign エンベロープのステータス]コンポーネントでリマインダーを送信したりエンベロープを無効にしたりする..... 28

アクティブな DocuSign エンベロープのリマインダーを送信する..... 29

アクティブな DocuSign エンベロープを無効化する..... 30

エンベロープに Salesforce 文書を追加する..... 31

標準の[DocuSign で送信]エンベロープに Salesforce ファイルを追加する..... 32

DocuSign Negotiate エンベロープに Salesforce ファイルを追加する..... 33

エンベロープテンプレートのオプション: [文書]ステップ 33
エンベロープテンプレートにアップロードした文書の名前を変更する 34
エンベロープテンプレートにアップロードした文書をプレビューする 35
エンベロープテンプレートにアップロードされた文書を削除する 35
エンベロープテンプレートのオプション: [受信者]ステップ 37
エンベロープテンプレートの[受信者]ステップにアクセスするには 37
エンベロープテンプレートの受信者タイプ 38
エンベロープテンプレートの受信者アクション 39
エンベロープテンプレートの受信者アクションを変更する 39
受信者の送信オプション: アクセスコード、同席での署名、今すぐ署名、SMS など 40
エンベロープテンプレートの受信者に送信オプションを追加する 41
エンベロープテンプレートで受信者の詳細を編集する 43
エンベロープテンプレートで関連リストの受信者にフィルターを適用する 44
エンベロープテンプレートの受信者の署名順を変更する 45
受信者の署名順のフロー図を表示する 46
受信者に送信されるメールの件名とメッセージをカスタマイズする 47
エンベロープテンプレートから受信者を削除する 48
[配信]オプションを使用してメールやテキストメッセージ(SMS)で eSignature for Salesforce エンベロープを送信する 49
エンベロープテンプレートの受信者に SMS(テキストメッセージ)配信オプションを追加する 51
エンベロープの受信者に SMS 配信オプションを追加する 52
差し込みフィールドを使って受信者のメールアドレスと名前をオブジェクトから追加する . . 53
差し込みフィールド構文を使用してエンベロープに[役割の指定]受信者を追加する 55
差出人オプションを使用して差出人を受信者として追加する 56
エンベロープテンプレートに同席で署名する受信者を追加する 57
[今すぐ署名]オプションによるエンベロープ送信直後の差出人による署名 59
エンベロープテンプレートのオプション: [フィールドの配置]ステップ 60
エンベロープテンプレートに追加するフィールドのカテゴリと機能 60
sqm1596607417112.html . . . . .
qpi1597294213248.html . . . . .
標準 eSignature フィールドの設定 61
フィールド配置アクション: コピー、貼り付け、元に戻す、やり直す、拡大 68
[フィールドの配置]のオプション: [アクション]ボタン 69
受信者のプレビューアクション: 表示形式とデバイスに応じた表示 70

［フィールドの配置］アクション: ［サムネイル］メニュー. 70
カスタムフィールド機能を使用してエンベロープテンプレートに新しいフィールドを作成する. 73
自動配置テキストを使用して受信者のフィールドを自動配置するには. 74
eSignature for Salesforce エンベロープの文書に自動配置テキストを追加する. . . 77
エンベロープテンプレートの［フィールドの配置］ステップにアクセスするには. 79
Salesforce ユーザーの翻訳の有効化. 80
eSignature for Salesforce トラブルシューティングガイド. 80
エンベロープテンプレートに受信者の DocuSign 役割と eSignature フィールドがない. . . . 81
エンベロープテンプレートのエラー:「このエンベロープにはアクセスできません」. 83
文書プレビューエラー:「文書の生成時に問題が発生しました」. 84
PDF ファイルをエンベロープテンプレートにアップロードするとエラーメッセージ「PDF ファイルの検証が失敗しました」が表示される. 86
ユーザーの再認証が 1 時間ごとに要求される. 88
エンベロープと受信者のステータスが更新されない. 89
文書と日付が Salesforce 側に書き戻されない. 90
DocuSign 接続アプリのログイン履歴に「制限された IP（Restricted IP）」エラーが記録される. 91
エンベロープテンプレートエラー:「ドロップダウンフィールドのいくつかにオプションがありません」. 93
Gen から CLM にアップグレードした後で CLM の権限が有効になるまで 1 時間ほどかかる. 93
DocuSign と Salesforce のリレーションにより、Gen for Billing 管理者が DocuSign アプリケーションランチャーをアンインストールできない. 94
Gen 文書を署名者に送信するときに Salesforce 文書が重複して表示される. 95
差し込みフィールドの作成時にエンベロープテンプレートのエラー「Salesforce サービスへの接続に失敗しました」が発生する. 96
DocuSign と Salesforce の接続を解除して再接続した後もエンベロープテンプレートに差し込みフィールドを追加できない. 97
Gen テンプレートとエンベロープテンプレートのエラー:「ユーザーは、ロックの所有者ではありません」. 98
iOS 用の Safari や Salesforce モバイルアプリでエンベロープの送信や署名ができない. . 99
Salesforce で DocuSign のボタンを選択したときにエラーメッセージ「The link you followed wasn’t valid for your session. Return to the Previous Page, Refresh It, and Try Again.」が表示される。. 99
Salesforce API の呼び出し時に「INVALID_SESSION_ID」というエラーメッセージが表示される. 100

Salesforce API の呼び出し時に「Object reference not set to an instance of an object」というエラーメッセージが表示される. 101
エンベロープテンプレートに PDF をアップロードするとエラー「このファイルのサイズが上限を超えています」が表示される. 102
DocuSign eSignature for Salesforce - 用語集. 103

DocuSign アプリケーションランチャーの機能にアクセスする

DocuSign Apps Launcher for Salesforce（DocuSign アプリケーションランチャー）パッケージは複数のアプリで構成されており、Salesforce AppExchange からインストールできます。

以下のアプリが含まれています。

- **DocuSign Gen for Salesforce**
- **DocuSign Negotiate for Salesforce**
- **DocuSign eSignature for Salesforce**
- **DocuSign CLM for Salesforce**

これらのアプリの設定や機能にアクセスするには、以下の手順に従います。

Salesforce の管理者として、[DocuSign アプリケーションランチャー]ページにアクセスします。

a. Salesforce 画面の左上にある[アプリケーションランチャー]アイコン（）をクリックします。
b. [すべて表示]リンクを選択します。
c. [DocuSign Apps Launcher]タイルを選択します。

以上の手順により、DocuSign アプリケーションランチャーパッケージのランディングページが開きます。このページから、各アプリや機能の設定を管理できます。

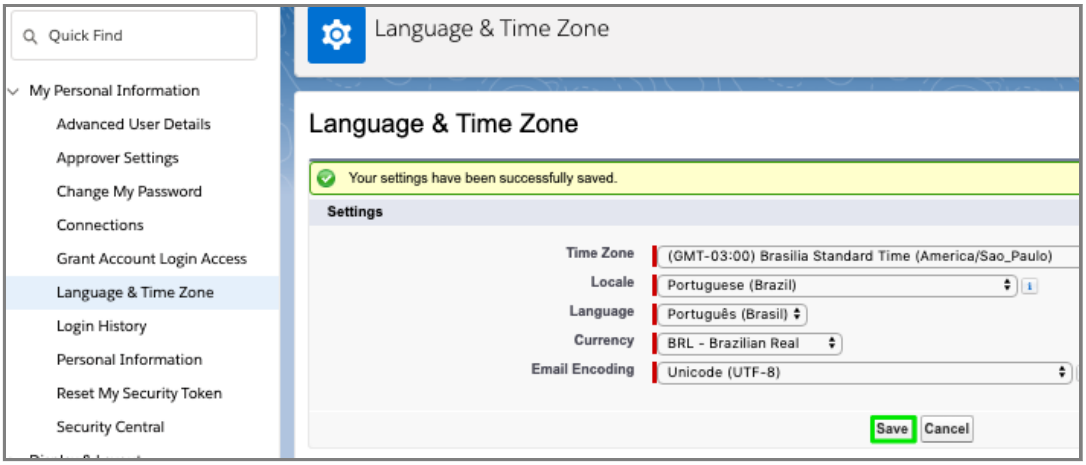
Salesforce ユーザーの翻訳の有効化

DocuSign アプリケーションランチャーの表示言語を変更するには、Salesforce の個人設定で言語設定を変更します。

DocuSign アプリケーションランチャーの表示言語を変更するには、Salesforce の個人設定で言語設定を変更します。

1. Salesforce ユーザーとして[言語とタイムゾーン]ページにアクセスします。
   a. ページ右上の Salesforce ユーザーボタン（）を選択します。
   b. [設定]リンクを選択します。
   c. ページの左側で[言語とタイムゾーン]を選択します。
2. [言語]ドロップダウンメニューから、表示言語を選択します。
3. [保存]を選択します。

> **注:** ページ上部に「設定が正常に保存されました」というメッセージが表示されます。



4. Web ブラウザーのキャッシュをクリアして、Web ブラウザーを再起動します。

以上の手順により、指定した言語で DocuSign アプリケーションランチャーの各アプリが表示されるようになりました。

DocuSign eSignature for Salesforce でエンベロープを作成して送信する

DocuSign eSignature for Salesforce では、いくつかの方法でエンベロープを作成して送信できます。標準の[DocuSign で送信]ボタンやエンベロープテンプレートのカスタムボタンを使用したり、[DocuSign ファイル]セクションのアクションメニューを使用したりできます。

DocuSign eSignature for Salesforce でエンベロープを作成して送信するには、以下のいずれかの方法を使用します。

- 標準の[DocuSign で送信]ボタン:
  - 3 ステップで送信します。
  - 差出人が文書、受信者、および eSignature フィールドを追加します。
  - 文書、受信者、および eSignature フィールドは事前設定されていません。
- デフォルトのエンベロープテンプレート:
  - 3 ステップで送信します。
  - 文書、受信者、eSignature フィールドは事前設定されています。
  - 差出人は文書、受信者、eSignature フィールドを追加したり事前設定のものを編集したりできます。
- クイック送信用のエンベロープテンプレート:
  - 1 ステップで送信します。
  - 文書、受信者、eSignature フィールドは事前設定されています。
  - 差出人は、文書や eSignature フィールドを追加したり事前設定のものを編集したりできません。
  - 署名者以外の受信者の追加、メールの件名やメッセージの編集、およびリマインダーや有効期限の変更を行うことは可能です。
- フィールドの配置のみのエンベロープテンプレート:

差出人に許可されるのは、文書への DocuSign フィールドおよび Salesforce フィールドの追加のみです。

- 「今すぐ送信」用のエンベロープテンプレート:

  差出人がレコード上でこのタイプのテンプレートのボタンを選択すると、事前設定のエンベロープが直ちに送信されます。

- [DocuSign ファイル]のアクションメニュー:
  - 3 ステップで送信します。
  - 文書、受信者、eSignature フィールドは事前設定されています。
  - 差出人は文書、受信者、eSignature フィールドを追加したり事前設定のものを編集したりできます。

詳しくは、以下のトピックを参照してください。

- DocuSign で送信
- デフォルトの DocuSign エンベロープテンプレート
- クイック送信用の DocuSign エンベロープテンプレート
- フィールドの配置のみのエンベロープテンプレート
- 「今すぐ送信」用のエンベロープテンプレート
- [DocuSign ファイル]のアクションメニュー

DocuSign アプリケーションランチャーの標準の[DocuSign で送信]ボタンを使用してエンベロープを送信する

DocuSign アプリケーションランチャーパッケージに組み込まれている DocuSign for Salesforce アプリを使用すると、DocuSign eSignature の機能を使って契約書などの文書を署名者に送信できます。

DocuSign アプリケーションランチャーに標準で用意されている[DocuSign で送信]ボタンを使用すると、エンベロープを作成して署名者に送信できます。
このプロセスの最初のステップでは、エンベロープに文書、受信者、およびフィールドが追加されていません。

エンベロープの作成プロセスは、以下の 3 つのステージで構成されています。

- ステップ 1: 標準の「DocuSign で送信」エンベロープに文書またはテンプレートを追加する
- ステップ 2: エンベロープに受信者を追加する
- ステップ 3: DocuSign と Salesforce のフィールドを追加してエンベロープを送信する

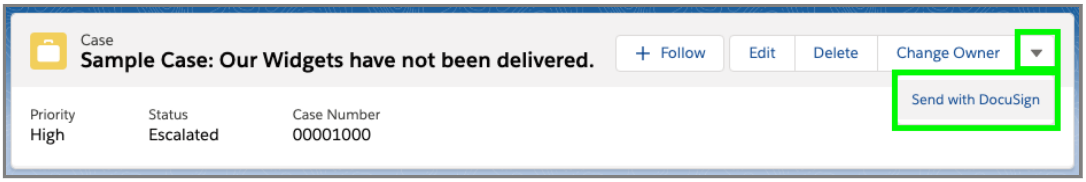
標準の[DocuSign で送信]ボタンを使用して、エンベロープを作成して送信する手順は以下のとおりです。

ステップ 1: 標準の「DocuSign で送信」エンベロープに文書またはテンプレートを追加する

標準の「DocuSign で送信」エンベロープに文書またはテンプレートを追加するには、以下の手順に従います。

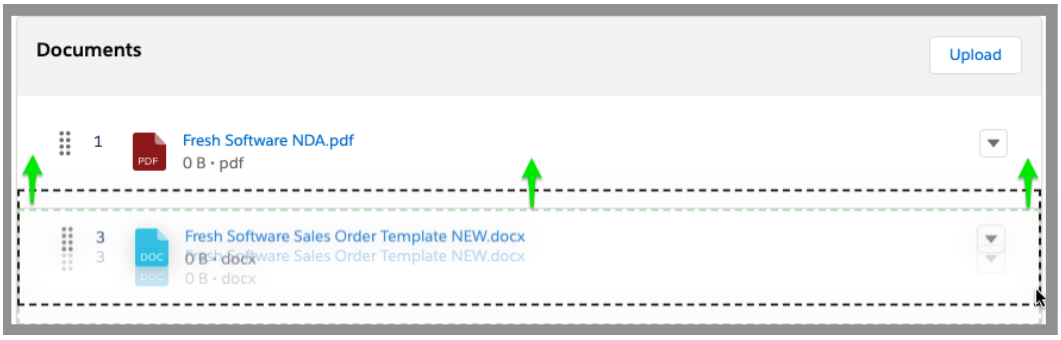
標準の「DocuSign で送信」エンベロープに文書またはテンプレートを追加するには、以下の手順に従います。

1. Salesforce レコード（[取引先]や[商談]など）を開きます。
2. ページ右上の[DocuSign で送信]を選択します。

> **注:** 画面の幅によっては、ボタンバーの下向き矢印（▼）をクリックする必要があります。
>
> 
>

[文書]ステップのページが開き、レコードの[メモ＆添付ファイル]セクションにあるすべての文書が表示されます。

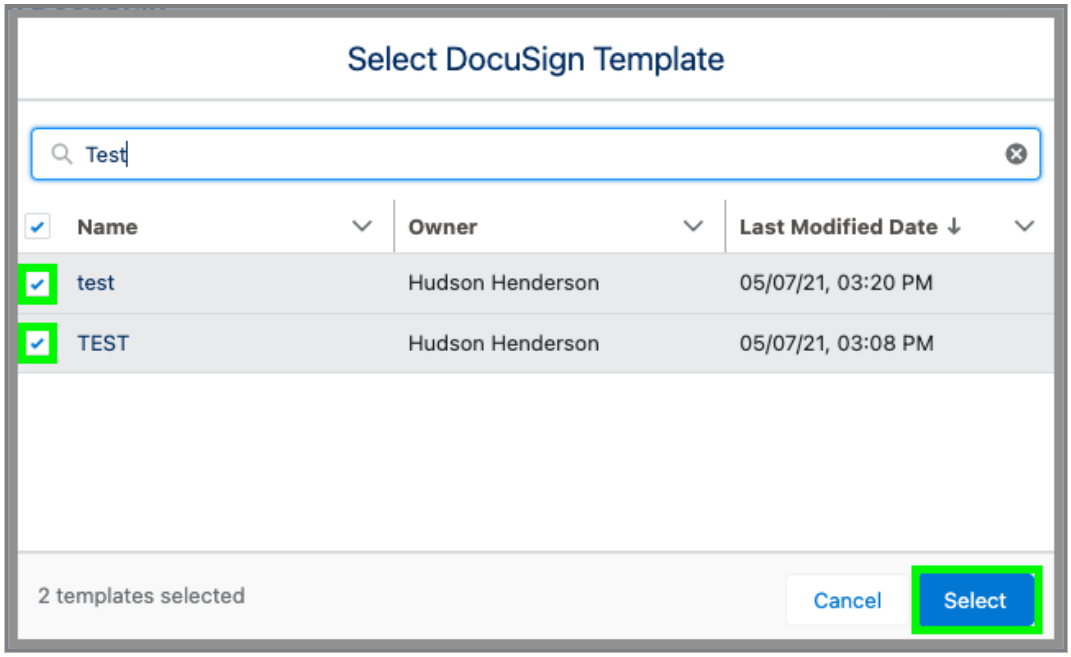
3. エンベロープに追加する文書を選択して並べ替えます。
   - 文書: [メモ＆添付ファイル]の文書のチェックボックスをオンにします。
   - アップロード: デバイス上の文書を追加するには、このボタンを選択します。
   - Salesforce から追加: Salesforce ファイルから文書を追加するには、このボタンを選択します。
   - 文書をドラッグしてエンベロープでの表示順を変更します。



4. テンプレートの選択: 必要に応じて、既存の DocuSign テンプレートをエンベロープに適用します。
   a. [テンプレートの選択]を選択します。[DocuSign テンプレートの選択]ダイアログボックスが開きます。

> **注:** このダイアログボックスには、自分の DocuSign アカウントのテンプレートとすべてのエンベロープテンプレートが表示されます。

   b. エンベロープに適用するテンプレートのチェックボックスをオンにします。
   c. [選択]を選択します。



[DocuSign テンプレートの選択]ダイアログボックスが閉じます。テンプレートに設定されているすべての文書、受信者、および DocuSign フィールドがエンベロープに適用されます。

5. [次へ]を選択します。[受信者]ステップのページが開きます。

ステップ 1 が完了しました。「ステップ 2: エンベロープに受信者を追加する」に進みます。
関連情報

エンベロープに Salesforce 文書を追加する

ステップ 2: エンベロープに受信者を追加する

エンベロープに受信者を追加するには、以下の手順に従います。Salesforce 組織や DocuSign アカウントから追加したり、名前とメールアドレスを入力したりできます。

エンベロープに受信者を追加するには、以下の手順に従います。Salesforce 組織や DocuSign アカウントから追加したり、名前とメールアドレスを入力したりできます。

注: 前のステップで[テンプレートの選択]ボタンを選択した場合は、そのテンプレートに設定されている受信者が表示されます。受信者が重複する場合は、以下のルールが適用されます。

- 名前、メールアドレス、役割、および署名順が一致している場合は統合されます。
- 役割、および署名順が一致している空の受信者プレースホルダーは統合されます。
- 重複する受信者の以下の情報が異なっている場合は、新しく追加されたテンプレートの設定が適用されます。
  - SMS/電話
  - アクセスコード

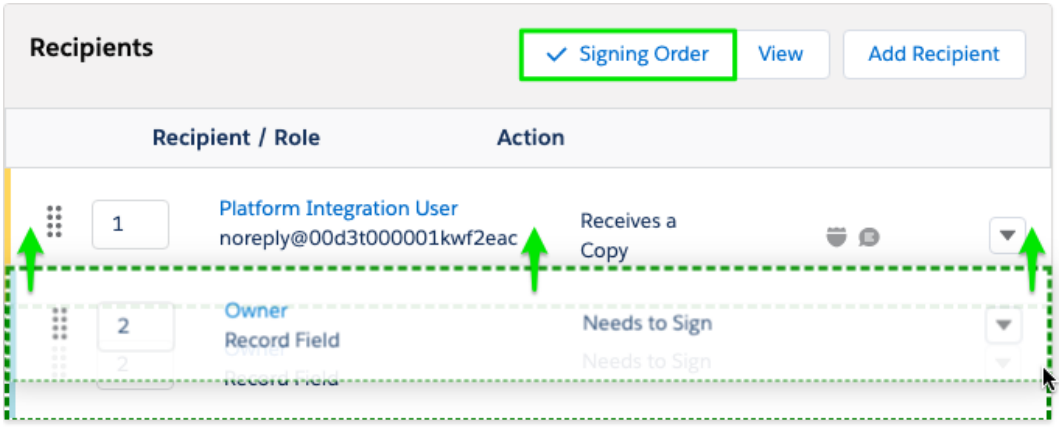
- プライベートメッセージ

1. [受信者の追加]を選択します。[受信者の追加]ダイアログボックスが開きます。
2. エンベロープに受信者を追加します。
   a. 左側の列から、いずれかの受信者タイプを選択します。
      - Salesforce から: Salesforce のユーザーまたは取引責任者の名前を入力します。
      - 名前とメールアドレス: 名前とメールアドレスを入力します。
      - 署名グループ: 接続されている DocuSign アカウントで設定されている受信者のグループを追加します。
   b. アクション: ドロップダウンメニューから、受信者に割り当てるアクションを選択します。
      - 署名が必要: 文書への署名が必要です。
      - 文書のコピーを受信: 文書のコピーを受け取ります。文書を確認したり署名したりする必要はありません。
      - 表示が必要: 文書の確認が必要です。署名する必要はありません。
      - 受信者の指定: 受信者のプレースホルダー(「承認者」など)に名前やメールアドレスを追加できる受信者です。
      - 編集を許可: 受信者を変更したり、エンベロープの内容を変更(修正)したりできる受信者です。
   c. 必要に応じて、以下の操作を行います。
      i. 配信: エンベロープをメールまたは SMS(テキストメッセージ)で送信します。

      > **注:** SMS 配信機能を使用するには、アカウント全体で[SMS での文書送信を許可する]オプションが有効になっている必要があります。

      ii. 役割の追加: 差出人が後で名前やメールアドレスを指定できるようにするためのプレースホルダー(「承認者」など)を追加します。
      iii. アクセス認証の追加
         - SMS/電話: 受信者のモバイルデバイスにアクセスコードを送信し、署名プロセスのセキュリティを強化します。
         - アクセスコード: 署名プロセスを開始するときに受信者が入力しなければならないコードを作成します。
      iv. プライベートメッセージの追加: 特定の受信者またはグループのみに宛てたメッセージを追加します。
   d. [選択]を選択します。

   [受信者の追加]ダイアログボックスが閉じます。[受信者]リストに受信者が表示されます。
3. 必要に応じて、以下の操作を行います。
   - 署名順:
      - [署名順]を選択します。各受信者の署名順を示す番号が表示されます。
      - 受信者をドラッグして署名順を変更します。



- 表示: このボタンを選択すると、署名順のフロー図が表示されます。
- メールの件名: メールの件名を 100 文字以内で入力します。
- メールメッセージ: メールのメッセージを 2,000 文字以内で入力します。
- その他のオプション: 右矢印(>)を選択してオプションを選択します。
  - リマインダー: 受信者へのリマインダーの送信間隔をドロップダウンメニューから選択します。
  - 有効期限: エンベロープの有効期限を設定します。

4. ページ右上の[次へ]を選択します。DocuSign eSignature フィールドの追加画面が開きます。

ステップ 2 が完了しました。「ステップ 3: DocuSign と Salesforce のフィールドを追加してエンベロープを送信する」に進みます。
関連情報

エンベロープテンプレートのオプション: [受信者]ステップ

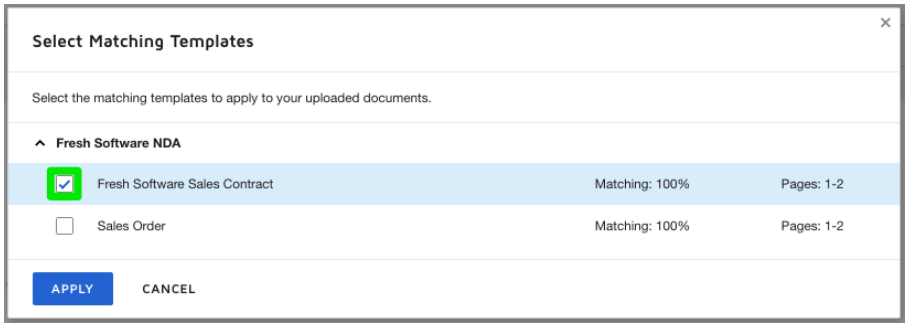
ステップ 3: DocuSign と Salesforce のフィールドを追加してエンベロープを送信する

このステップでは、DocuSign と Salesforce のフィールドを文書上に配置します。

DocuSign や Salesforce のフィールドを文書上に配置するには、以下の手順に従います。

注: Salesforce 組織に既存の DocuSign エンベロープテンプレートがある場合は、[マッチしたテンプレートの選択]ダイアログボックスが開きます。ここでは、以下のオプションを選択できます。

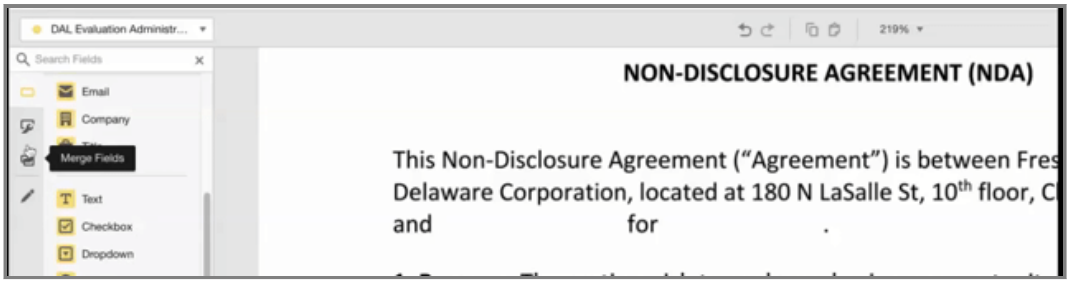
- エンベロープに追加するテンプレートのチェックボックスをオンにして、[適用]を選択します。
- エンベロープテンプレートの内容を適用しない場合は、[キャンセル]を選択します。



1. 文書に DocuSign フィールドを追加します。
   a. ページ左側で[標準フィールド]タブ( )を選択します。DocuSign の標準フィールドが表示されます。
   b. DocuSign フィールド([署名]、[イニシャル]など)を選択します。
   c. フィールドを文書上にドラッグして配置します。



2. 文書に Salesforce フィールドを追加します。
   a. ページ左側で[差し込みフィールド]タブ( )を選択します。Salesforce の差し込みフィールドが表示されます。
   b. フィールドを選択します。目的のフィールドが表示されない場合は、矢印を展開してほかのフィールドを表示したり、[検索ボックス]にフィールド名を入力したりできます。
   c. フィールドを文書上にドラッグして配置します。



3. 必要に応じて、以下の操作を行います。
   - 受信者のプレビュー: このボタンを選択すると、生成文書のプレビューを確認できます。
   - 受信者の切り替え: 別の受信者用のフィールドを追加するには、以下の操作を行います。
     - ページの左上にある受信者名の横の下矢印(▼)を選択します。
     - ドロップダウンメニューから別の受信者を選択します。

- この受信者に割り当てる DocuSign フィールドを文書上にドラッグして配置します。

注: 各受信者のフィールドは、それぞれ別の色（黄色、青など）で表されます。



4. ページ右上の[送信]を選択します。

以上の手順により、エンベロープが作成および送信されました。
関連情報

エンベロープテンプレートのオプション: [フィールドの配置]ステップ

DocuSign エンベロープテンプレートボタンを使って文書を署名者に送信する

ここでは、エンベロープテンプレートのカスタムボタンを使用して、文書を署名者に送信する手順について説明します。

ここでは、エンベロープテンプレートのカスタムボタンを使用して、文書を署名者に送信する手順について説明します。

Salesforce 管理者が作成したエンベロープテンプレートには、すでに文書や受信者が追加されており、文書上にフィールドが配置されています。

差出人ユーザーは、以下のオプションを使用できます。

- テンプレートに追加されている文書をチェックボックスで選択または選択解除する。
- 新しい受信者を追加したり、その受信者設定を変更したりする。
- 既存のエンベロープテンプレート受信者の以下の設定を変更する。
  - 受信者の[名前]と[メールアドレス]（入力済みでない場合）
  - [配信]ドロップダウンメニュー（[メール]または[メールと SMS]）
  - 配信方法として[メールと SMS]を選択した場合の[電話番号]
  - [アクセス認証]のすべてのボックス（入力済みでない場合）
    - SMS/電話: セキュリティ認証用の電話番号の入力
    - アクセスコード: セキュリティ認証用のアクセスコードの入力
    - X: SMS 番号やアクセスコードの削除
  - [プライベートメッセージ]（入力済みでない場合）
- ステップ 1: 文書を表示または追加する

- ステップ 2: 受信者を表示または追加する
- ステップ 3: DocuSign と Salesforce のフィールドを表示または追加してエンベロープを送信する

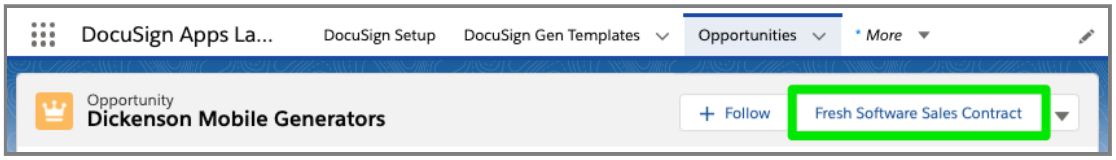
DocuSign エンベロープテンプレートのボタンを使ってエンベロープを作成して署名者に送信するには、以下の手順に従います。

ステップ 1: 文書を表示または追加する

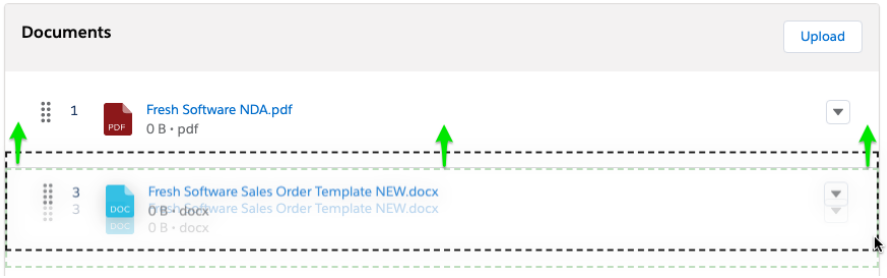
この時点ですでにエンベロープにいくつかの文書が追加されています。これらは、管理者がエンベロープテンプレートに追加したものです。ここでは、文書を表示したり、追加したりします。

注: この時点ですでにエンベロープにいくつかの文書が追加されています。これらは、管理者がエンベロープテンプレートに追加したものです。ここでは、これらの文書を表示したり新しい文書を追加したりする手順について説明します。

1. Salesforce レコード([取引先]や[商談]など)を開きます。
2. ページ右上のエンベロープテンプレートのカスタムボタンを選択します。
   ボタンの名前は管理者によって設定されています。画面の幅によっては、ボタンバーの下向き矢印(▼)をクリックする必要があります。



   [文書]ページが開き、管理者が追加した文書が表示されます。
3. 必要に応じて、文書を追加または変更するオプションを選択します。
   - アップロード: デバイス上の文書を追加するには、このボタンを選択します。
   - Salesforce から追加: Salesforce ファイルから文書を追加するには、このボタンを選択します。
   - 文書をドラッグしてエンベロープでの表示順を変更します。



4. ページ右上の[次へ]を選択します。
   ステップ 1 が完了しました。「ステップ 2: 受信者を表示または追加する」に進みます。

関連情報

エンベロープに Salesforce 文書を追加する

ステップ 2: 受信者を表示または追加する

この時点ですでにエンベロープに何人かの受信者が追加されています。これらは、管理者がエンベロープテンプレートに追加したものです。ここでは、これらの受信者を表示したり新しい受信者を追加したりする手順について説明します。

注: この時点ですでにエンベロープに何人かの受信者が追加されています。これらは、管理者がエンベロープテンプレートに追加したものです。ここでは、これらの受信者を表示したり新しい受信者を追加したりする手順について説明します。

1. [受信者の追加]を選択します。
   [受信者の追加]ダイアログボックスが開きます。
2. エンベロープに受信者を追加します。
   a. 左側の列から、いずれかの受信者タイプを選択します。
      - Salesforce から: Salesforce のユーザーまたは取引責任者の名前またはメールアドレスを入力します。
      - 名前とメールアドレスの指定: 受信者の名前とメールアドレスを入力します。
      - 署名グループ: 接続されている DocuSign アカウントで設定されている受信者のグループを追加します。

   b. アクション: ドロップダウンメニューから、受信者に割り当てるアクションを選択します。
      - 署名が必要: 文書への署名が必要です。
      - 文書のコピーを受信: 文書のコピーを受け取ります。文書を確認したり署名したりする必要はありません。
      - 表示が必要: 文書の確認が必要です。署名する必要はありません。
      - 受信者の指定: 受信者のプレースホルダー(「承認者」など)に名前やメールアドレスを追加できる受信者です。
      - 編集を許可: 受信者を変更したり、エンベロープの内容を変更(修正)したりできる受信者です。

   c. 必要に応じて、以下の操作を行います。
      i. 配信: エンベロープをメールまたは SMS(テキストメッセージ)で送信します。

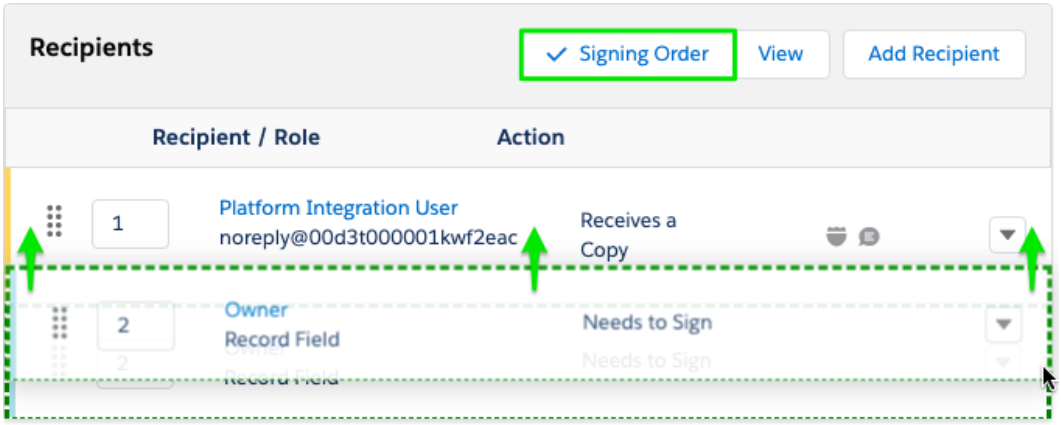
      注: SMS 配信機能を使用するには、アカウント全体で[SMS での文書送信を許可する]オプションが有効になっている必要があります。

      ii. 役割の追加: 差出人が後で名前やメールアドレスを指定できるようにするためのプレースホルダー(「承認者」など)を追加します。
      iii. アクセス認証の追加
         - SMS/電話: 受信者のモバイルデバイスにアクセスコードを送信し、署名プロセスのセキュリティを強化します。
         - アクセスコード: 署名プロセスを開始するときに受信者が入力しなければならないコードを作成します。

      iv. プライベートメッセージの追加: 特定の受信者またはグループのみに宛てたメッセージを追加します。
3. [選択]を選択します。

[受信者の追加]ダイアログボックスが閉じます。[受信者]リストに受信者が表示されます。

4. 必要に応じて、以下の操作を行います。
   - 署名順:
     - [署名順]を選択します。各受信者の署名順を示す番号が表示されます。
     - 受信者をドラッグして署名順を変更します。



   - 表示: このボタンを選択すると、署名順のフロー図が表示されます。
   - メールの件名: メールの件名を 100 文字以内で入力します。
   - メールメッセージ: メールのメッセージを 2,000 文字以内で入力します。
   - その他のオプション: 右矢印(>)を選択してオプションを選択します。
     - リマインダー: 受信者へのリマインダーの送信間隔をドロップダウンメニューから選択します。
     - 有効期限: エンベロープの有効期限を設定します。
5. ページ右上の[次へ]を選択します。
   DocuSign eSignature フィールドの追加画面が開きます。

ステップ 2 が完了しました。「ステップ 3: DocuSign と Salesforce のフィールドを表示または追加してエンベロープを送信する」に進みます。
関連情報

エンベロープテンプレートのオプション: [受信者]ステップ

ステップ 3: DocuSign と Salesforce のフィールドを表示または追加してエンベロープを送信する

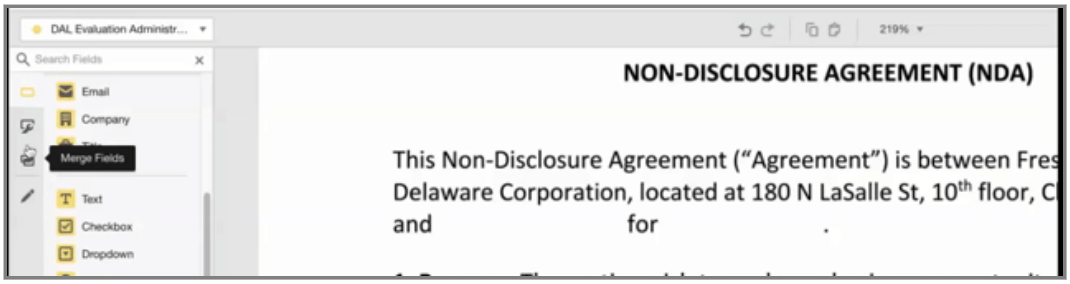
この時点ですでに文書上にいくつかのフィールドが追加されています。これらは、管理者がエンベロープテンプレートに追加したものです。ここでは、これらのフィールドを表示したり新しいフィールドを追加したりする手順について説明します。

注: この時点ですでに文書上にいくつかのフィールドが追加されています。これらは、管理者がエンベロープテンプレートに追加したものです。ここでは、これらのフィールドを表示したり新しいフィールドを追加したりする手順について説明します。

1. 文書に DocuSign フィールドを追加します。
   a. ページ左側で[標準フィールド]タブ( )を選択します。DocuSign の標準フィールドが表示されます。
   b. DocuSign フィールド([署名]、[イニシャル]など)を選択します。
   c. フィールドを文書上にドラッグして配置します。



2. 文書に Salesforce フィールドを追加します。
   a. ページ左側で[差し込みフィールド]タブ( )を選択します。Salesforce の差し込みフィールドが表示されます。
   b. フィールドを選択します。目的のフィールドが表示されない場合は、矢印を展開してほかのフィールドを表示したり、[検索ボックス]にフィールド名を入力したりできます。
   c. フィールドを文書上にドラッグして配置します。



3. 必要に応じて、以下の操作を行います。
   - 受信者のプレビュー: このボタンを選択すると、生成文書のプレビューを確認できます。
   - 受信者の切り替え: 別の受信者用のフィールドを追加するには、以下の操作を行います。
     - 矢印(▼)を選択します。
     - ドロップダウンメニューから別の受信者を選択します。
     - この受信者に割り当てる DocuSign フィールドを文書上にドラッグして配置します。

注: 各受信者のフィールドは、それぞれ別の色(黄色、青など)で表されます。



4. ページ右上の[送信]を選択します。

以上の手順により、エンベロープが作成され、指定した受信者に送信されました。
関連情報

エンベロープテンプレートのオプション: [フィールドの配置]ステップ

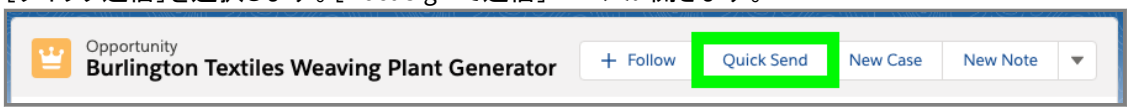
クイック送信用の DocuSign エンベロープテンプレートを使用してエンベロープを送信する

クイック送信用のエンベロープテンプレートを使用すると、文書をすばやく送信できます。クイック送信用のエンベロープテンプレートを使用するには、以下の手順に従います。

クイック送信用のエンベロープテンプレートボタンを使用すると、Salesforce から DocuSign エンベロープを作成してそのまま送信できます。
Salesforce 管理者が作成したエンベロープテンプレートには、すでに文書や受信者が追加されており、文書上にフィールドが配置されています。

クイック送信用のエンベロープテンプレートを使用してエンベロープを送信するには、以下の手順に従います。

1. Salesforce レコード([取引先]や[商談]など)を開きます。
2. [クイック送信]を選択します。[DocuSign で送信]ページが開きます。



> **注:** 管理者が異なるボタン名を設定している場合があります。また、画面の幅によっては、ボタンバーの下向き矢印(▼)をクリックする必要があります。

3. 必要に応じて、以下の操作を行います。
   - 受信者を追加します。
     - [受信者の追加]を選択します。
     - [Salesforce から]、[名前とメールアドレスの指定]、または[署名グループ]オプションを使って受信者を追加します。

       > **注:** クイック送信用のエンベロープでは、文書のコピーを受信する受信者のみを追加できます。

   - 受信者の詳細を編集します。
     - 受信者の名前を選択します。[受信者の追加]ダイアログボックスが開きます。
     - 必要に応じて設定値を編集します。管理者の設定によっては、値を編集できない場合もあります。
     - [選択]ボタンを選択します。変更内容が保存されます。ダイアログボックスが閉じます。
   - [表示]を選択すると、受信者の署名順の開始から完了までのフロー図が表示されます。
   - 受信者へのメッセージを設定します。

- メールの件名: メールの件名を入力します。
- メールメッセージ: メールのメッセージを入力します。

- そのほかのオプション:
  - リマインダー: ドロップダウンメニューを使用して受信者へのリマインダーを追加します。
  - 有効期限: エンベロープの有効期限が切れる日付、または有効期限が切れるまでの日数を設定します。

4. ページ右上の[送信]を選択します。
「署名者に送信されました」というメッセージが表示されます。レコードページの表示が更新されます。

以上の手順により、クイック送信用のエンベロープテンプレートでエンベロープが送信されました。

フィールドの配置のみのエンベロープテンプレートのボタンを使って Salesforce レコードからエンベロープを送信する

Salesforce レコードからエンベロープを送信するときに、フィールドの配置のみのエンベロープテンプレートのボタンを使用する方法について説明します。

フィールドの配置のみのエンベロープテンプレートのボタンを使用すると、Salesforce から DocuSign エンベロープを作成し、フィールドを追加するだけで送信できるようになります。
管理者がフィールドの配置のみのテンプレートを作成して、そのカスタムボタンを Salesforce レイアウト上に追加します。

このテンプレートには、すでに文書と受信者が設定されています。これにより、エンベロープの送信プロセスが簡略化されます。

エンベロープの差出人は、文書に DocuSign と Salesforce のフィールドを追加するだけでエンベロープを送信できます。

フィールドの配置のみのエンベロープテンプレートを使ってエンベロープを送信するには、以下の手順に従います。

1. Salesforce レコード([取引先]や[商談]など)を開きます。
2. [フィールドの配置]ボタンを選択します。[フィールドの配置]ページが開きます。

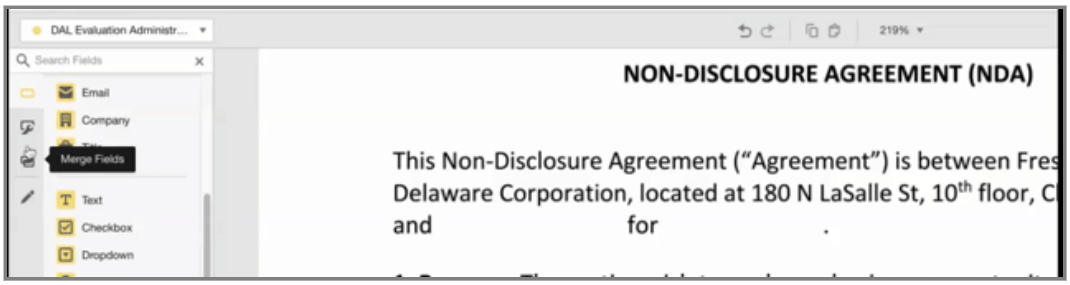


> **注:** 管理者が異なるボタン名を設定している場合があります。また、画面の幅によっては、ボタンバーの下向き矢印(▼)をクリックする必要があります。

3. DocuSign フィールドを追加します。
   a. ページ左側で[標準フィールド]タブ(▭)を選択します。DocuSign の標準フィールドが表示されます。
   b. DocuSign フィールド([署名]、[イニシャル]など)を選択します。
   c. フィールドを文書上にドラッグして配置します。



4. Salesforce フィールドを追加します。
   a. ページ左側で[差し込みフィールド]タブ( )を選択します。Salesforce の差し込みフィールドが表示されます。
   b. フィールドを選択します。目的のフィールドが表示されない場合は、矢印を展開してほかのフィールドを表示したり、[検索ボックス]にフィールド名を入力したりできます。
   c. フィールドを文書上にドラッグして配置します。



5. 必要に応じて、以下の操作を行います。
   - 受信者のプレビュー: このボタンを選択すると、生成文書のプレビューを確認できます。
   - 受信者の切り替え: 別の受信者用のフィールドを追加するには、以下の操作を行います。
     - ページの左上にある受信者名の横の下矢印(▼)を選択します。
     - ドロップダウンメニューから別の受信者を選択します。
     - この受信者に割り当てる DocuSign フィールドを文書上にドラッグして配置します。

注: 各受信者のフィールドは、それぞれ別の色(黄色、青など)で表されます。



6. ページ右上の[送信]を選択します。
   「署名者に送信されました」というメッセージが表示されます。レコードページの表示が更新されます。

以上の手順により、フィールドの配置のみのエンベロープテンプレートを使ってエンベロープが送信されました。

エンベロープテンプレートのボタン[今すぐ送信]を使って Salesforce レコードからエンベロープを送信する

Salesforce レコードからエンベロープを送信するときにエンベロープテンプレートのボタン[今すぐ送信]を使用する方法について説明します。

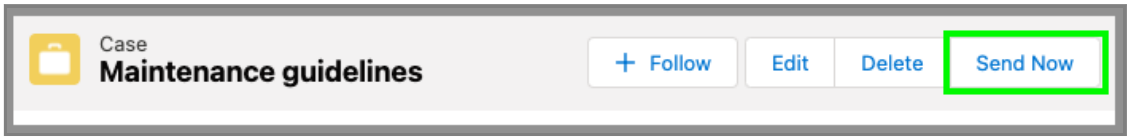
エンベロープテンプレートのボタン[今すぐ送信]を使用すると、Salesforce レコードからすばやくエンベロープを作成および送信できます。
管理者がテンプレートを作成して、[今すぐ送信]ボタンを Salesforce レイアウト上に追加します。

このテンプレートには、すでに文書、受信者、DocuSign フィールド、および Salesforce フィールドが設定されています。これにより、エンベロープの送信プロセスが簡略化されます。

ユーザーは、Salesforce レコード上で[今すぐ送信]ボタンをクリックするだけでエンベロープを送信できます。

[今すぐ送信]ボタンを使ってエンベロープを送信するには、以下の手順に従います。

1. Salesforce レコード([取引先]や[商談]など)を開きます。
2. [今すぐ送信]ボタンをクリックします。



> **注:** 管理者が異なるボタン名を設定している場合があります。また、画面の幅によっては、ボタンバーの下向き矢印(▼)をクリックする必要があります。

エンベロープが送信され、「エンベロープが送信されました」というメッセージが表示されます。

以上の手順により、[今すぐ送信]を使ってエンベロープが作成および送信されました。

DocuSign Negotiate[アクション]メニューを使用して文書を署名者に送信する

ここでは、DocuSign eSignature for Salesforce を使用して DocuSign Negotiate for Salesforce の文書を署名者に送信する手順について説明します。

DocuSign Negotiate の[アクション]メニューから、DocuSign eSignature の機能を使って署名者に文書を送信できます。Negotiate ファイルは Salesforce レコードの[DocuSign ファイル]セクションにあります。

Negotiate では、以下の 3 つのステップで文書を署名者に送信します。

- ステップ 1: エンベロープに追加する文書を選択する
- ステップ 2: エンベロープに受信者を追加する
- ステップ 3: DocuSign と Salesforce のフィールドを追加してエンベロープを送信する

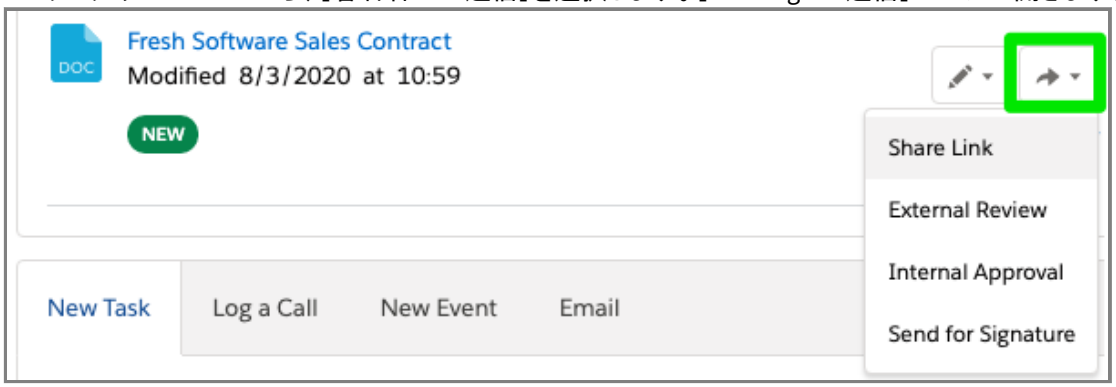
DocuSign Negotiate のアクションメニューを使用して文書を署名者に送信するには、以下の手順に従います。

ステップ 1: エンベロープに追加する文書を選択する

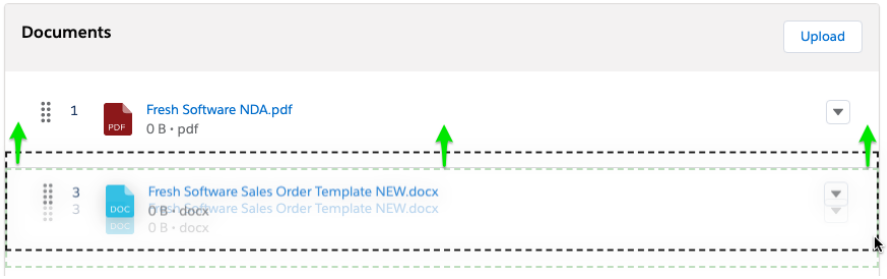
署名プロセスの最初のステップでは、DocuSign eSignature for Salesforce エンベロープに追加する文書を選択します。

Negotiate の署名エクスペリエンスの最初のステップでは、DocuSign eSignature for Salesforce エンベロープに読み込まれるコンテンツを選択します。

1. Salesforce レコード（[取引先]や[商談]など）を開きます。
2. [DocuSign ファイル]セクションで、ファイル名の右側にある[共有]（ ）を選択します。
3. ドロップダウンメニューから、[署名者への送信]を選択します。[DocuSign で送信]ページが開きます。



4. 送信する文書の左側にあるチェックボックスをオンにします。
5. 必要に応じて、文書を追加または並べ替えます。
   - アップロード: デバイス上の文書を追加するには、このボタンを選択します。
   - Salesforce から追加: Salesforce ファイルから文書を追加するには、このボタンを選択します。
   - 文書をドラッグしてエンベロープでの表示順を変更します。



6. ページ右上の[次へ]を選択します。
   以上の手順により、エンベロープに文書が追加されました。「ステップ 2: エンベロープに受信者を追加する」に進みます。

関連情報

エンベロープに Salesforce 文書を追加する

ステップ 2: エンベロープに受信者を追加する

エンベロープに受信者を追加するには、以下の手順に従います。Salesforce 組織や DocuSign アカウントから追加したり、名前とメールアドレスを入力したりできます。

エンベロープに受信者を追加するには、以下の手順に従います。Salesforce 組織や DocuSign アカウントから追加したり、名前とメールアドレスを入力したりできます。

注: 前のステップで[テンプレートの選択]ボタンを選択した場合は、そのテンプレートに設定されている受信者が表示されます。受信者が重複する場合は、以下のルールが適用されます。

- 名前、メールアドレス、役割、および署名順が一致している場合は統合されます。
- 役割、および署名順が一致している空の受信者プレースホルダーは統合されます。
- 重複する受信者の以下の情報が異なっている場合は、新しく追加されたテンプレートの設定が適用されます。
  - SMS/電話
  - アクセスコード
  - プライベートメッセージ

1. [受信者の追加]を選択します。[受信者の追加]ダイアログボックスが開きます。
2. エンベロープに受信者を追加します。
   a. 左側の列から、いずれかの受信者タイプを選択します。
      - Salesforce から: Salesforce のユーザーまたは取引責任者の名前を入力します。
      - 名前とメールアドレス: 名前とメールアドレスを入力します。
      - 署名グループ: 接続されている DocuSign アカウントで設定されている受信者のグループを追加します。
   b. アクション:ドロップダウンメニューから、受信者に割り当てるアクションを選択します。
      - 署名が必要: 文書への署名が必要です。
      - 文書のコピーを受信: 文書のコピーを受け取ります。文書を確認したり署名したりする必要はありません。
      - 表示が必要: 文書の確認が必要です。署名する必要はありません。
      - 受信者の指定: 受信者のプレースホルダー(「承認者」など)に名前やメールアドレスを追加できる受信者です。
      - 編集を許可: 受信者を変更したり、エンベロープの内容を変更(修正)したりできる受信者です。
   c. 必要に応じて、以下の操作を行います。
      i. 配信: エンベロープをメールまたは SMS(テキストメッセージ)で送信します。

注: SMS 配信機能を使用するには、アカウント全体で[SMS での文書送信を許可する]オプションが有効になっている必要があります。

ii. 役割の追加: 差出人が後で名前やメールアドレスを指定できるようにするためのプレースホルダー（「承認者」など）を追加します。

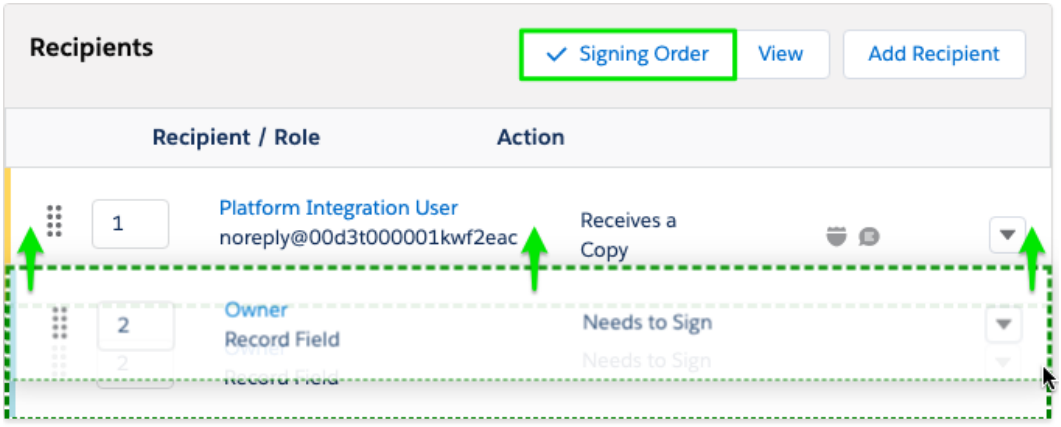
iii. アクセス認証の追加
- SMS/電話: 受信者のモバイルデバイスにアクセスコードを送信し、署名プロセスのセキュリティを強化します。
- アクセスコード: 署名プロセスを開始するときに受信者が入力しなければならないコードを作成します。

iv. プライベートメッセージの追加: 特定の受信者またはグループのみに宛てたメッセージを追加します。

d. [選択]を選択します。

[受信者の追加]ダイアログボックスが閉じます。[受信者]リストに受信者が表示されます。

3. 必要に応じて、以下の操作を行います。
- 署名順:
  - [署名順]を選択します。各受信者の署名順を示す番号が表示されます。
  - 受信者をドラッグして署名順を変更します。



- 表示: このボタンを選択すると、署名順のフロー図が表示されます。
- メールの件名: メールの件名を 100 文字以内で入力します。
- メールメッセージ: メールのメッセージを 2,000 文字以内で入力します。
- その他のオプション: 右矢印（>）を選択してオプションを選択します。
  - リマインダー: 受信者へのリマインダーの送信間隔をドロップダウンメニューから選択します。
  - 有効期限: エンベロープの有効期限を設定します。

4. ページ右上の[次へ]を選択します。DocuSign eSignature フィールドの追加画面が開きます。

ステップ 2 が完了しました。「ステップ 3: DocuSign と Salesforce のフィールドを追加してエンベロープを送信する」に進みます。

関連情報

エンベロープテンプレートのオプション: [受信者]ステップ

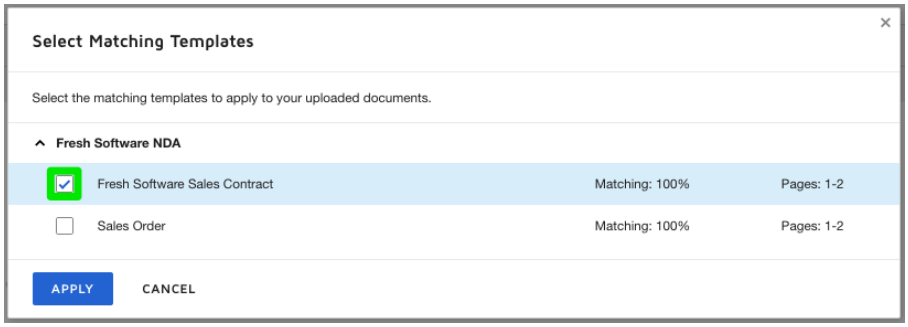
ステップ 3: DocuSign と Salesforce のフィールドを追加してエンベロープを送信する

このステップでは、DocuSign と Salesforce のフィールドを文書上に配置します。

DocuSign や Salesforce のフィールドを文書上に配置するには、以下の手順に従います。

注: Salesforce 組織に既存の DocuSign エンベロープテンプレートがある場合は、[マッチしたテンプレートの選択] ダイアログボックスが開きます。ここでは、以下のオプションを選択できます。

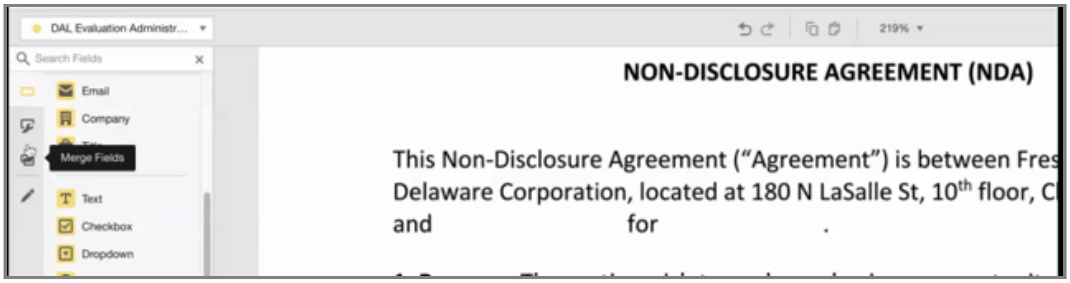
- エンベロープに追加するテンプレートのチェックボックスをオンにして、[適用]を選択します。
- エンベロープテンプレートの内容を適用しない場合は、[キャンセル]を選択します。



1. 文書に DocuSign フィールドを追加します。
   a. ページ左側で[標準フィールド]タブ( )を選択します。DocuSign の標準フィールドが表示されます。
   b. DocuSign フィールド([署名]、[イニシャル]など)を選択します。
   c. フィールドを文書上にドラッグして配置します。



2. 文書に Salesforce フィールドを追加します。
   a. ページ左側で[差し込みフィールド]タブ( )を選択します。Salesforce の差し込みフィールドが表示されます。
   b. フィールドを選択します。目的のフィールドが表示されない場合は、矢印を展開してほかのフィールドを表示したり、[検索ボックス]にフィールド名を入力したりできます。
   c. フィールドを文書上にドラッグして配置します。



3. 必要に応じて、以下の操作を行います。
   - 受信者のプレビュー: このボタンを選択すると、生成文書のプレビューを確認できます。
   - 受信者の切り替え: 別の受信者用のフィールドを追加するには、以下の操作を行います。
     - ページの左上にある受信者名の横の下矢印(▼)を選択します。
     - ドロップダウンメニューから別の受信者を選択します。
     - この受信者に割り当てる DocuSign フィールドを文書上にドラッグして配置します。

注: 各受信者のフィールドは、それぞれ別の色(黄色、青など)で表されます。



4. ページ右上の[送信]を選択します。

以上の手順により、エンベロープが作成および送信されました。
関連情報

エンベロープテンプレートのオプション: [フィールドの配置]ステップ

DocuSign で Salesforce Experience Cloud ユーザーとして署名する

Salesforce Experience Cloud ユーザーとして、DocuSign カスタムボタンを使用してレコードの文書に署名する方法について説明します。

Salesforce Experience Cloud ユーザーは、DocuSign カスタムボタンを使用して Salesforce レコードの文書に署名できます。

署名した文書をほかの受信者に送信することもできます。

ここでは、Experience Cloud ユーザーとしてレコードの文書に署名する方法について説明します。

1. Salesforce Experience Cloud 組織にログインします。
2. レコード（[取引先]や[商談]など）を開きます。
3. DocuSign カスタムボタンを選択します。ボタン名は Salesforce 管理者が選択した名前で表示されます。
   [電子記録および電子署名の開示条件]ページが開きます。
4. 以下の操作を行います。
   a. [電子記録および電子署名の使用に同意します]チェックボックスをオンにします。
   b. [続行]を選択します。

   文書のプレビューが開きます。
5. 文書上の[署名]フィールドを選択します。[署名の選択]ダイアログボックスが開きます。
6. 以下の操作を行います。
   a. 氏名: 氏名を入力または編集します。
   b. イニシャル: イニシャルを入力または編集します。
   c. いずれかのタブを選択して署名を設定します。
      - スタイルの選択: リストから署名スタイルを選択します。
      - 手書き: ポインティングデバイスを使用して署名を手書きで作成します。
      - アップロード: デバイスから署名の画像をアップロードします。
   d. [選択して署名]を選択します。文書のプレビューが再度開きます。
7. 右上の[完了]を選択します。
   文書のプレビューが閉じます。レコードページが再度開きます。
   署名済み文書のコピーがレコードの[メモ＆添付ファイル]セクションに表示されます。

以上の手順により、DocuSign で Salesforce Experience Cloud ユーザーとして文書に署名できました。

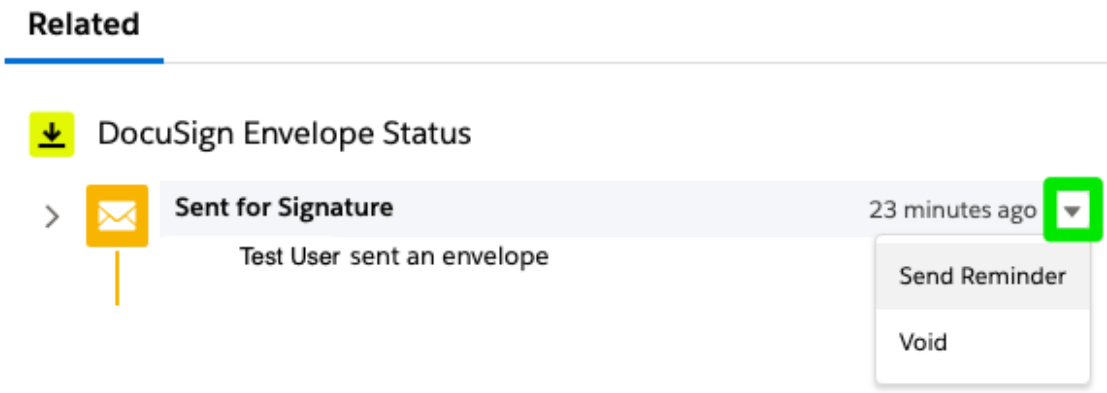
[DocuSign エンベロープのステータス]コンポーネントでリマインダーを送信したりエンベロープを無効にしたりする

Salesforce ページの[DocuSign エンベロープのステータス]セクションには、署名者に送信されたすべてのエンベロープのステータスが表示されます。また、未完了のエンベロープに対しては、エンベロープの右にあるドロップダウンメニューの矢印を選択してそのエンベロープを操作できます。

Salesforce ページの[DocuSign エンベロープのステータス]コンポーネントには、署名者に送信したすべてのエンベロープのステータスが表示されます。

[DocuSign エンベロープのステータス]では、アクティブなエンベロープに対していくつのアクションを実行することもできます。これを行うには、エンベロープの横にあるドロップダウンメニューの矢印を選択して、実行するアクションを選択します。

- リマインダーを送信する: 受信者にエンベロープへのアクションを促すメッセージを送信します。
- 無効化: エンベロープを無効にします。これにより、署名プロセスがキャンセルされます。



注: [DocuSign エンベロープのステータス]コンポーネントをレコードに表示するには、Salesforce のページレイアウトに[DocuSign エンベロープのステータス]コンポーネントを追加しておく必要があります。

アクティブな DocuSign エンベロープのリマインダーを送信する

Salesforce ページの[DocuSign エンベロープのステータス]セクションには、署名者に送信されたすべてのエンベロープのステータスが表示されます。ここでは、アクティブなエンベロープに[リマインダーを送信する]アクションを使用することもできます。

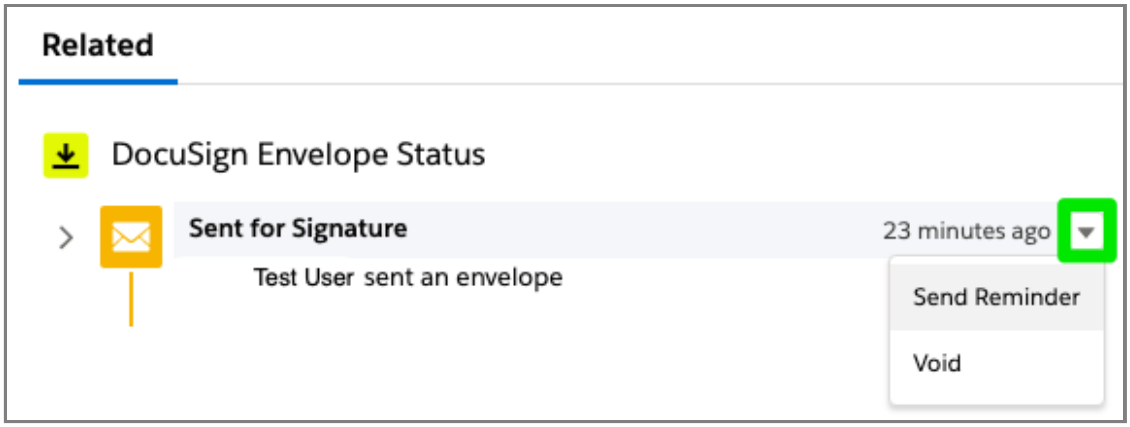
Salesforce ページの[DocuSign エンベロープのステータス]セクションには、署名者に送信されたすべてのエンベロープのステータスが表示されます。

ここでは、アクティブなエンベロープに[リマインダーを送信する]アクションを使用することもできます。

タスクを完了していない受信者には、「(差出人名)さんが、送信した文書の確認と署名を依頼しています」というメールが届きます。

[DocuSign エンベロープのステータス]セクションでエンベロープの受信者にリマインダーを送信するには、以下の手順に従います。

1. Salesforce レコード([取引先]や[商談]など)を開きます。
2. ページの[DocuSign エンベロープのステータス]セクションを表示します。
3. エンベロープの右にある矢印(▼)ドロップダウンメニューを開きます。
4. ドロップダウンメニューから、[リマインダーを送信する]を選択します。



「リマインダーが送信されました」というメッセージが表示されます。

以上の手順により、タスクを完了していない受信者には、「(差出人名)さんが、送信した文書の確認と署名を依頼しています」というメールが届きます。

アクティブな DocuSign エンベロープを無効化する

[無効化]アクションを使用して、アクティブなエンベロープの署名プロセスをキャンセルする方法について説明します。

Salesforce ページの[DocuSign エンベロープのステータス]セクションには、署名者に送信されたすべてのエンベロープのステータスが表示されます。

ここでは、アクティブなエンベロープに[無効化]アクションを使用することもできます。

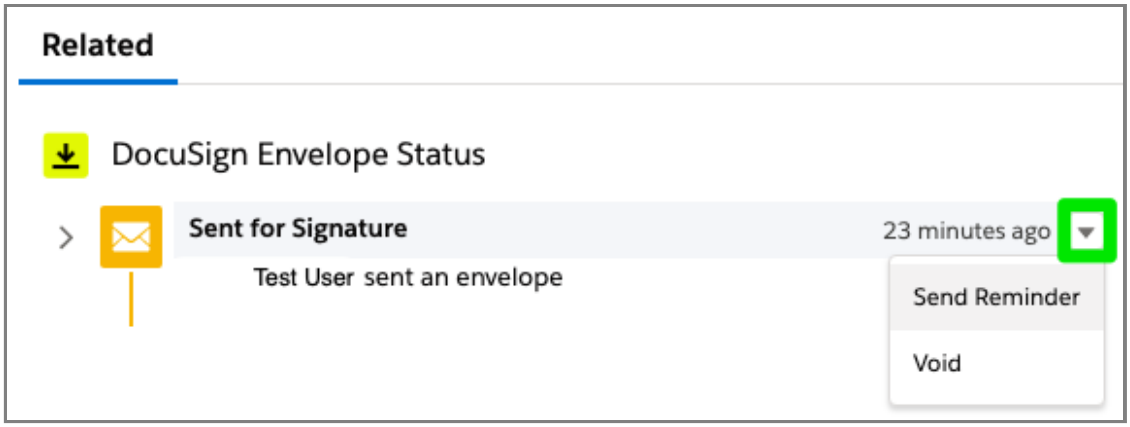
エンベロープを無効化すると、アクティブな署名プロセスが直ちにキャンセルされます。

署名済みの受信者には、エンベロープの無効化理由が示された通知メールが送信されます。

未署名の受信者は、そのエンベロープの文書にアクセスできなくなります。

[DocuSign エンベロープのステータス]セクションのエンベロープを無効化するには、以下の手順に従います。

1. Salesforce レコード([取引先]や[商談]など)を開きます。
2. ページの[DocuSign エンベロープのステータス]セクションを表示します。
3. エンベロープの右にある矢印(▼)ドロップダウンメニューを開きます。
4. [無効化]を選択します。

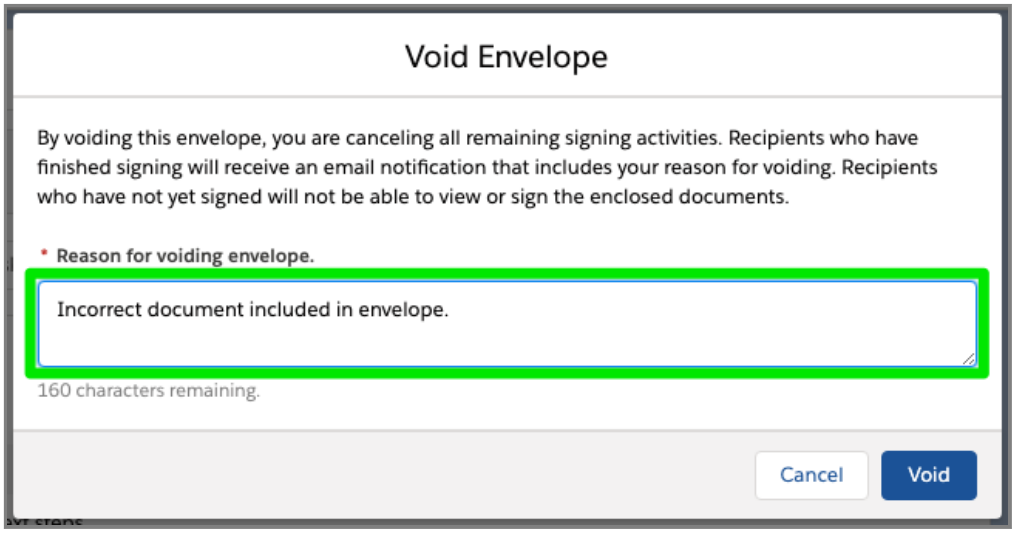


[エンベロープの無効化]ダイアログボックスが開きます。

5. [エンベロープの無効化理由]ボックスに、受信者へのメッセージを入力します。

> **注:** 無効化理由の入力は必須であり、200 文字以内である必要があります。

6. [無効化]をクリックします。



「エンベロープが無効になりました」というメッセージが表示されます。

以上の手順により、エンベロープが無効になりました。署名済みの受信者には、エンベロープの無効化理由が示された通知メールが送信されます。未署名の受信者は、そのエンベロープの文書にアクセスできなくなります。

エンベロープに Salesforce 文書を追加する

標準の[DocuSign で送信]ボタンによる送信や、DocuSign Negotiate での送信で、エンベロープに Salesforce 内の文書を追加できます。

標準の[DocuSign で送信]ボタンによる送信や、DocuSign Negotiate での送信で、エンベロープに Salesforce 内の文書を追加できます。

次の表は、追加できる Salesforce ファイルのタイプを示しています。

プ

前	ファイルタイプ
書のアップロード	デバイスからファイルを追加します。
分が所有する	自分が所有者として登録されている Salesforce ファイルを追加します。
分に共有されている	ほかのユーザーが共有した Salesforce ファイルを追加します。
近の履歴	最近表示したファイルをレコードから追加します。
ォロー中	レコードでフォローしているファイルをすべて追加します。
イブラリ	Salesforce ライブラリにグループ化されているすべてのファイルを追加します。

Salesforce ファイルをエンベロープに追加するには、以下の手順に従います。

- 標準の[DocuSign で送信]ボタン
- DocuSign Negotiate での送信

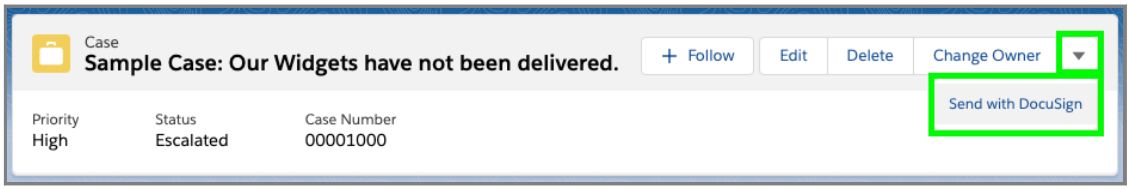
標準の[DocuSign で送信]エンベロープに Salesforce ファイルを追加する

標準の[DocuSign で送信]ボタンによる送信手順の[Salesforce から追加]ボタンにアクセスする方法について説明します。

標準の[DocuSign で送信]ボタンによる送信手順の[Salesforce から追加]ボタンにアクセスするには、以下の手順に従います。

1. Salesforce レコード([取引先]や[商談]など)を開きます。
2. ページ右上の[DocuSign で送信]を選択します。

> **注:** 画面の幅によっては、ボタンバーの下向き矢印(▼)をクリックする必要があります。



[文書]ステップのページが開きます。

3. ページ右上の[Salesforce から追加]を選択します。
4. 以下のいずれかの方法を使用してファイルを追加します。
   - 文書のアップロード: デバイス上の文書を追加するには、このボタンを選択します。
   - 自分が所有する: 自分が所有者として登録されているファイルが表示されます。追加する文書のチェックボックスをオンにします。

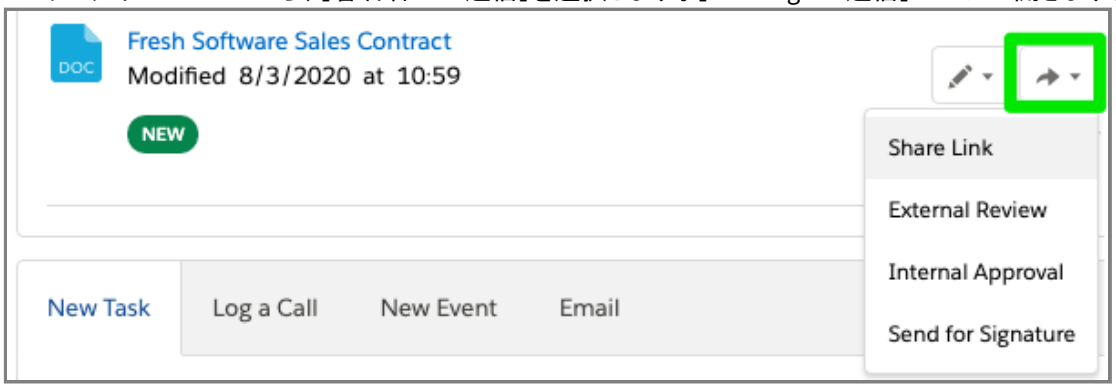
- 自分に共有されている: ほかのユーザーが共有している Salesforce ファイルが表示されます。追加する文書のチェックボックスをオンにします。
- 最近の履歴: 最近表示したファイルが表示されます。追加する文書のチェックボックスをオンにします。
- フォロー中: フォロー中のファイルが表示されます。追加する文書のチェックボックスをオンにします。
- ライブラリ: Salesforce アセットライブラリが開きます。追加する文書のチェックボックスをオンにします。

5. [追加]を選択します。
以上の手順により、標準の[DocuSign で送信]エンベロープに Salesforce ファイルが追加されました。

DocuSign Negotiate エンベロープに Salesforce ファイルを追加する

DocuSign Negotiate エンベロープに Salesforce ファイルを追加するには、以下の手順に従います。

1. Salesforce レコード([取引先]や[商談]など)を開きます。
2. [DocuSign ファイル]セクションで、ファイル名の横にある[共有]( )を選択します。
3. ドロップダウンメニューから、[署名者への送信]を選択します。[DocuSign で送信]ページが開きます。



4. ページ右上の[Salesforce から追加]を選択します。
5. 以下のいずれかの方法を使用してファイルを追加します。
   - 文書のアップロード: デバイス上の文書を追加するには、このボタンを選択します。
   - 自分が所有する: 自分が所有者として登録されているファイルが表示されます。追加する文書のチェックボックスをオンにします。
   - 自分に共有されている: ほかのユーザーが共有している Salesforce ファイルが表示されます。追加する文書のチェックボックスをオンにします。
   - 最近の履歴: 最近表示したファイルが表示されます。追加する文書のチェックボックスをオンにします。
   - フォロー中: フォロー中のファイルが表示されます。追加する文書のチェックボックスをオンにします。
   - ライブラリ: Salesforce アセットライブラリが開きます。追加する文書のチェックボックスをオンにします。
6. [追加]を選択します。
以上の手順により、DocuSign Negotiate エクスペリエンスのエンベロープに Salesforce 文書が追加されました。

エンベロープテンプレートのオプション: [文書]ステップ

ここでは、エンベロープテンプレート作成プロセスの[文書]ステップで使用できるオプションについて説明します。アップロードした文書をプレビューしたり、名前を変更したり、削除したりするためのオプションがあります。

ここでは、エンベロープテンプレート作成プロセスの[文書]ステップで使用できるオプションについて説明します。以下の内容が含まれています。

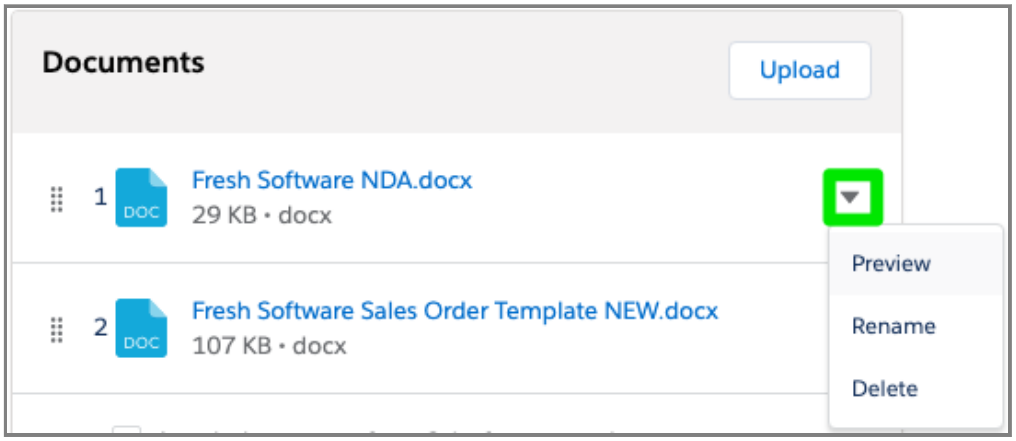
- アップロードした文書をプレビューする
- アップロードした文書の名前を変更する
- アップロードした文書を削除する

エンベロープテンプレートにアップロードした文書の名前を変更する

エンベロープテンプレートにアップロードした文書の名前を変更する方法について説明します。

エンベロープテンプレートにアップロードした文書の名前を変更するには、以下の手順に従います。

1. Salesforce 管理者として、エンベロープテンプレートの[文書]ページを開きます。
   a. Salesforce 画面の左上にある[アプリケーションランチャー]アイコン( )をクリックします。
   b. ドロップダウンメニューから[すべて表示]リンクを選択します。
   c. [DocuSign アプリケーションランチャー]タイルを選択します。
   d. [DocuSign エンベロープテンプレート]タブを選択します。
   e. 編集するテンプレートの右端にある下向き矢印( )を選択します。
   f. [編集]を選択します。エンベロープテンプレートの作成ページが開きます。
   g. [文書]の矢印を選択します。矢印を選択すると、テキストが表示されます。
2. 文書の右にある矢印( )ドロップダウンメニューを開きます。
3. [名前の変更]を選択します。



[文書名の変更]ダイアログボックスが開きます。

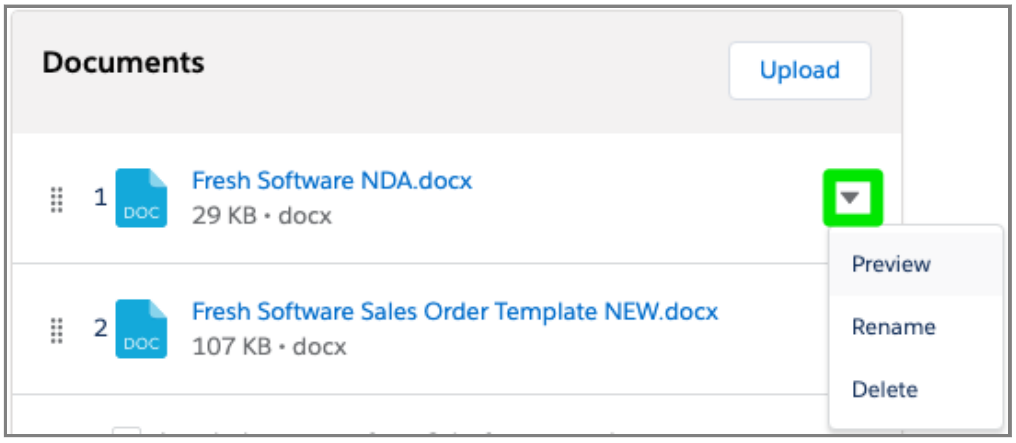
4. 文書の新しい名前を入力します。
5. [名前の変更]をクリックします。
6. ページ右上にある[保存して閉じる]を選択します。
   以上の手順により、アップロードした文書の名前が変更されました。

エンベロープテンプレートにアップロードした文書をプレビューする

エンベロープテンプレートにアップロードした文書をプレビューする方法について説明します。

エンベロープテンプレートにアップロードした文書をプレビューする方法について説明します。

1. Salesforce 管理者として、エンベロープテンプレートの[文書]ページを開きます。
   a. Salesforce 画面の左上にある[アプリケーションランチャー]アイコン( )をクリックします。
   b. ドロップダウンメニューから[すべて表示]リンクを選択します。
   c. [DocuSign アプリケーションランチャー]タイルを選択します。
   d. [DocuSign エンベロープテンプレート]タブを選択します。
   e. 編集するテンプレートの右端にある下向き矢印( )を選択します。
   f. [編集]を選択します。エンベロープテンプレートの作成ページが開きます。
   g. [文書]の矢印を選択します。矢印を選択すると、テキストが表示されます。
2. 文書の右にある矢印( )ドロップダウンメニューを開きます。
3. [文書のプレビュー]を選択します。



   Web ブラウザーの新しいタブが開き、文書のプレビューが表示されます。
4. プレビュー上をクリックすると、プレビューが全画面表示になります。
5. プレビュー画面を閉じるには、右上の[X]を選択します。
   以上の手順により、アップロードされた文書のプレビューが表示されました。

エンベロープテンプレートにアップロードされた文書を削除する

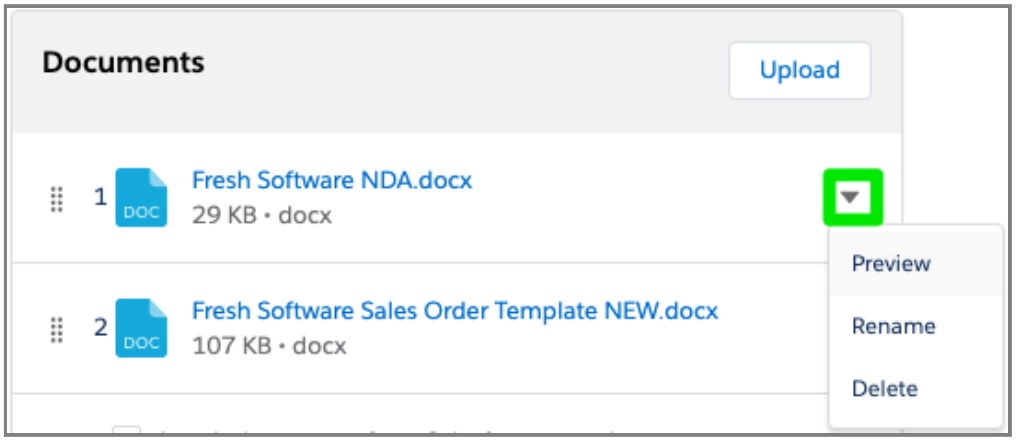
エンベロープテンプレートに追加済みの文書は、必要に応じて削除できます。

エンベロープテンプレートに追加済みの文書は、必要に応じて削除できます。

警告: 受信者に割り当て済みの署名フィールドを持つ文書をテンプレートから削除する場合は、それらのフィールドをテンプレート内の別の文書に追加し直す必要があります。
例: 署名者 **1** の署名フィールドが配置されている文書をテンプレートから削除する場合、エンベロープテンプレートの受信者リストから署名者 **1** を削除するか、署名者 **1** のフィールドをテンプレート内の別の文書に追加する必要があります。

エンベロープテンプレートから文書を削除するには、以下の手順に従います。

1. Salesforce 管理者として、エンベロープテンプレートの[文書]ページを開きます。
   a. Salesforce 画面の左上にある[アプリケーションランチャー]アイコン( )をクリックします。
   b. ドロップダウンメニューから[すべて表示]リンクを選択します。
   c. [DocuSign アプリケーションランチャー]タイルを選択します。
   d. [DocuSign エンベロープテンプレート]タブを選択します。
   e. 編集するテンプレートの右端にある下向き矢印( )を選択します。
   f. [編集]を選択します。エンベロープテンプレートの作成ページが開きます。
   g. [文書]の矢印を選択します。矢印を選択すると、テキストが表示されます。
2. 文書の右にある矢印( )ドロップダウンメニューを開きます。
3. [削除]を選択します。



   文書が削除されます。
4. ページ右上にある[保存して閉じる]を選択します。
   以上の手順により、アップロード済みの文書が削除されました。

エンベロープテンプレートのオプション: [受信者]ステップ

ここでは、エンベロープテンプレート作成プロセスの[受信者]ステップで使用できる

ここでは、エンベロープテンプレート作成プロセスの[受信者]ステップで使用できる以下のオプションについて説明します。

- エンベロープテンプレートの[受信者]ステップにアクセスするには
- エンベロープテンプレートの受信者タイプ
- エンベロープテンプレートの受信者アクションを変更する
- 受信者の送信オプション: アクセスコード、同席での署名、今すぐ署名、SMS など
- エンベロープテンプレートで受信者の詳細を編集する
- 関連リストの受信者にフィルターを適用する
- 受信者の署名順を変更する
- 受信者の署名順のフロー図を表示する
- 受信者に表示されるメールの件名とメッセージをカスタマイズする
- エンベロープテンプレートから受信者を削除する
- [配信]オプションを使用してメールやテキストメッセージ(SMS)で eSignature for Salesforce エンベロープを送信する
- 差し込みフィールドを使って受信者のメールアドレスと名前をオブジェクトから追加する
- 差出人オプションを使用して差出人を受信者として追加する
- エンベロープテンプレートに同席で署名する受信者を追加する
- [今すぐ署名]オプションによるエンベロープ送信直後の差出人による署名

エンベロープテンプレートの[受信者]ステップにアクセスするには

既存のエンベロープテンプレートの[受信者]ステップにアクセスする手順について説明します。このステップでは、受信者を追加、編集、および削除できます。さらに、メールの件名やメッセージを変更したり、署名順のフロー図を表示したりできます。

[受信者]ステップでは、既存のエンベロープテンプレートを編集できます。このステップでは、受信者を追加、編集、および削除できます。さらに、メールの件名やメッセージを変更したり、署名順のフロー図を表示したりできます。エンベロープテンプレートの[受信者]ステップにアクセスするには、以下の手順に従います。

Salesforce 管理者として、エンベロープテンプレートの[受信者]ページを開きます。

a. Salesforce 画面の左上にある[アプリケーションランチャー]アイコン( )をクリックします。
b. ドロップダウンメニューから[すべて表示]リンクを選択します。
c. [DocuSign アプリケーションランチャー]タイルを選択します。
d. [DocuSign エンベロープテンプレート]タブを選択します。

e. 編集するテンプレートの右端にある下向き矢印()を選択します。

f. [編集]を選択します。エンベロープテンプレートの作成ページが開きます。

g. [受信者]の矢印を選択します。矢印を選択すると、テキストが表示されます。

以上の手順により、既存のエンベロープテンプレートの[受信者]ステップが表示されました。

エンベロープテンプレートの受信者タイプ

エンベロープテンプレートには、さまざまなタイプの受信者を追加できます。受信者の追加は、Salesforce または DocuSign からインポートしたり、手入力したりして行います。

エンベロープやエンベロープテンプレートには、さまざまなタイプの受信者を追加できます。受信者の追加は、Salesforce または DocuSign からインポートしたり、手入力したりして行います。

追加できる受信者のタイプは以下のとおりです。

表 1. 受信者のタイプ

受信者のタイプ	説明
参照項目	Salesforce レコードから受信者を動的に追加できます。 例: [所有者]を選択すると、レコードの所有者の名前とメールアドレスが動的に追加されます。 テンプレートの Salesforce データソース([取引先]や[商談]など)に関連するフィールドのみが表示されます。
関連リスト	Salesforce のオブジェクトに関連するフィールドを選択できます。 例: 取引先の取引責任者関連リストや商談の **OpportunityContactRole** など。 この受信者タイプでは、受信者が関連リストからエンベロープに動的に追加されます。 テンプレートの Salesforce データソース([取引先]や[商談]など)にすでに関連付けられているフィールドのみが表示されます。
ユーザー/取引先責任者	Salesforce のユーザーや取引先責任者から特定のユーザーを追加できます。 このユーザーは動的に追加されることはありません。
差出人	エンベロープの差出人を受信者として追加します。 この差出人は、レコードでエンベロープテンプレートのカスタムボタンを選択したユーザーです。
ロール	追加する受信者の名前やタイプが未定の場合は、汎用的な受信者(例:「承認者」など)をプレースホルダーとして追加します。 差出人は、エンベロープを送信するときに実際の受信者の名前やタイプを指定します。 ここで特定の受信者の名前やメールアドレスを追加することもできます。
署名グループ	組織の DocuSign アカウントから署名グループを追加します。 グループ内のいずれかの受信者が、署名者としてそのエンベロープの署名プロセスを完了させることができます。

関連情報

エンベロープテンプレートの[受信者]ステップにアクセスするには

エンベロープテンプレートの受信者アクション

DocuSign のエンベロープテンプレートから作成したエンベロープの受信者に設定できるアクションについて説明します。

エンベロープやエンベロープテンプレートでは、受信者にさまざまなアクションを割り当てることができます。

以下のタイプのアクションがあります。

表 1. 受信者アクション

アクションタイプ	説明
署名が必要	受信者はエンベロープに署名をする必要があります。
埋め込み署名者	開発者は Web ページに DocuSign の署名フィールドを埋め込むことができます。
文書のコピーを受信	受信者はエンベロープのコピーを受け取ります。署名などのアクションは必要ありません。
表示が必要	受信者は文書を開く必要があります。署名する必要はありません。
受信者の指定	受信者は別の受信者の名前とメールアドレスを指定してエンベロープを転送できます。自分と同じまたはそれ以降の署名順の受信者を指定できます。
編集を許可	差出人と同じレベルの完全な編集権限を持つ役割をほかのユーザーに付与します。 この受信者は、エンベロープの修正機能を使用する場合と同様に、エンベロープのすべての設定を編集できます。 この受信者にはフィールドは割り当てられません。
同席する署名者	受信者がホストと同席して文書に署名します。 署名セッションの進行役（ホスト）が署名した後で、各署名者がホストのデバイスで署名を行います。 すべての署名者がその場に同席する必要があります。

関連情報

エンベロープテンプレートの［受信者］ステップにアクセスするには

エンベロープテンプレートの受信者アクションを変更する

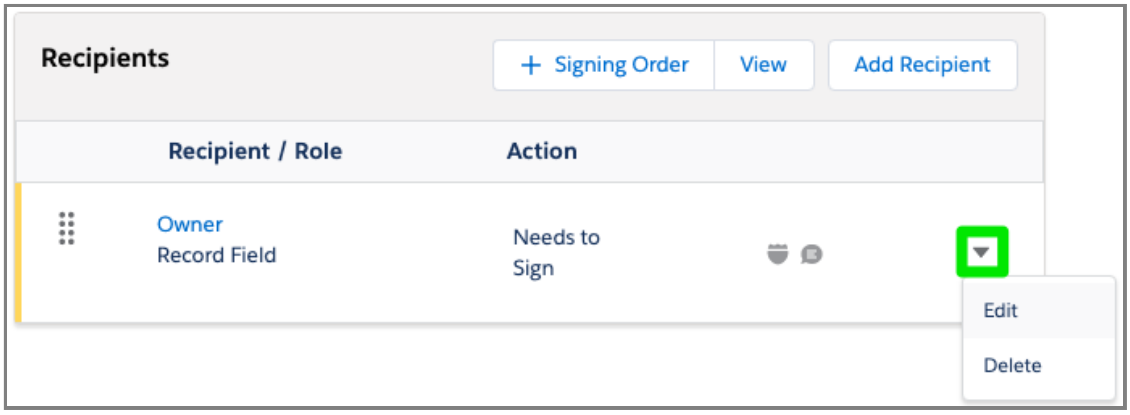
エンベロープテンプレートでは、受信者にさまざまなアクションを割り当てることができます。

エンベロープテンプレートの受信者アクションを変更するには、以下の手順に従います。

1. Salesforce 管理者として、エンベロープテンプレートの［受信者］ページを開きます。
   a. Salesforce 画面の左上にある［アプリケーションランチャー］アイコン（）をクリックします。
   b. ドロップダウンメニューから［すべて表示］リンクを選択します。
   c. ［DocuSign アプリケーションランチャー］タイルを選択します。
   d. ［DocuSign エンベロープテンプレート］タブを選択します。
   e. 編集するテンプレートの右端にある下向き矢印（）を選択します。
   f. ［編集］を選択します。エンベロープテンプレートの作成ページが開きます。

g. [受信者]の矢印を選択します。矢印を選択すると、テキストが表示されます。

2. 受信者名の右端にある矢印(▼)ドロップダウンメニューを開きます。
3. [編集]をクリックします。



4. [アクション]ドロップダウンメニューを選択します。
5. リストからアクションを選択します。
6. [追加]をクリックしてアクションを保存します。[受信者の追加]ダイアログボックスが閉じます。
7. ページ右上にある[保存して閉じる]を選択します。
以上の手順により、受信者アクションが追加または変更されました。

関連情報

エンベロープテンプレートの[受信者]ステップにアクセスするには

受信者の送信オプション: アクセスコード、同席での署名、今すぐ署名、SMS など

エンベロープに受信者を設定するときに、役割、アクセスコード、フィルター、プライベートメッセージ、同席での署名、SMS、今すぐ署名などのオプションを追加する方法について説明します。

エンベロープやエンベロープテンプレートに受信者を追加するときに、さまざまなオプションを設定できます。

次の表は、受信者に設定できるオプションのタイプとアクションを示しています。

表 1. 受信者オプション

オプションのタイプ	説明
役割の追加	差出人が後で名前やメールアドレスを指定できるようにするためのプレースホルダー(「承認者」など)を追加します。
フィルターの追加	特定の条件フィルターに基づいて受信者を追加します。 このオプションは、[関連リスト]の受信者タイプを選択した場合にのみ表示されます。

オプションのタイプ	説明
差出人をホストにする	エンベロープの差出人が、同席での署名セッションのホストになります。 署名セッションの進行役（ホスト）が署名した後で、各署名者がホストのデバイスで署名を行います。 このオプションは、受信者に[同席する署名者]アクションを選択した場合にのみ表示されます。
ホストの名前	同席での署名セッションをホストする DocuSign ユーザーの名前を入力します。 このフィールドは、[差出人をホストにする]チェックボックスをオフにした場合にのみ表示されます。
ホストのメールアドレス	同席での署名セッションの進行役になる DocuSign ユーザーのメールアドレスを入力します。 このフィールドは、[差出人をホストにする]チェックボックスをオフにした場合にのみ表示されます。
送信後に署名を開始する（今すぐ署名）	エンベロープを送信した直後に差出人の署名プロセスが開始されます。 このオプションは、以下の場合にのみ表示されます。 • 受信者タイプに[差出人]を選択し、アクションに[署名が必要]を選択した場合 • そのほかの受信者タイプ（[ユーザー/取引先責任者]、[役割の指定]など）を選択し、アクションに[同席する署名者]を選択した場合
配信	このドロップダウンメニューには、[メール]と[メールと SMS]のオプションが表示されます。[配信]メニューは、[SMS での文書送信を許可する]と[モバイルデバイス上での署名を許可する]が有効になっているユーザーにのみ表示されます。 これらの機能を有効にするには、DocuSign アカウントマネージャーに問い合わせる必要があります。
Email	受信者にメールでエンベロープを送信します。
メールと SMS	最大 4 人の受信者にメールとテキストメッセージでエンベロープを送信します。
アクセス認証の追加	このリンクを選択すると、[SMS/電話]と[アクセスコード]のオプションが表示されます。
SMS/電話	受信者のモバイルデバイスにアクセスコードを送信し、署名プロセスのセキュリティを強化します。
アクセスコード	署名プロセスを開始するときに受信者が入力しなければならないコードを作成します。 受信者には、メールやほかのメッセージングプラットフォームを使用してコードを別途通知する必要があります。
プライベートメッセージの追加	特定の受信者またはグループのみに宛てたメッセージを追加します。
名前とメールアドレスの追加	受信者の名前とメールアドレスを入力します。 このオプションは、[役割の指定]の受信者タイプを選択した場合にのみ表示されます。

関連情報

エンベロープテンプレートの[受信者]ステップにアクセスするには

エンベロープテンプレートの受信者に送信オプションを追加する

エンベロープテンプレートに受信者を設定するときに、役割、アクセスコード、フィルター、プライベートメッセージ、同席での署名、SMS、今すぐ署名などのオプションを追加する方法について説明します。

[受信者の追加]ダイアログボックスでは、受信者にカスタムオプションを追加できます。

エンベロープテンプレートに受信者オプションを追加するには、以下の手順に従います。

> **注:** エンベロープを送信するときの[受信者]ステップでこの手順を実行することもできます。

1. Salesforce 管理者として、エンベロープテンプレートの[受信者]ページを開きます。
   a. Salesforce 画面の左上にある[アプリケーションランチャー]アイコン( )をクリックします。
   b. ドロップダウンメニューから[すべて表示]リンクを選択します。
   c. [DocuSign アプリケーションランチャー]タイルを選択します。
   d. [DocuSign エンベロープテンプレート]タブを選択します。
   e. 編集するテンプレートの右端にある下向き矢印( )を選択します。
   f. [編集]を選択します。エンベロープテンプレートの作成ページが開きます。
   g. [受信者]の矢印を選択します。矢印を選択すると、テキストが表示されます。
2. 更新する受信者の名前を選択します。
   [受信者の追加]ダイアログボックスが開きます。
3. 以下の手順を実行して、受信者のオプションを追加します。
   - 役割の追加: 差出人が後で名前やメールアドレスを指定できるようにするためのプレースホルダー(「承認者」など)を追加します。
   - 配信
     - メール: 受信者にメールでエンベロープを送信します。
     - メールと SMS: 最大 4 人の受信者にメールとテキストメッセージでエンベロープを送信します。

     > **注:** このオプションは、[SMS での文書送信を許可する]と[モバイルデバイス上での署名を許可する]が有効になっている場合にのみ表示されます。

   - フィルターの追加: 特定の条件フィルターに基づいて受信者を追加します。
   - 差出人をホストにする: エンベロープの差出人が、同席での署名セッションのホスト(進行役)になります。
   - 送信後に署名を開始する(今すぐ署名): エンベロープを送信した直後に差出人の署名プロセスが開始されます。
   - 名前とメールアドレスの追加: 受信者の名前とメールアドレスを指定します。
   - アクセス認証の追加
     - SMS/電話: 受信者のモバイルデバイスにアクセスコードを送信し、署名プロセスのセキュリティを強化します。

- アクセスコード: 署名プロセスを開始するときに受信者が入力しなければならないコードを作成します。
- プライベートメッセージの追加: 特定の受信者またはグループのみに宛てたメッセージを追加します。

4. [追加]を選択します。
   [受信者の追加]ダイアログボックスが閉じます。
5. [保存して閉じる]を選択します。

以上の手順により、エンベロープテンプレートの受信者アクションが追加または編集されました。
関連情報

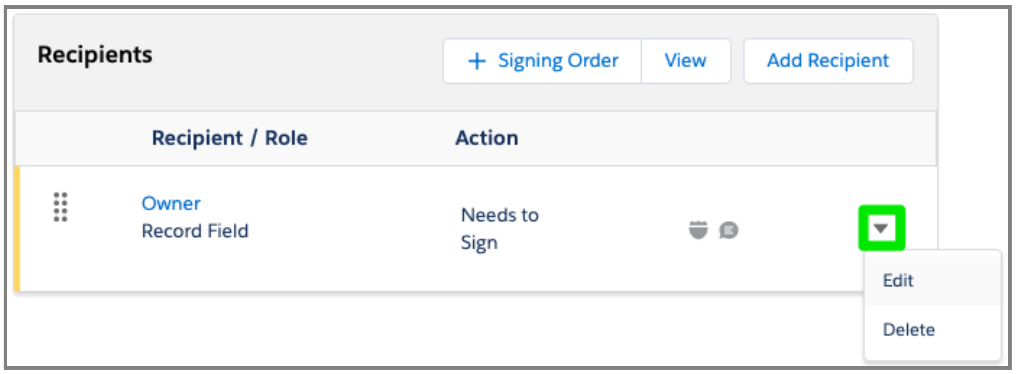
エンベロープテンプレートの[受信者]ステップにアクセスするには

エンベロープテンプレートで受信者の詳細を編集する

必要に応じて、既存のエンベロープテンプレートの受信者の詳細を編集できます。

既存のエンベロープテンプレートで受信者の詳細を編集するには、以下の手順に従います。

1. Salesforce 管理者として、エンベロープテンプレートの[受信者]ページを開きます。
   a. Salesforce 画面の左上にある[アプリケーションランチャー]アイコン( )をクリックします。
   b. ドロップダウンメニューから[すべて表示]リンクを選択します。
   c. [DocuSign アプリケーションランチャー]タイルを選択します。
   d. [DocuSign エンベロープテンプレート]タブを選択します。
   e. 編集するテンプレートの右端にある下向き矢印( )を選択します。
   f. [編集]を選択します。エンベロープテンプレートの作成ページが開きます。
   g. [受信者]の矢印を選択します。矢印を選択すると、テキストが表示されます。
2. 受信者名の右端にある矢印( )ドロップダウンメニューを開きます。
3. [編集]を選択します。



[受信者の追加]ダイアログボックスが開きます。

> **注:** また、受信者名(「所有者」など)を選択してその詳細を編集することもできます。

4. 受信者の詳細や割り当てたアクションを編集します。
5. [追加]を選択します。[受信者の追加]ダイアログボックスが閉じます。
6. ページ右上にある[保存して閉じる]を選択します。
   以上の手順により、受信者の詳細が編集されました。

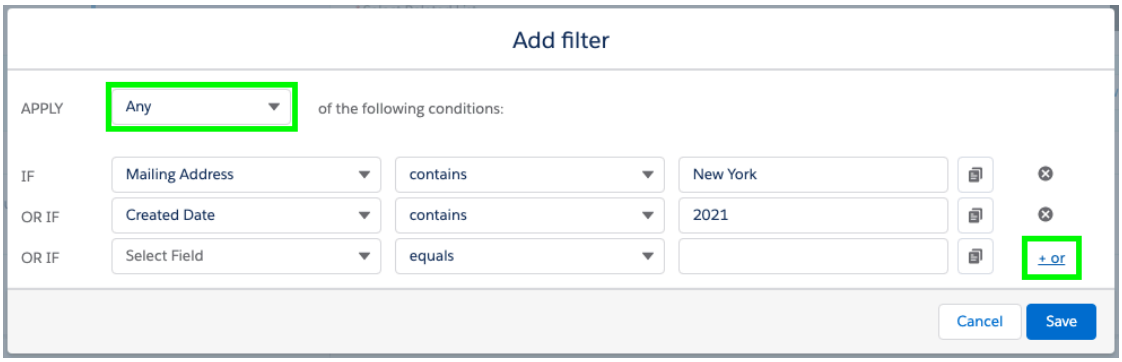
エンベロープテンプレートで関連リストの受信者にフィルターを適用する

DocuSign エンベロープテンプレートの[受信者の追加]ダイアログボックスでは、関連リスト受信者に適用されるフィルターを設定できます。これにより、特定の条件を満たした場合にのみ、関連リストの受信者をエンベロープに追加できるようになります。

DocuSign エンベロープテンプレートの[受信者の追加]ダイアログボックスでは、関連リスト受信者に適用されるフィルターを設定できます。これにより、Salesforce レコードで特定の条件を満たした場合にのみ、関連リストの受信者をエンベロープに追加できるようになります。

以下の 2 種類のフィルターを設定できます。

- いずれか:「OR」ステートメント。条件のいずれか 1 つが満たされた場合にフィルターが適用されます。



- すべて:「AND」ステートメント。すべての条件が満たされた場合にのみフィルターが適用されます。

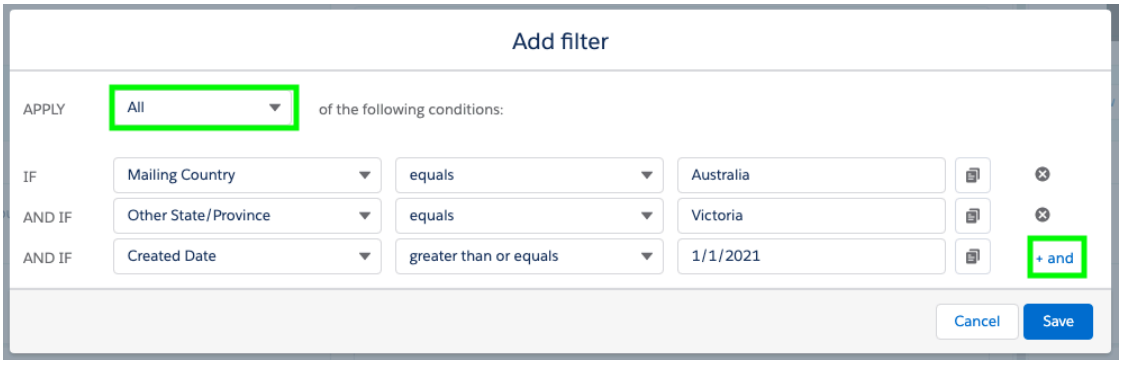


表 1. [フィルターの追加]ダイアログボックスのアイコン

アイコン	名前	アクション
	行のコピー	その条件のコピーが追加されます。

アイコン	名前	アクション
	行の削除	その条件が削除されます。
	+ または	新しい空白の「OR」条件が追加されます。
	+ および	新しい空白の「AND」条件が追加されます。

表 2. [フィルターの追加]ダイアログボックスのオプション

名前	アクション
すべて	設定したすべての条件が満たされた場合に関連リストの受信者を追加するためのフィルター
いずれか	設定した条件のいずれかが満たされた場合に関連リストの受信者を追加するためのフィルター
次と等しい	Salesforce フィールドの値が、指定した値よりも小さい場合に真（数値、日付、通貨）
次を含んでいる	Salesforce フィールドの値に、指定した値が含まれている場合に真
次で始まる	Salesforce フィールドの値の冒頭が、指定した値と一致する場合に真
次で終わる	Salesforce フィールドの値の末尾が、指定した値と一致する場合に真
次と等しくない	Salesforce フィールドの値が、指定した値と異なる場合に真
次より大きい	Salesforce フィールドの値が、指定した値より大きい場合に真（数値、日付、通貨）
次より小さい	Salesforce フィールドの値が、指定した値より小さい場合に真（数値、日付、通貨）
次の値以下	Salesforce フィールドの値が、指定した値と同じまたはそれ以下の場合に真（数値、日付、通貨）
次の値以上	Salesforce フィールドの値が、指定した値と同じまたはそれ以上の場合に真（数値、日付、通貨）
適用	[いずれか]/[すべて]ドロップダウンメニューのヘッダー
条件	最初の条件
または	追加の「OR」条件
かつ	追加の「IF」条件

関連情報

エンベロープテンプレートの[受信者]ステップにアクセスするには

エンベロープテンプレートの受信者の署名順を変更する

エンベロープテンプレートの受信者の署名順を変更できます。これにより、署名プロセスを完了させるためのエンベロープの送信順序（ルーティング順序）を変更できます。

エンベロープテンプレートの受信者の署名順を変更できます。

これにより、署名プロセスを完了させるためのエンベロープの送信順序（ルーティング順序）を変更できます。

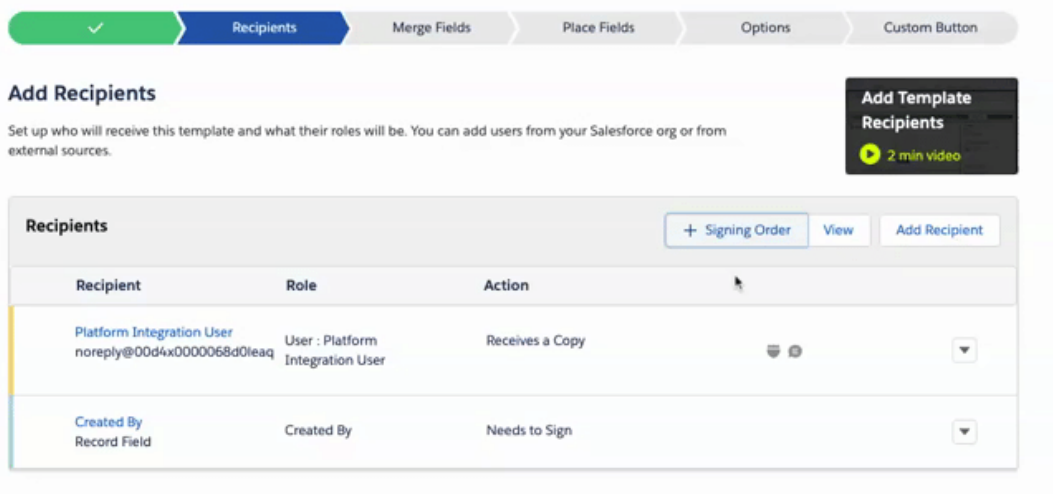
受信者をドラッグしたり順番（1、2、3 など）を変更したりして署名順を変更できます。

エンベロープテンプレートでは、複数の受信者に同じ署名順を設定したり、特定の署名順を設定せずにエンベロープを送信したりできます。

既存のエンベロープテンプレートの受信者の署名順を変更するには、以下の手順に従います。

> **注:** エンベロープを送信するときの[受信者]ステップでこの手順を実行することもできます。

1. Salesforce 管理者として、エンベロープテンプレートの[受信者]ページを開きます。
   a. Salesforce 画面の左上にある[アプリケーションランチャー]アイコン( )をクリックします。
   b. ドロップダウンメニューから[すべて表示]リンクを選択します。
   c. [DocuSign アプリケーションランチャー]タイルを選択します。
   d. [DocuSign エンベロープテンプレート]タブを選択します。
   e. 編集するテンプレートの右端にある下向き矢印( )を選択します。
   f. [編集]を選択します。エンベロープテンプレートの作成ページが開きます。
   g. [受信者]の矢印を選択します。矢印を選択すると、テキストが表示されます。
2. [署名順]を選択します。
3. 以下のいずれかの操作を行います。
   - 受信者をドラッグする: 受信者を選択してリスト内で上下にドラッグします。
   - 受信者の順番を変更する: 受信者の左側のボックスに新しい順番を入力します。



4. ページ右上にある[保存して閉じる]を選択します。
   以上の手順により、受信者の署名順が変更されました。

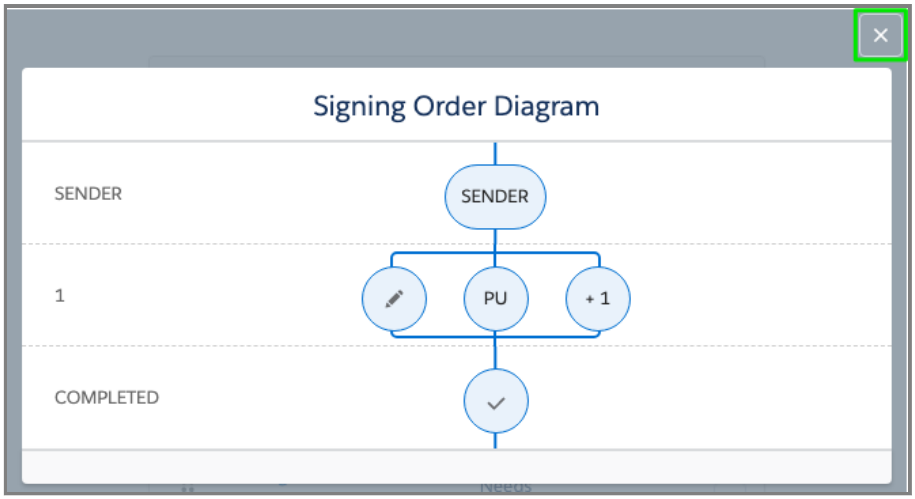
受信者の署名順のフロー図を表示する

[表示]を選択すると、受信者の署名順の開始から完了までのフロー図が表示されます。これにより、管理者は署名プロセスの大まかな流れを確認できます。

[表示]を選択すると、受信者の署名順の開始から完了までのフロー図が表示されます。これにより、管理者は署名プロセスの大まかな流れを確認できます。

ここでは、既存のエンベロープテンプレートの署名順のフロー図を表示する手順について説明します。

1. Salesforce 管理者として、エンベロープテンプレートの[受信者]ページを開きます。
   a. Salesforce 画面の左上にある[アプリケーションランチャー]アイコン( )をクリックします。
   b. ドロップダウンメニューから[すべて表示]リンクを選択します。
   c. [DocuSign アプリケーションランチャー]タイルを選択します。
   d. [DocuSign エンベロープテンプレート]タブを選択します。
   e. 編集するテンプレートの右端にある下向き矢印( )を選択します。
   f. [編集]を選択します。エンベロープテンプレートの作成ページが開きます。
   g. [受信者]の矢印を選択します。矢印を選択すると、テキストが表示されます。
2. [表示]を選択します。
   [署名順のフロー図]ダイアログボックスが開きます。
3. ダイアログボックスの右上にある[X]を選択してダイアログボックスを閉じます。



4. [保存して閉じる]を選択して、テンプレートを閉じます。
   以上の手順により、署名順のワークフロー図が表示されました。

受信者に送信されるメールの件名とメッセージをカスタマイズする

エンベロープテンプレートの[受信者]ステップで、受信者に送信されるメールの件名やメッセージを編集できます。

エンベロープテンプレートを作成するときに、すべての受信者宛てのメール件名およびメッセージとしてデフォルトのものが設定されます。エンベロープテンプレートの[受信者]ステップで、受信者に送信されるメールの件名やメッセージを編集できます。
既存のエンベロープテンプレートでメールの件名やメッセージを編集するには、以下の手順に従います。

1. Salesforce 管理者として、エンベロープテンプレートの[受信者]ページを開きます。

a. Salesforce 画面の左上にある[アプリケーションランチャー]アイコン()をクリックします。
b. ドロップダウンメニューから[すべて表示]リンクを選択します。
c. [DocuSign アプリケーションランチャー]タイルを選択します。
d. [DocuSign エンベロープテンプレート]タブを選択します。
e. 編集するテンプレートの右端にある下向き矢印()を選択します。
f. [編集]を選択します。エンベロープテンプレートの作成ページが開きます。
g. [受信者]の矢印を選択します。矢印を選択すると、テキストが表示されます。

2. 必要に応じてカスタマイズします。
   - メールの件名: メールの件名を 100 文字以内で入力します。
   - メールメッセージ: メールのメッセージを 2,000 文字以内で入力します。
3. ページ右上にある[保存して閉じる]を選択します。
   以上の手順により、受信者用のメッセージがカスタマイズされました。

エンベロープテンプレートから受信者を削除する

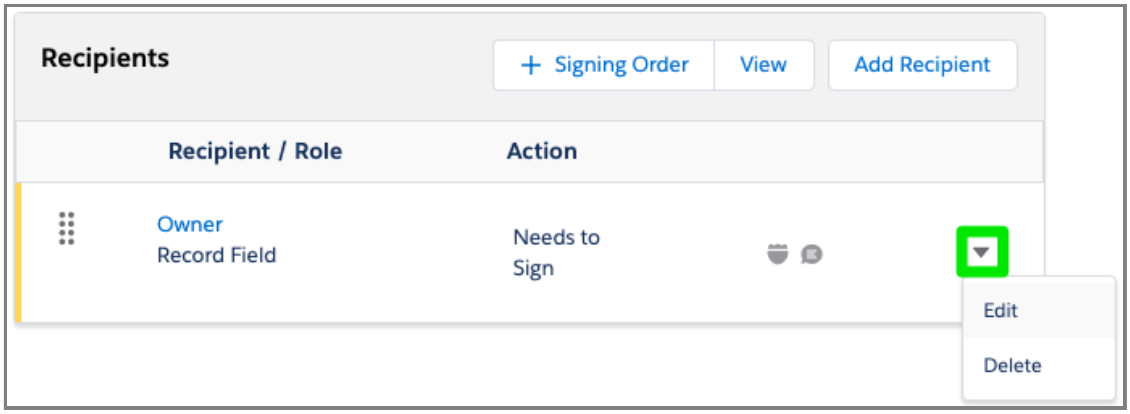
管理者は、必要に応じて、既存のエンベロープテンプレートから受信者を削除できます。

管理者は、必要に応じて、既存のエンベロープテンプレートから受信者を削除できます。

警告: 文書上のフィールドが割り当てられている受信者を削除する場合、それらのフィールドを文書から削除するか、別の受信者に再割り当てする必要があります。
例: エンベロープテンプレートから署名者 **1** を削除します。テンプレートの文書 **1** には、署名者 1 に割り当てられた[署名]フィールドが追加されています。この署名者 **1** のフィールドを文書 **1** から削除するか、別の受信者に再割り当てしないと、署名プロセスが正しく完了しなくなります。

既存のエンベロープテンプレートから受信者を削除するには、以下の手順に従います。

1. Salesforce 管理者として、エンベロープテンプレートの[受信者]ページを開きます。
   a. Salesforce 画面の左上にある[アプリケーションランチャー]アイコン()をクリックします。
   b. ドロップダウンメニューから[すべて表示]リンクを選択します。
   c. [DocuSign アプリケーションランチャー]タイルを選択します。
   d. [DocuSign エンベロープテンプレート]タブを選択します。
   e. 編集するテンプレートの右端にある下向き矢印()を選択します。
   f. [編集]を選択します。エンベロープテンプレートの作成ページが開きます。
   g. [受信者]の矢印を選択します。矢印を選択すると、テキストが表示されます。
2. 受信者名の右端にある矢印()ドロップダウンメニューを開きます。
3. [削除]を選択します。



受信者がページに表示されなくなります。

4. ページ右上にある[保存して閉じる]を選択します。
以上の手順により、テンプレートから受信者が削除されました。

[配信]オプションを使用してメールやテキストメッセージ（SMS）で eSignature for Salesforce エンベロープを送信する

[メールと SMS]機能を有効にする方法、およびその機能を使用してテキストメッセージでエンベロープを送信する方法について説明します。

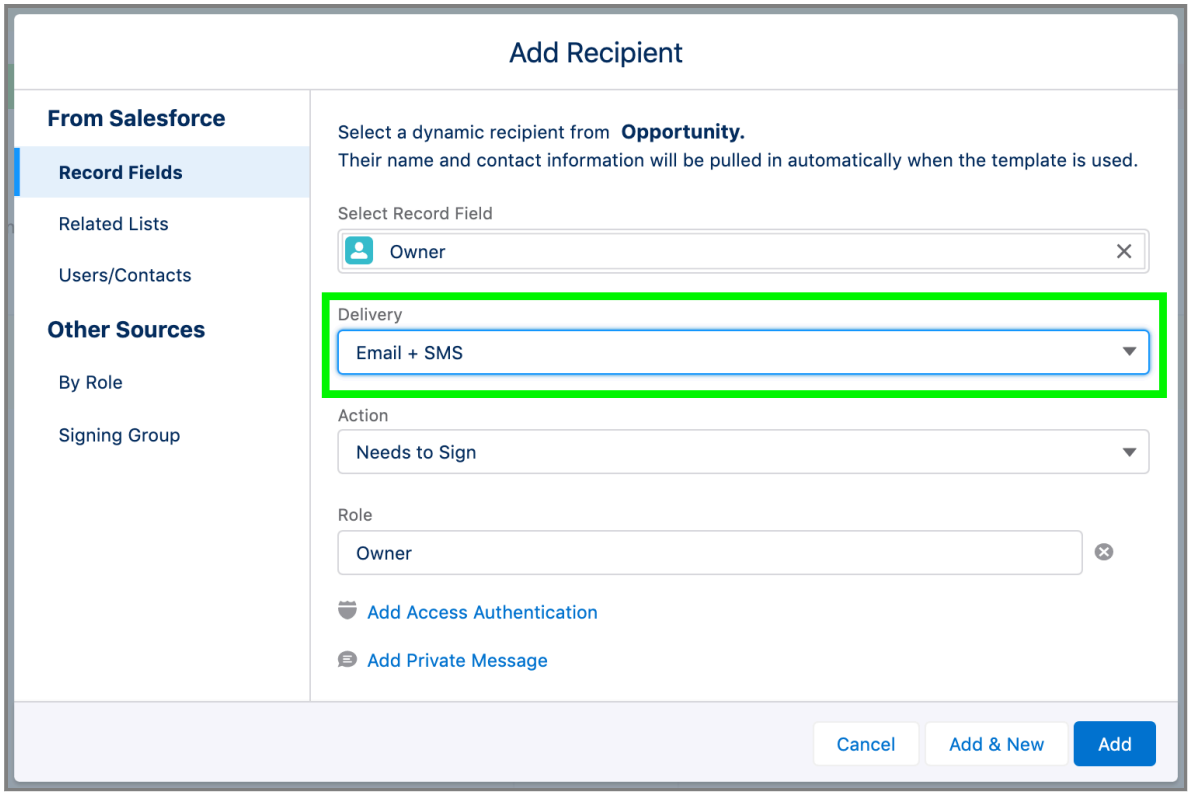
[メールと SMS]オプションを使用すると、テキストメッセージで受信者にエンベロープを送信できます。

SMS による配信は有料の機能であり、DocuSign アカウントマネージャーが次のオプションを有効にすることによって使用可能になります。

- SMS での文書送信を許可する
- モバイルデバイス上での署名を許可する

これらの設定を有効にできるのは、DocuSign アカウントマネージャーのみです。

これにより、エンベロープまたはエンベロープテンプレートの[受信者の追加]ステップに[配信]ドロップダウンメニューが表示されます。



SMS に関するガイドライン:

- [メールと SMS]は、エンベロープについて最大 4 人の受信者に指定できます。5 人以上の SMS 受信者を追加しようとすると、「**SMS** の受信者は **4** 人までに制限されています」というエラーメッセージが表示されます。
- 電話番号が保存済みの動的な受信者(連絡先など)に対しては、電話番号を入力する必要はありません。
- メールを送信せずに SMS メッセージのみを送信することはできません。
- [メールと SMS]は、以下のアクションを割り当てた受信者に対してのみ使用できます。
  - 署名が必要
  - 表示が必要
  - 文書のコピーを受信
- メールと SMS による配信を選択した場合、[アクセス認証の追加]フィールドに選択できるのは[アクセスコード]のみです。
- DocuSign 署名グループに対してメールと SMS による配信を選択することはできません。

SMS 番号の形式:

以下の形式の電話番号を使用できます。

- 9251111111(国コードとしてデフォルトの 1 が適用される)
- +1 9251111111
- +1 925-111-1111
- +1 (925)-111-1111

注: これ以外の形式の番号を入力すると、エラーメッセージが表示されます。受信者をエンベロープやテンプレートに保存するときに、番号の形式を修正してください。

SMS の国コードの形式:

- 国コードと電話番号の間にはスペースを入力する必要があります。
- Salesforce では、顧客の電話番号が以下の 2 つの形式で保存されています。
  - 米国およびカナダ:「+1 電話番号」形式
  - そのほかの地域:「+国番号 電話番号」形式
- 国コードの形式に誤りのある電話番号を入力すると、国コードとして自動的に 1 が追加されます。
- [メールと SMS]を[役割の指定]受信者([ユーザー/取引先責任者]以外)に追加する場合は、「+1 電話番号」形式である必要があります。

エンベロープ受信者に[メールと SMS]オプションを追加するには、以下の手順に従います。

エンベロープテンプレートの受信者に SMS(テキストメッセージ)配信オプションを追加する

エンベロープテンプレートの受信者に[メールと SMS]オプションを追加する方法について説明します。

ここでは、エンベロープテンプレートの受信者に[メールと SMS]オプションを追加する方法について説明します。

注: エンベロープを送信するときの[受信者]ステップでこの手順を実行することもできます。

1. Salesforce 管理者として、エンベロープテンプレートの[受信者]ページを開きます。
   a. Salesforce 画面の左上にある[アプリケーションランチャー]アイコン( )をクリックします。
   b. ドロップダウンメニューから[すべて表示]リンクを選択します。
   c. [DocuSign アプリケーションランチャー]タイルを選択します。
   d. [DocuSign エンベロープテンプレート]タブを選択します。
   e. 編集するテンプレートの右端にある下向き矢印( )を選択します。
   f. [編集]を選択します。エンベロープテンプレートの作成ページが開きます。
   g. [受信者]の矢印を選択します。矢印を選択すると、テキストが表示されます。
2. 受信者タイプに応じて、[メールと SMS]オプションを設定します。
   - 参照項目: [配信]ドロップダウンメニューから[メールと SMS]を選択します。
   - 関連リスト: [配信]ドロップダウンメニューから[メールと SMS]を選択します。
   - ユーザー/取引先責任者:
     - 配信:ドロップダウンメニューから[メールと SMS]を選択します。
     - 電話番号: 受信者の電話番号を入力します。

- 役割の指定:
  - 配信:ドロップダウンメニューから[メールと SMS]を選択します。
  - 名前: 必要に応じて、受信者の名前を入力します。
  - メール: 必要に応じて、受信者のメールアドレスを入力します。
  - 電話番号: 必要に応じて、受信者の電話番号を入力します。

> **注:** [メールと SMS]は、エンベロープについて最大 4 人の受信者に指定できます。

3. いずれかの保存オプションを選択します。
   - 追加して新規作成: 受信者を保存して、別の受信者を追加します。
   - 追加: 受信者を保存してダイアログボックスを閉じます。

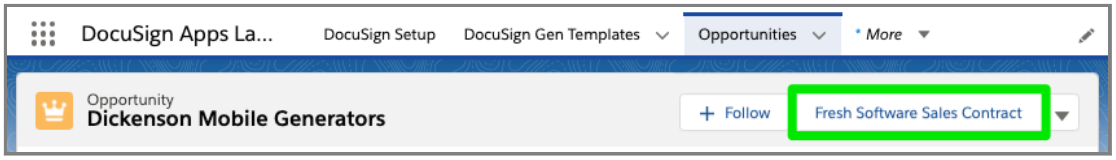
以上の手順により、エンベロープテンプレートの受信者に[メールと SMS]オプションが追加されました。ユーザーがこのテンプレートからエンベロープを送信すると、受信者はテキストメッセージとメールを受け取ります。受信者は、いずれかの方法を使用してエンベロープを開きます。

エンベロープの受信者に SMS 配信オプションを追加する

エンベロープの受信者に[メールと SMS]オプションを追加する方法について説明します。

ここでは、エンベロープの受信者に[メールと SMS]オプションを追加する方法について説明します。

1. Salesforce レコード([取引先]や[商談]など)を開きます。
2. ページ右上のエンベロープテンプレートのカスタムボタンを選択します。
   ボタンの名前は管理者によって設定されています。画面の幅によっては、ボタンバーの下向き矢印(▼)をクリックする必要があります。



   [文書]ページが開き、管理者が追加した文書が表示されます。
3. ページ右上の[次へ]を選択します。
   [受信者]ステップのページが開きます。
4. 受信者の名前を選択します。
   [受信者の追加]ダイアログボックスが開きます。
5. 配信:ドロップダウンメニューから[メールと SMS]を選択します。

> **注:** [配信]メニューは、アカウントで[SMS での文書送信を許可する]が有効になっている DocuSign ユーザーにのみ表示されます。

6. 電話番号: 必要に応じて、受信者の電話番号を入力します。

7. [追加]を選択します。
   [受信者の追加]ダイアログボックスが閉じます。

以上の手順により、エンベロープの受信者に[メールと SMS]オプションが追加されました。ユーザーがこのテンプレートからエンベロープを送信すると、受信者はテキストメッセージとメールを受け取ります。受信者は、いずれかの方法を使用してエンベロープを開きます。DocuSign と Salesforce のフィールドを追加してエンベロープを送信し、送信プロセスを完了します。

差し込みフィールドを使って受信者のメールアドレスと名前をオブジェクトから追加する

差し込みフィールド（Salesforce では「差し込み項目」と呼ばれます）構文を使用して、DocuSign エンベロープテンプレートに[役割の指定]受信者を追加できます。

差し込みフィールド（Salesforce では「差し込み項目」と呼ばれます）構文を使用して、DocuSign エンベロープテンプレートに[役割の指定]受信者を追加できます。

差し込みフィールド構文では、Salesforce の標準オブジェクトやカスタムオブジェクトから受信者の名前やメールアドレスを動的に追加できます。

参照関係で差し込みフィールド構文を使用して、関連オブジェクトから受信者を追加することもできます。

一般に、差し込みフィールド構文を使用して以下の受信者を追加します。

- ユーザー
- 取引先責任者
- リード
- 商談オブジェクトの取引先所有者

これらのオブジェクトでエンベロープテンプレートボタンを選択すると、レコードから受信者の名前とメールアドレスが取得されます。

> **注:** [参照項目]オプションを使用すると、差し込みフィールド構文を使用せずに、ユーザー、取引先責任者、およびリードから受信者を追加することができます。差し込みフィールド構文は、カスタムボタンと同じオブジェクトから受信者名とメールアドレスを取得する場合に使用します。**例:** 取引先責任者レイアウト上のエンベロープテンプレートボタンにより、取引先責任者オブジェクトから名前とメールアドレスを取得します。

以下のフィールド構文を使用できます。

表 1. ユーザー、取引先責任者、リードの構文

差し込みフィールド構文	**Action**
{!User.Name}	Salesforce ユーザー名を指定します。
{!User.Email}	Salesforce ユーザーのメールアドレスを指定します。
{!Contact.Name}	Salesforce 取引先責任者名を指定します。
{!Contact.Email}	Salesforce 取引先責任者のメールアドレスを指定します。
{!Lead.Name}	Salesforce リード名を指定します。

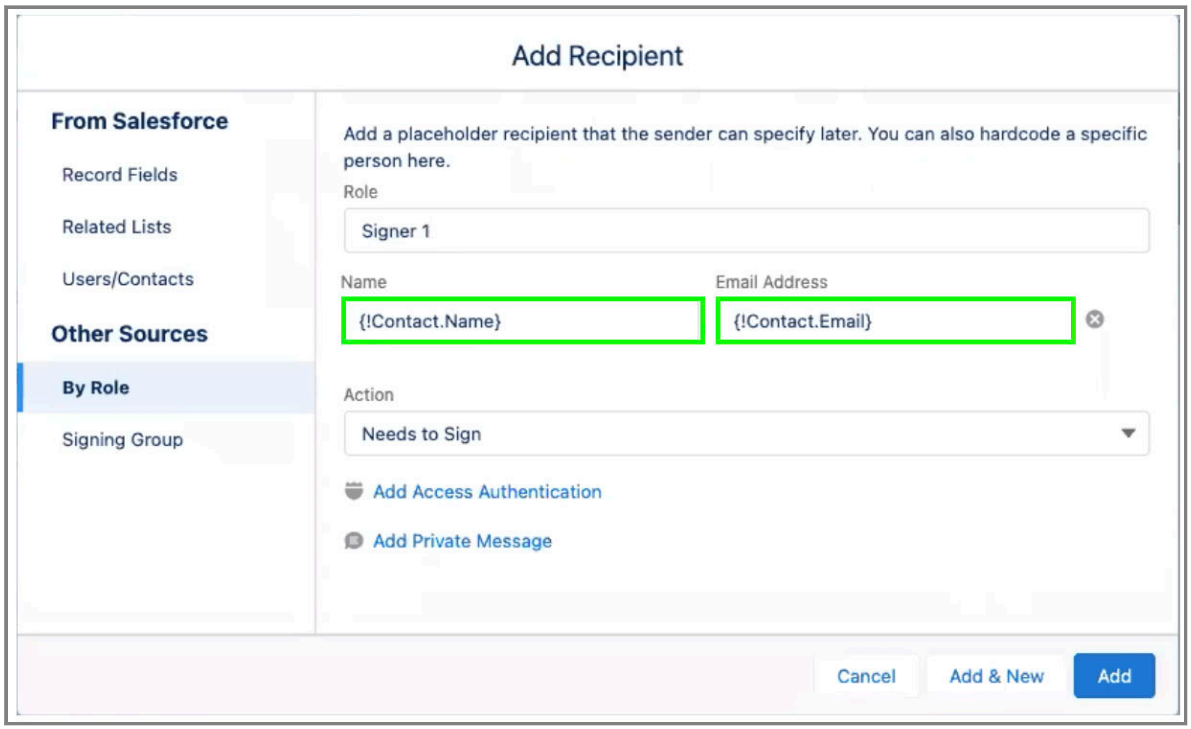
差し込みフィールド構文	**Action**
{!Lead.Email}	Salesforce リードのメールアドレスを指定します。

表 2. 参照関係の構文

差し込みフィールド構文	**Action**
{!Account.Owner.Name}	Salesforce 取引先所有者名を指定します。
{!Account.Owner.Email}	Salesforce 取引先所有者のメールアドレスを指定します。
{!Opportunity.Owner.Name}	Salesforce 商談所有者名を指定します。
{!Opportunity.Owner.Email}	Salesforce 商談所有者のメールアドレスを指定します。
{!Opportunity.LastModifiedBy.Name}	レコードを最後に修正した Salesforce ユーザーの名前を指定します。
{!Opportunity.LastModifiedBy.Email}	レコードを最後に修正した Salesforce ユーザーのメールアドレスを指定します。
{!Opportunity.Account.Owner.Name}	商談取引先所有者の名前を指定します。
{!Opportunity.Account.Owner.Email}	商談取引先所有者のメールアドレスを指定します。

注: 差し込みフィールド構文を使用すると、親オブジェクトや参照オブジェクトのカスタムフィールドから受信者を追加することもできます。

下図は、構文を使用して Salesforce 取引先責任者を追加する[役割の指定]受信者の例です。



Salesforce 差し込みフィールド構文の使用について詳しくは、こちらを参照してください。

以下の手順を実行すると、エンベロープテンプレート受信者に差し込みフィールド構文を追加するには、以下の手順に従います。

差し込みフィールド構文を使用してエンベロープに[役割の指定]受信者を追加する

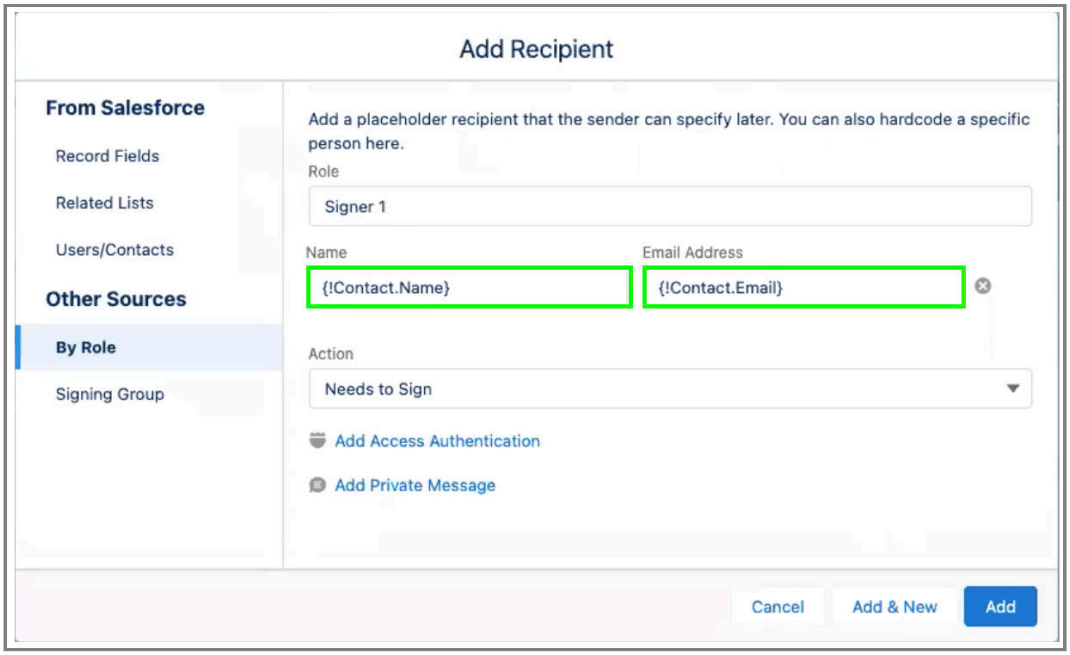
エンベロープテンプレートの[役割の指定]受信者に差し込みフィールド構文を追加する方法について説明します。

ここでは、エンベロープテンプレートの[役割の指定]受信者に差し込みフィールド構文を追加する方法について説明します。

1. Salesforce 管理者として、エンベロープテンプレートの[受信者]ページを開きます。
   a. Salesforce 画面の左上にある[アプリケーションランチャー]アイコン()をクリックします。
   b. ドロップダウンメニューから[すべて表示]リンクを選択します。
   c. [DocuSign アプリケーションランチャー]タイルを選択します。
   d. [DocuSign エンベロープテンプレート]タブを選択します。
   e. 編集するテンプレートの右端にある下向き矢印()を選択します。
   f. [編集]を選択します。エンベロープテンプレートの作成ページが開きます。
   g. [受信者]の矢印を選択します。矢印を選択すると、テキストが表示されます。
2. 受信者名の横の矢印()ドロップダウンメニューを開きます。
3. [編集]を選択します。

   > **注:** また、受信者名(「所有者」など)を選択してその詳細を編集することもできます。

   [受信者の追加]ダイアログボックスが開きます。
4. [受信者の追加]ダイアログボックスで、以下の操作を行います。
   a. 左側の列にある[役割の指定]を選択します。
   b. 役割: 受信者の役割を入力します(例:「Signer 1」)。
   c. 名前とメールアドレスの追加: 差し込みフィールド構文を追加するためのリンクを選択します。
   d. 名前: オブジェクトの名前の差し込みフィールド構文を追加します(例: Salesforce の取引責任者の場合は{!Contact.Name})。
   e. メールアドレス: オブジェクトのメールアドレスの差し込みフィールド構文を追加します(例: Salesforce の取引責任者の場合は{!Contact.Email})。
   f. [追加]を選択して受信者を保存し、ダイアログボックスを閉じます。



以上の手順により、Salesforce ユーザー、取引責任者、リードのエンベロープテンプレートに[役割の指定]受信者が追加されます。ユーザーがレコードでこのエンベロープテンプレートを選択すると、受信者の名前とメールアドレスが動的に追加されます。

差出人オプションを使用して差出人を受信者として追加する

差出人オプションを使用して、エンベロープの差出人を受信者として動的に追加する方法について説明します。

エンベロープやエンベロープテンプレートには、受信者タイプとして[差出人]を指定できます。これにより、エンベロープの差出人が受信者リストに動的に追加されます。この差出人は、Salesforce レコードでエンベロープテンプレートのカスタムボタンを選択したユーザーです。

受信者タイプとして[差出人]を指定する場合は、以下の点を考慮してください。

- 署名順のいずれの位置にも設定できます。
- [差出人]を選択すると、[同席する署名者]アクションは無効になります。
- [差出人]を選択すると、[配信]オプション([SMS]または[メールと SMS])は無効になります。
- 署名順の最初に設定した場合、[今すぐ署名]オプションが設定可能になります。
- [今すぐ署名]が有効な差出人受信者は、送信後に署名セッションを開始できます。

ここでは、エンベロープの差出人をエンベロープテンプレートに受信者として動的に追加する方法について説明します。

1. Salesforce 管理者として、エンベロープテンプレートの[受信者]ページを開きます。
    a. Salesforce 画面の左上にある[アプリケーションランチャー]アイコン( )をクリックします。

b. ドロップダウンメニューから[すべて表示]リンクを選択します。
c. [DocuSign アプリケーションランチャー]タイルを選択します。
d. [DocuSign エンベロープテンプレート]タブを選択します。
e. 編集するテンプレートの右端にある下向き矢印(▼)を選択します。
f. [編集]を選択します。エンベロープテンプレートの作成ページが開きます。
g. [受信者]の矢印を選択します。矢印を選択すると、テキストが表示されます。

2. 更新する受信者の名前を選択します。
[受信者の追加]ダイアログボックスが開きます。
3. [受信者の追加]ダイアログボックスで、以下の操作を行います。
a. 左側の列にある[差出人]を選択します。
b. アクション:ドロップダウンリストから、受信者に割り当てるアクション([署名が必要]など)を選択します。
c. (オプション)送信後に署名を開始する(今すぐ署名):このチェックボックスをオンにすると、エンベロープを送信した直後に差出人の署名プロセスが開始されます。

> **注:** このオプションは、アクションとして[署名が必要]を選択した場合にのみ表示されます。

d. [追加]を選択します。
[受信者の追加]ダイアログボックスが閉じます。
4. [保存して閉じる]を選択します。

以上の手順により、エンベロープテンプレート受信者に[差出人]オプションが追加されました。差出人がこのテンプレートを使用してエンベロープを作成すると、その差出人が受信者として動的に追加されます。[今すぐ署名]が選択されている場合は、エンベロープを送信した直後に差出人の署名プロセスが開始されます。

エンベロープテンプレートに同席で署名する受信者を追加する

同席での署名機能を使用して、複数の受信者による署名セッションを作成する方法について説明します。この署名セッションでは、すべての署名者が同席する必要があります。

エンベロープテンプレートの受信者に[同席での署名]アクションを割り当てるには、以下の手順に従います。

同席で署名する複数の署名者を追加する場合、すべての署名者がその場に同席する必要があります。

署名セッションの進行役(ホスト)がエンベロープを開き、各署名者がホストのデバイスで署名を行います。

[同席する署名者]アクションを割り当てる場合は、以下の点を考慮してください。

- 署名セッションのホストは、DocuSign eSignature for Salesforce ユーザーである必要があります。
- 署名順のいずれの位置にも設定できます。
- 同席する署名者が DocuSign ユーザーである必要はありません。
- 同じエンベロープに通常の署名者や受信者([署名が必要]、[文書のコピーを受信]アクションなど)を追加できます。
- 署名者名は、[参照項目]、[関連リスト]、[ユーザー/取引先責任者]、および[役割の指定]で指定できます。

- 受信者に[同席する署名者]アクションを割り当てると、[差出人]、または[ホストの名前]と[ホストのメールアドレス]ボックスが表示されます。
- [SMS]配信を設定することはできません。
- [同席する署名者]受信者を署名順の最初に設定した場合、[今すぐ署名]オプションが設定可能になります。
- 署名順の 2 番目以降の署名者に[今すぐ署名]オプションを設定することはできません。
- [ホストの名前]と[ホストのメールアドレス]ボックスでは、差し込みフィールドを使用できます。

例:

顧客の社長と財務部長に来社してもらい、契約書に署名してもらいます。

自分は DocuSign ユーザーであり、「同席する署名者」用のエンベロープテンプレートを作成しました。

自分が署名セッションをホストして、顧客に手順を説明しながら署名プロセスを進めます。

文書への署名時に顧客から質問があれば回答します。

各署名者には自分のタブレットを渡して署名を依頼します。

複雑な契約書を 1 回の短いセッションで説明し、署名を完了します。

エンベロープテンプレートの受信者に[同席する署名者]アクションを割り当てるには、以下の手順に従います。

> **注:** エンベロープを送信するときの[受信者]ステップでこの手順を実行することもできます。

1. Salesforce 管理者として、エンベロープテンプレートの[受信者]ページを開きます。
   a. Salesforce 画面の左上にある[アプリケーションランチャー]アイコン( )をクリックします。
   b. ドロップダウンメニューから[すべて表示]リンクを選択します。
   c. [DocuSign アプリケーションランチャー]タイルを選択します。
   d. [DocuSign エンベロープテンプレート]タブを選択します。
   e. 編集するテンプレートの右端にある下向き矢印( )を選択します。
   f. [編集]を選択します。エンベロープテンプレートの作成ページが開きます。
   g. [受信者]の矢印を選択します。矢印を選択すると、テキストが表示されます。
2. 更新する受信者の名前を選択します。
   [受信者の追加]ダイアログボックスが開きます。
3. [受信者の追加]ダイアログボックスで、以下の操作を行います。
   a. アクション:ドロップダウンメニューから[同席する署名者]を選択します。
   b. 必要に応じて、以下の操作を行ってセッションのホストを指定します。
      i. [差出人をホストにする]チェックボックスをオフにします。
      ii. ホストの名前: 同席での署名セッションの進行役になる DocuSign ユーザーの名前を入力します。
      iii. ホストのメールアドレス: 同席での署名セッションの進行役になる DocuSign ユーザーのメールアドレスを入力します。

> **注:** Salesforce の差し込みフィールド(Salesforce では「差し込み項目」と呼ばれます)を使用して、Salesforce の標準オブジェクトやカスタムオブジェクトからホストの名前やメールアドレスを動的に追加することもできます。

c. エンベロープの送信直後に同席での署名セッションを開始する場合は、[送信後に署名を開始する(今すぐ署名)]チェックボックスをオンにします。

d. [追加]を選択します。

[受信者の追加]ダイアログボックスが閉じます。

4. 必要に応じて、[受信者の追加]を選択して同席する署名者を追加します。
5. 必要に応じて、[署名順]で各署名者に署名する順番を指定します。
6. [保存して閉じる]を選択します。

以上の手順により、エンベロープテンプレートの受信者に[同席する署名者]オプションが追加されました。DocuSign ユーザーは、署名セッションのホストとして署名者の署名作業を支援します。

関連情報

同席での署名

[今すぐ署名]オプションによるエンベロープ送信直後の差出人による署名

[今すぐ署名]オプションを使用して、エンベロープの送信直後に差出人による署名セッションを開始する方法について説明します。

[送信後に署名を開始する(今すぐ署名)]オプションを使用すると、エンベロープの送信直後に差出人による署名セッションが自動的に開始されます。差出人がエンベロープの受信者でもある場合は、これにより差出人の署名プロセスが簡略化されます。

[送信後に署名を開始する(今すぐ署名)]オプションを使用する場合は、以下の点を考慮してください。

- このオプションは、受信者に[同席する署名者]アクションを割り当てた場合にのみ表示されます。
- [署名順]を有効にした場合、このオプションは直前の受信者の[今すぐ署名]が有効になっているときにのみ表示されます。
- 署名順の最初の受信者の[今すぐ署名]を無効にした場合、後続の受信者に対して[今すぐ署名]オプションを使用することはできません。
- [署名順]を無効にした場合は、任意の[同席する署名者]受信者に[今すぐ署名]オプションを追加できます。

エンベロープテンプレート受信者に[送信後に署名を開始する(今すぐ署名)]オプションを追加するには、以下の手順に従います。

> **注:** エンベロープを送信するときの[受信者]ステップでこの手順を実行することもできます。

1. Salesforce 管理者として、エンベロープテンプレートの[受信者]ページを開きます。
   a. Salesforce 画面の左上にある[アプリケーションランチャー]アイコン( )をクリックします。
   b. ドロップダウンメニューから[すべて表示]リンクを選択します。
   c. [DocuSign アプリケーションランチャー]タイルを選択します。

d. [DocuSign エンベロープテンプレート]タブを選択します。
e. 編集するテンプレートの右端にある下向き矢印(▼)を選択します。
f. [編集]を選択します。エンベロープテンプレートの作成ページが開きます。
g. [受信者]の矢印を選択します。矢印を選択すると、テキストが表示されます。

2. 更新する受信者の名前を選択します。
[受信者の追加]ダイアログボックスが開きます。
3. [アクション]ドロップダウンメニューから[同席する署名者]を選択します。
4. [送信後に署名を開始する(今すぐ署名)]チェックボックスをオンにします。
5. [追加]を選択します。
6. [保存して閉じる]を選択します。

以上の手順により、エンベロープテンプレート受信者に[送信後に署名を開始する(今すぐ署名)]オプションが追加されました。[今すぐ署名]が選択されている場合は、エンベロープを送信した直後に差出人の署名プロセスが開始されます。

エンベロープテンプレートのオプション: [フィールドの配置]ステップ

エンベロープテンプレート作成プロセスの[フィールドの配置]のステップでは、多くのオプションを設定できます。フィールドの配置アクション(コピー、貼り付け、元に戻す、やり直す、拡大)、eSignature フィールドオプションのカスタマイズ、新規カスタムフィールドの作成、[アクション]ボタンの使用、受信者プレビューアクションの使用などがあります。

ここでは、エンベロープテンプレート作成プロセスの[フィールドの配置]ステップで使用できるフィールドタイプと設定可能なオプションについて説明します。以下の内容が含まれています。

- エンベロープテンプレートの[フィールドの配置]ステップにアクセスするには
- エンベロープテンプレートに追加するフィールドのカテゴリと機能
- sqm1596607417112.html
- qpi1597294213248.html
- フィールド配置アクション: コピー、貼り付け、元に戻す、やり直す、拡大
- カスタムフィールド機能を使用してエンベロープテンプレートに新しいフィールドを作成する
- [フィールドの配置]のオプション: [アクション]ボタン
- 受信者のプレビューアクション: 表示形式とデバイスに応じた表示
- [フィールドの配置]アクション: [サムネイル]メニュー
- 自動配置テキストを使用して受信者のフィールドを自動配置するには
- eSignature for Salesforce エンベロープの文書に自動配置テキストを追加する

エンベロープテンプレートに追加するフィールドのカテゴリと機能

エンベロープテンプレート作成プロセスの[フィールドの配置]ページでは、標準の eSignature フィールドだけでなく、さまざまなカテゴリのフィールドを文書上に追加できます。たとえば、Salesforce 項目の差し込みフィールドや公証人フィールドを追加したり、カスタムフィールドを作成したりできます。

エンベロープテンプレートプロセスの[フィールドの配置]ページでは、標準の eSignature フィールドだけでなく、さまざまなカテゴリのフィールドを文書上に追加できます。たとえば、Salesforce 項目の差し込みフィールドや公証人フィールドを追加したり、カスタムフィールドを作成したりできます。

次の表は、文書に追加できるフィールドのカテゴリを示しています。

ゴリと機能

ボタン	フィールドのタイプ	機能
	標準フィールド	署名、イニシャル、署名日などの標準の DocuSign フィールドです。
	カスタムフィールド	ラジオボタン、チェックボックス、数式などのフィールドのプロパティをカスタマイズして、名前を付けて保存できます。
	差し込みフィールド	Salesforce 内のデータにリンクされたフィールドです。
	公証人フィールド	公証人が署名者と同席して署名するためのフィールドです。
	e シールフィールド	文書の出所と整合性を保証する法人向けの e シールを追加します。
	スマートセクション	スマートフォンなどの小さい画面用に折りたたんだり展開したりできるテキストブロックを設定します。

関連情報

エンベロープテンプレートのオプション: [フィールドの配置]ステップ

標準 eSignature フィールドの設定

テンプレート作成時に文書上に追加した DocuSign eSignature フィールドはカスタマイズすることができます。

テンプレート作成時に文書上に追加した DocuSign eSignature フィールドはカスタマイズすることができます。以下のオプションを使用できます。

- 必須

- 読み取り専用
- 署名者の追加
- ツールヒントの追加
- データラベルのカスタマイズ
- 検証タイプの追加
- 文字数の上限の追加

ここでは、既存のエンベロープテンプレートの文書上に eSignature フィールドを追加する[フィールドの配置]ページを開く方法について説明します。

1. 以下の手順を実行して、エンベロープテンプレートの[フィールドの配置]タブにアクセスします。
   a. [DocuSign エンベロープテンプレート]タブを選択します。
   b. テンプレート名の右端にある矢印(▼)ドロップダウンメニューを開きます。
   c. メニューから[編集]を選択します。DocuSign エンベロープテンプレートの作成ページが開きます。
   d. [フィールドの配置]タブを選択します。



2. メニューを使用して必要な操作を行います。
3. 設定が完了したら、[保存]ボタンを選択します。

   結果: 以上の手順により、エンベロープテンプレートのフィールドが追加または編集されました。

ここでは、DocuSign の標準署名フィールドの詳細と、エンベロープテンプレートでこれらのフィールドを設定する方法について説明します。

受信者ビューを追加する

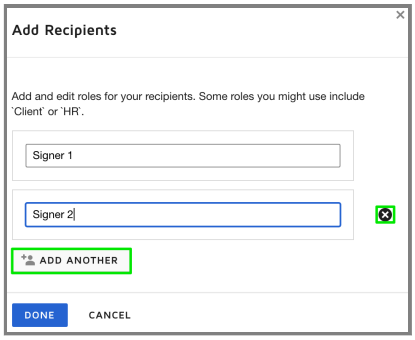


[DocuSign フィールド]ヘッダーの下にあるドロップダウンメニューを使用して、テンプレートに受信者ビューを追加します。対象となる受信者に応じて、異なる DocuSign フィールドを設定したり、フィールドの配置を変更したりできます。

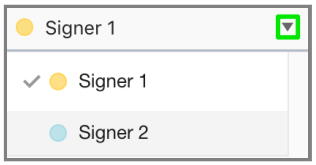
1. 矢印(▼)を選択し、ドロップダウンメニューから[受信者の編集]を選択します。
2. [さらに追加]を選択して、受信者ビューを追加します。

   注: 複数の受信者を追加できます。

3. [名前またはプレースホルダー(必須*)]ボックスに署名者の名前を入力します。
4. (オプション): 受信者を削除する場合は、署名者の右側にある ⊗ を選択します。
5. リストが完成したら、[完了]を選択します。



6. [署名者 1]ビューで DocuSign フィールドを追加します。
7. 矢印(▼)を選択し、ドロップダウンメニューから次の署名者を選択します。



8. [署名者 2]ビューで DocuSign フィールドを追加します。
9. 以上の操作を受信者ビューごとに繰り返します。
10. ページ右上の[次へ]を選択します。
11. ページ右上の[発行]を選択します。
「テンプレート<テンプレート名>が更新されました」というメッセージが表示されます。

結果: 以上の手順により、受信者ごとにカスタマイズされたエンベロープが作成されました。

[署名]フィールド



受信者が電子署名を追加する場所にこのフィールドを配置します。このフィールドはカスタマイズが可能です。別の受信者に割り当てたり、必須またはオプションに設定したり、ツールヒントやカスタムのデータラベルを追加したりできます。

テンプレート文書上の[署名]フィールドを選択します。[署名]フィールド用のオプションが表示されます。

利用可能なオプション:

- 署名者:ドロップダウンから、このフィールドを割り当てる署名者を選択します(例: 署名者 1、署名者 2 など)。
- 必須フィールド: 署名者による入力を必須としないオプションフィールドとして設定する場合は、チェックボックスをオフにします。
- 詳細表示: 最下部のボタンを選択すると、オプションのリストが展開されます。



- ツールヒント: マウスをそのフィールドの上に置くと表示されるツールヒントを入力します。
- データラベル: 差出人にのみ表示されるフィールド ID で、同じタイプのフィールドに完全に同一のデータラベルを設定すると、それらのフィールドデータがリンクされます。これにより、いずれかのフィールドへの入力内容が、同じデータラベルのすべてのフィールドに自動的にコピーされるようになります。
- 簡易表示: ボタンを選択すると、展開表示されたオプションが折りたたまれます。
- X: ダイアログボックスの右上にある[X]を選択すると、オプションリストが閉じます。

[イニシャル]フィールド



受信者がイニシャルを追加する場所にこのフィールドを配置します。このフィールドはカスタマイズが可能です。別の受信者に割り当てたり、必須またはオプションに設定したり、ツールヒントやカスタムのデータラベルを追加したりできます。

テンプレート文書上の[イニシャル]フィールドを選択します。[イニシャル]フィールド用のオプションが表示されます。

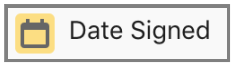
利用可能なオプション:

- 署名者: ドロップダウンから、このフィールドを割り当てる署名者を選択します(例: 署名者 1、署名者 2 など)。
- 必須フィールド: 署名者による入力を必須としないオプションフィールドとして設定する場合は、チェックボックスをオフにします。
- 詳細表示: 最下部のボタンを選択すると、オプションのリストが展開されます。



- ツールヒント: マウスをそのフィールドの上に置くと表示されるツールヒントを入力します。
- データラベル: 差出人にのみ表示されるフィールド ID で、同じタイプのフィールドに完全に同一のデータラベルを設定すると、それらのフィールドデータがリンクされます。これにより、いずれかのフィールドへの入力内容が、同じデータラベルのすべてのフィールドに自動的にコピーされるようになります。
- 簡易表示: ボタンを選択すると、展開表示されたオプションが折りたたまれます。
- X: ダイアログボックスの右上にある[X]を選択すると、オプションリストが閉じます。

[署名日]フィールド



署名日を自動挿入する場所にこのフィールドを配置します。このフィールドはカスタマイズが可能です。ツールチップやカスタムのデータラベルを追加できます。

テンプレート文書上の[署名日]フィールドを選択します。[署名日]フィールド用のオプションが表示されます。

利用可能なオプション:

- 署名者:ドロップダウンから、このフィールドを割り当てる署名者を選択します(例: 署名者 1、署名者 2 など)。
- 詳細表示: 最下部のボタンを選択すると、オプションのリストが展開されます。
- ツールヒント: マウスをそのフィールドの上に置くと表示されるツールヒントを入力します。
- データラベル: 差出人にのみ表示されるフィールド ID で、同じタイプのフィールドに完全に同一のデータラベルを設定すると、それらのフィールドデータがリンクされます。これにより、いずれかのフィールドへの入力内容が、同じデータラベルのすべてのフィールドに自動的にコピーされるようになります。
- 簡易表示: ボタンを選択すると、展開表示されたオプションが折りたたまれます。
- X: ダイアログボックスの右上にある[X]を選択すると、オプションリストが閉じます。

[名前]フィールド

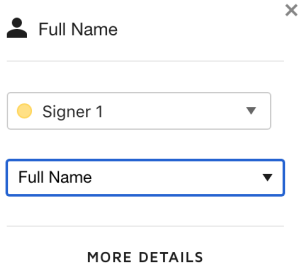


受信者の名前を自動挿入する場所にこのフィールドを配置します。このフィールドはカスタマイズが可能です。名または姓のみに設定したり、ツールチップやカスタムのデータラベルを追加したりできます。

テンプレート文書上の[名前]フィールドを選択します。[名前]フィールド用のオプションが表示されます。

利用可能なオプション:

- 署名者:ドロップダウンから、このフィールドを割り当てる署名者を選択します(例: 署名者 1、署名者 2 など)。
- [氏名]ドロップダウンから、[名]または[姓]を選択できます。



- 詳細表示: 最下部のボタンを選択すると、オプションのリストが展開されます。
- ツールヒント: マウスをそのフィールドの上に置くと表示されるツールヒントを入力します。
- データラベル: 差出人にのみ表示されるフィールド ID で、同じタイプのフィールドに完全に同一のデータラベルを設定すると、それらのフィールドデータがリンクされます。これにより、いずれかのフィールドへの入力内容が、同じデータラベルのすべてのフィールドに自動的にコピーされるようになります。
- 簡易表示: ボタンを選択すると、展開表示されたオプションが折りたたまれます。
- X: ダイアログボックスの右上にある[X]を選択すると、オプションリストが閉じます。

[メール]フィールド



受信者のメールアドレスを自動挿入する場所にこのフィールドを配置します。このフィールドはカスタマイズが可能です。ツールチップやカスタムのデータラベルを追加できます。

テンプレート文書上の[メール]フィールドを選択します。[メール]フィールド用のオプションが表示されます。

利用可能なオプション:

- 署名者:ドロップダウンから、このフィールドを割り当てる署名者を選択します(例: 署名者 1、署名者 2 など)。
- 詳細表示: 最下部のボタンを選択すると、オプションのリストが展開されます。
- ツールヒント: マウスをそのフィールドの上に置くと表示されるツールヒントを入力します。
- データラベル: 差出人にのみ表示されるフィールド ID で、同じタイプのフィールドに完全に同一のデータラベルを設定すると、それらのフィールドデータがリンクされます。これにより、いずれかのフィールドへの入力内容が、同じデータラベルのすべてのフィールドに自動的にコピーされるようになります。
- 簡易表示: ボタンを選択すると、展開表示されたオプションが折りたたまれます。
- X: ダイアログボックスの右上にある[X]を選択すると、オプションリストが閉じます。

[会社名]フィールド

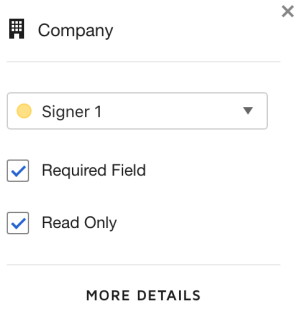


受信者の会社名を自動挿入する場所にこのフィールドを配置します。このフィールドはカスタマイズが可能です。別の受信者に割り当てたり、必須またはオプションに設定したり、読み取り専用に設定したり、ツールチップやカスタムのデータラベルを追加したりできます。

テンプレート文書上の[会社名]フィールドを選択します。[会社名]フィールド用のオプションが表示されます。

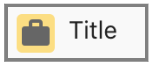
利用可能なオプション:

- 署名者:ドロップダウンから、このフィールドを割り当てる署名者を選択します(例: 署名者 1、署名者 2 など)。
- 必須フィールド: 署名者による入力を必須としないオプションフィールドとして設定する場合は、チェックボックスをオフにします。
- 読み取り専用: オンにするとフィールドがロックされ、差出人が入力した内容を署名者が編集できなくなります。
- 詳細表示: 最下部のボタンを選択すると、オプションのリストが展開されます。



- ツールヒント: マウスをそのフィールドの上に置くと表示されるツールヒントを入力します。
- データラベル: 差出人にのみ表示されるフィールド ID で、同じタイプのフィールドに完全に同一のデータラベルを設定すると、それらのフィールドデータがリンクされます。これにより、いずれかのフィールドへの入力内容が、同じデータラベルのすべてのフィールドに自動的にコピーされるようになります。
- 簡易表示: ボタンを選択すると、展開表示されたオプションが折りたたまれます。
- X: ダイアログボックスの右上にある[X]を選択すると、オプションリストが閉じます。

[役職]フィールド

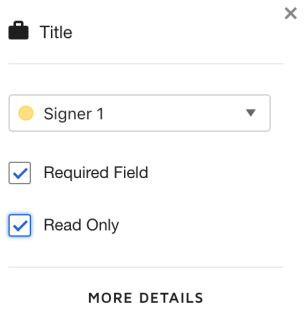


受信者の役職を自動挿入する場所にこのフィールドを配置します。このフィールドはカスタマイズが可能です。別の受信者に割り当てたり、必須またはオプションに設定したり、読み取り専用に設定したり、ツールチップやカスタムのデータラベルを追加したりできます。

テンプレート文書上の[役職]フィールドを選択します。[役職]フィールド用のオプションが表示されます。

利用可能なオプション:

- 署名者:ドロップダウンから、このフィールドを割り当てる署名者を選択します(例: 署名者 1、署名者 2 など)。
- 必須フィールド: 署名者による入力を必須としないオプションフィールドとして設定する場合は、チェックボックスをオフにします。
- 読み取り専用: オンにするとフィールドがロックされ、差出人が入力した内容を署名者が編集できなくなります。
- 詳細表示: 最下部のボタンを選択すると、オプションのリストが展開されます。



- ツールヒント: マウスをそのフィールドの上に置くと表示されるツールヒントを入力します。
- データラベル: 差出人にのみ表示されるフィールド ID で、同じタイプのフィールドに完全に同一のデータラベルを設定すると、それらのフィールドデータがリンクされます。これにより、いずれかのフィールドへの入力内容が、同じデータラベルのすべてのフィールドに自動的にコピーされるようになります。
- 簡易表示: ボタンを選択すると、展開表示されたオプションが折りたたまれます。
- X: ダイアログボックスの右上にある[X]を選択すると、オプションリストが閉じます。

[テキスト]フィールド



受信者がテキストを入力する場所にこのフィールドを配置します。このフィールドはカスタマイズが可能です。別の受信者に割り当てたり、必須またはオプションに設定したり、読み取り専用に設定したり、文字数の上限を追加したり、文字タイプを検証したり、ツールチップやカスタムのデータラベルを追加したりできます。

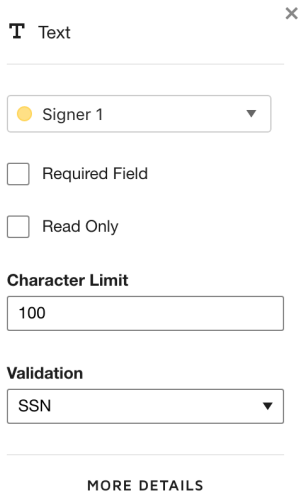
テンプレート文書上の[テキスト]フィールドを選択します。[テキスト]フィールド用のオプションが表示されます。

利用可能なオプション:

- 署名者:ドロップダウンから、このフィールドを割り当てる署名者を選択します(例: 署名者 1、署名者 2 など)。
- 必須フィールド: 署名者による入力を必須としないオプションフィールドとして設定する場合は、チェックボックスをオフにします。
- 読み取り専用: オンにするとフィールドがロックされ、差出人が入力した内容を署名者が編集できなくなります。
- [文字数の上限]に数値を入力すると、受信者が入力できる文字数を制限できます。
- [検証]ドロップダウンメニューを選択すると、署名者が入力できるデータのタイプを制限できます。

> **注:** オプション: なし、**SSN**（社会保障番号）、メール、数字、文字（半角英字）、日付、**ZIP+4**、**ZIP**、カスタム

- 詳細表示: 最下部のボタンを選択すると、オプションのリストが展開されます。



- ツールヒント: マウスをそのフィールドの上に置くと表示されるツールヒントを入力します。
- データラベル: 差出人にのみ表示されるフィールド ID で、同じタイプのフィールドに完全に同一のデータラベルを設定すると、それらのフィールドデータがリンクされます。これにより、いずれかのフィールドへの入力内容が、同じデータラベルのすべてのフィールドに自動的にコピーされるようになります。
- 簡易表示: ボタンを選択すると、展開表示されたオプションが折りたたまれます。
- X: ダイアログボックスの右上にある[X]を選択すると、オプションリストが閉じます。

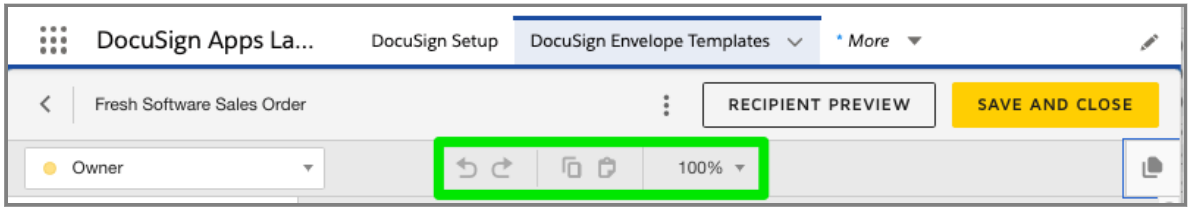
関連情報

エンベロープテンプレートのオプション: [フィールドの配置]ステップ（DAL）

フィールド配置アクション: コピー、貼り付け、元に戻す、やり直す、拡大

[フィールドの配置]ページのアクションメニューを使用して、文書上に配置した署名フィールドを操作できます。

[フィールドの配置]ページのアクションメニューを使用して、文書上に配置した署名フィールドを操作できます。



以下のオプションを使用できます。

表 1. フィールドの配置アクション

ボタン	ボタン名	アクション
	元に戻す	フィールドに対して最後に実行したアクションを元に戻します。
	やり直す	フィールドに対して最後に実行したアクションをやり直します。
	コピー	選択したフィールドをコピーします。
	貼り付け	コピーしたフィールドを貼り付けます。
	拡大	文書の表示を拡大/縮小します。

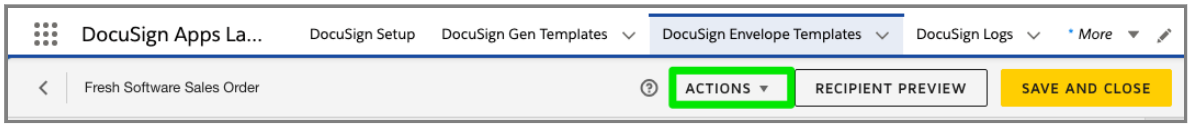
関連情報

エンベロープテンプレートのオプション: [フィールドの配置]ステップ

[フィールドの配置]のオプション: [アクション]ボタン

文書上にフィールドを追加する画面では、[アクション]ドロップダウンメニューから DocuSign と Salesforce のオプションを選択できます。

文書上にフィールドを追加する画面では、[アクション]ドロップダウンメニューから DocuSign と Salesforce のオプションを選択できます。



以下のオプションを使用できます。

アクション]ドロップダウンメニューのオプション

メニュー項目	アクション
変更の破棄	フィールドの追加画面で実行したすべての変更を破棄します。
削除	エンベロープテンプレートとすべての添付文書を削除します。
メッセージの編集	受信者に表示されるメールの件名とメールメッセージを変更します。
受信者の編集	既存の受信者の詳細や割り当てるアクションを編集したり、新しい受信者を追加したりできます。
文書の編集	アップロード済みの文書の表示、置き換え、ダウンロード、名前の変更、または削除、新しい文書のアップロード、または通常の文書(署名用の文書)から補足文書(付属的な資料)への切り替えを行います。

関連情報

エンベロープテンプレートのオプション: [フィールドの配置]ステップ

受信者のプレビューアクション: 表示形式とデバイスに応じた表示

文書上にフィールドを追加する画面では、[アクション]ドロップダウンメニューから DocuSign と Salesforce のオプションを選択できます。

文書上にフィールドを追加する画面では、[アクション]ドロップダウンメニューから DocuSign と Salesforce のオプションを選択できます。

以下のオプションを使用できます。

クション

ボタン	名前	アクション
Owner	表示形式	ドロップダウンメニューを使って、所有者または受信者としてプレビューします。
	デスクトップ表示	コンピューターで表示したときの文書をプレビューします。
	タブレット表示	タブレットで表示したときの文書をプレビューします。
	モバイル表示	モバイルデバイスで表示したときの文書をプレビューします。
	コメントの表示	文書の下部までスクロールしてコメントを表示します。
	閉じる	プレビュー画面を閉じてフィールドの追加画面に戻ります。

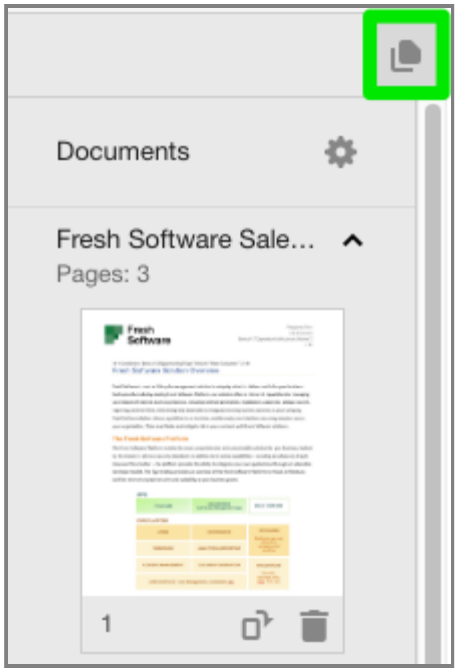
関連情報

エンベロープテンプレートのオプション: [フィールドの配置]ステップ

[フィールドの配置]アクション: [サムネイル]メニュー

[フィールドの配置]ページの[サムネイル]ボタンを使用すると、テンプレート文書の各ページのサムネイルプレビューを表示できます。また、[フィールドの配置]ステップで実行できるアクションのメニューにアクセスすることもできます。

[フィールドの配置]ページの[サムネイル]ボタン()を使用すると、テンプレート文書の各ページのプレビューを表示できます。また、[フィールドの配置]ステップで実行できるアクションのメニューにアクセスすることもできます。

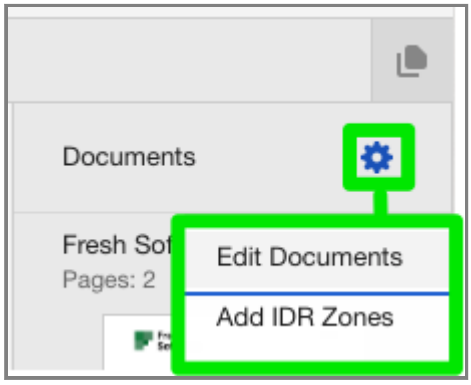


[サムネイル]メニューでは、以下のボタンを使用できます。

イル]メニューのオプション

ボタン	ボタン名	アクション
	サムネイル	サムネイルメニューペインを表示/非表示にします。
	文書の設定	[文書の編集]および[IDR ゾーンの追加]のオプションを選択できます。
	回転	ページを回転します。
	削除	ページを削除します。

[文書の設定]( )メニューでは、以下のオプションを選択できます。



[文書の設定]メニューでは、以下のオプションを選択できます。

表 2. [文書のアップロード]ページのオプション

メニュー項目	アクション
IDR ゾーンの追加	テンプレートマッチング時に照合されるテキスト領域を IDR ゾーンとして指定します。
文書の編集	[アップロード]、[クラウドから取得]、[そのほかのオプション]のオプションが表示されます。

[文書の編集]を選択すると[文書のアップロード]ページが開き、現在の文書に対してアクションを実行したり、新しい文書をアップロードしたりするオプションが表示されます。

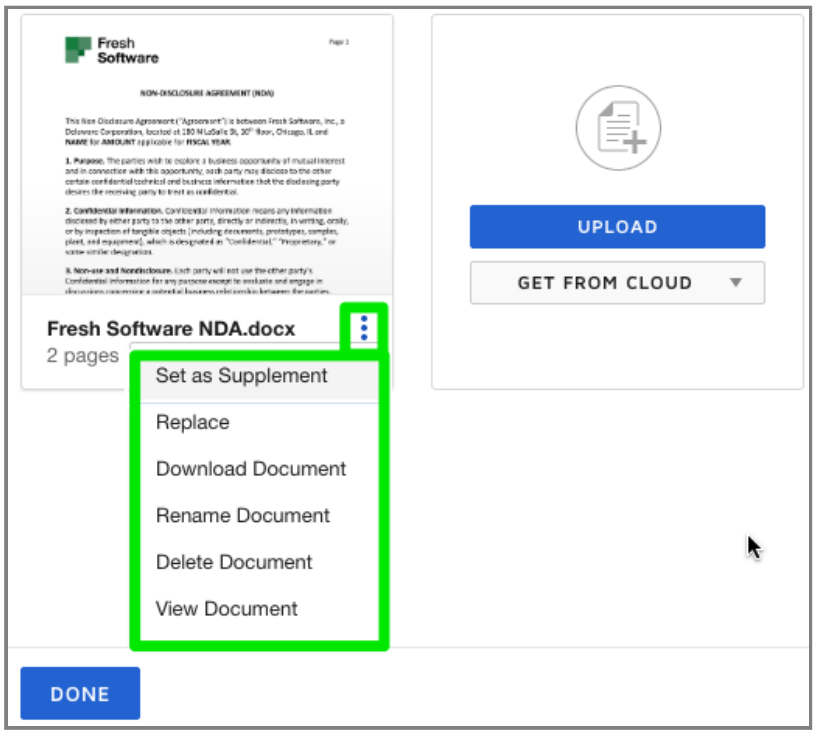


表 3. [文書のアップロード]ページのオプション

メニュー項目	アクション
クラウドから取得	クラウドストレージ(Google ドライブ、Box、Dropbox、OneDrive など)から文書を追加します。
アップロード	デバイスから文書を追加します。
そのほかのオプション	[補足文書として設定]、[置き換え]、[文書のダウンロード]、[文書名の変更]、[文書の削除]、[文書の表示]のオプションが表示されます。
補足文書として設定	通常の文書(署名対象の文書)から補足文書(付属的な資料)への切り替えを行います。
置き換え	文書を削除して、デバイスから別の文書をアップロードして文書を置き換えます。
文書のダウンロード	デバイスに文書をダウンロードします。
文書名の変更	文書名を変更します。
文書の削除	テンプレートから文書を削除します。
文書の表示	文書のプレビューを開きます。

関連情報

エンベロープテンプレートのオプション: [フィールドの配置]ステップ

カスタムフィールド機能を使用してエンベロープテンプレートに新しいフィールドを作成する

[フィールドの配置]ステップでは、カスタムフィールド機能を使って標準の DocuSign フィールドとは異なる独自のフィールドを作成できます。

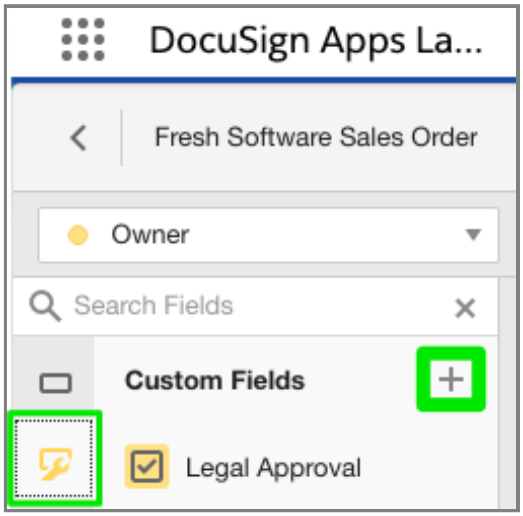
[フィールドの配置]ステップでは、カスタムフィールド機能を使って標準の DocuSign フィールドとは異なる独自のフィールドを作成できます。

この機能では、カスタムの[ラジオ]、[ドロップダウン]、[数式]、[添付資料]フィールドなど、さまざまなフィールドを作成できます。

カスタムフィールドを作成しておくと、エンベロープテンプレートにアップロードした文書に簡単に追加できるようになります。

カスタムフィールドを作成するには、以下の手順に従います。

1. ページ左側で[カスタムフィールド]タブ( )を選択します。
2. [カスタムフィールド]ヘッダーの右にある[+](カスタムフィールドの追加)を選択します。



[カスタムフィールドの詳細]ダイアログボックスが開きます。

3. 以下の情報を指定します。
   a. 名前: カスタムフィールドを識別するための名前を入力します。
   b. タイプ: ドロップダウンメニューからフィールドのタイプ([チェックボックス」、[数式]、[添付資料]など)を選択します。
   c. チェックボックス: 必要に応じて、[必須]、[読み取り専用]、[共有]のチェックボックスをオンにします。
   d. オプション: 選択したタイプにより、異なるオプションが表示されます([初期値]、[デフォルトの選択]など)。
   e. フォーマット設定: テキストを表示するカスタムフィールドでは、[フォント]、[フォントの色]、[フォントサイズ]などをカスタマイズするオプションが表示されます。

f. デフォルトの詳細設定: ツールヒントを追加したり、文書上の既存の自動配置テキストを入力したりできます。

4. 設定が完了したら、[保存]ボタンを選択します。

以上の手順により、新しいカスタムフィールドが作成され、エンベロープテンプレートの[フィールドの配置]ステップで使用できるようになりました。

関連情報

エンベロープテンプレートのオプション: [フィールドの配置]ステップ

自動配置テキストを使用して受信者のフィールドを自動配置するには

自動配置テキストを使用してテンプレート文書に署名者用のフィールドを配置する方法について説明します。

自動配置テキストを使用すると, テンプレート文書上に署名者用のフィールドを自動的に配置できます。

自動配置テキストは、文書上に DocuSign フィールドや Salesforce ロールのプレースホルダーとして機能します。

自動配置テキストでは、文書上のフィールドを異なる受信者に割り当てることもできます。

文書上の適切な場所に、特定の受信者用の自動配置テキストを配置します。

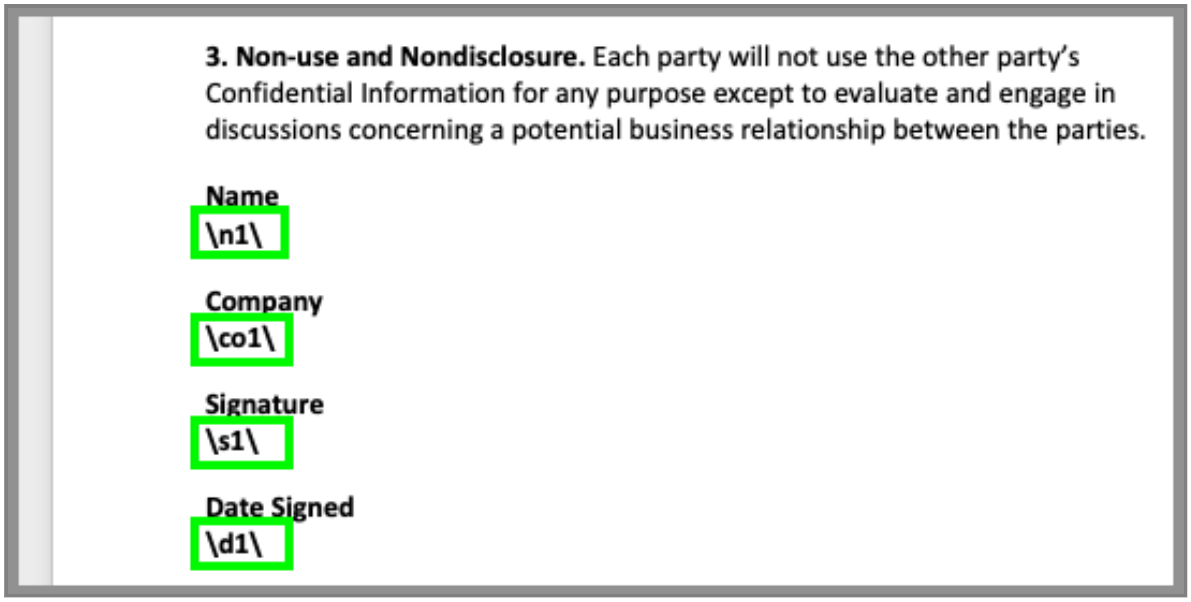
このテンプレートを使ってエンベロープを送信すると、文書上の自動配置テキストが各受信者用のフィールドに変換されます。

各受信者には、自分に割り当てられているフィールド(署名、名前、会社名など)のみが使用可能になります。

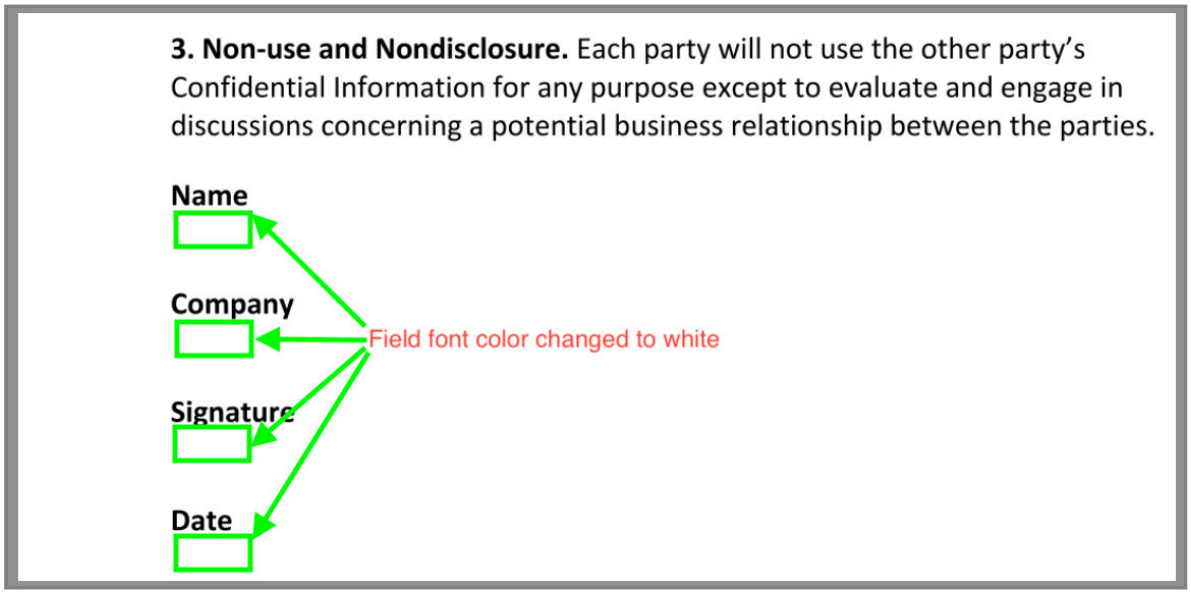
- 標準的な自動配置テキストでは、最大で 4 人の受信者(Signer 1、Signer 2 など)について使用できます。
- Salesforce フィールドを文書上に配置したり 5 人以上の受信者にフィールドを割り当てたりするには、カスタムの自動配置テキストを作成する必要があります。

例:

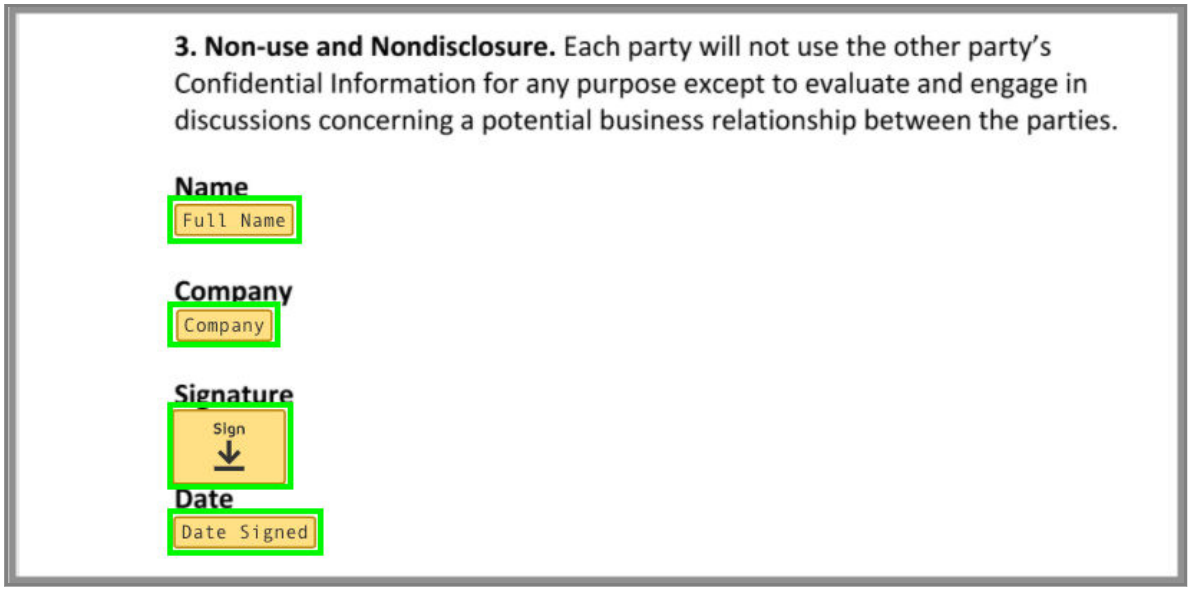
ロール名「Signer 1」の受信者に割り当てる自動配置テキストをテンプレート文書に追加します。



自動配置テキストを白などの文書の地の色に変更して、これらのテキストが受信者に表示されないようにします。次の図の例では、自動配置テキストの色を白に変更しています。



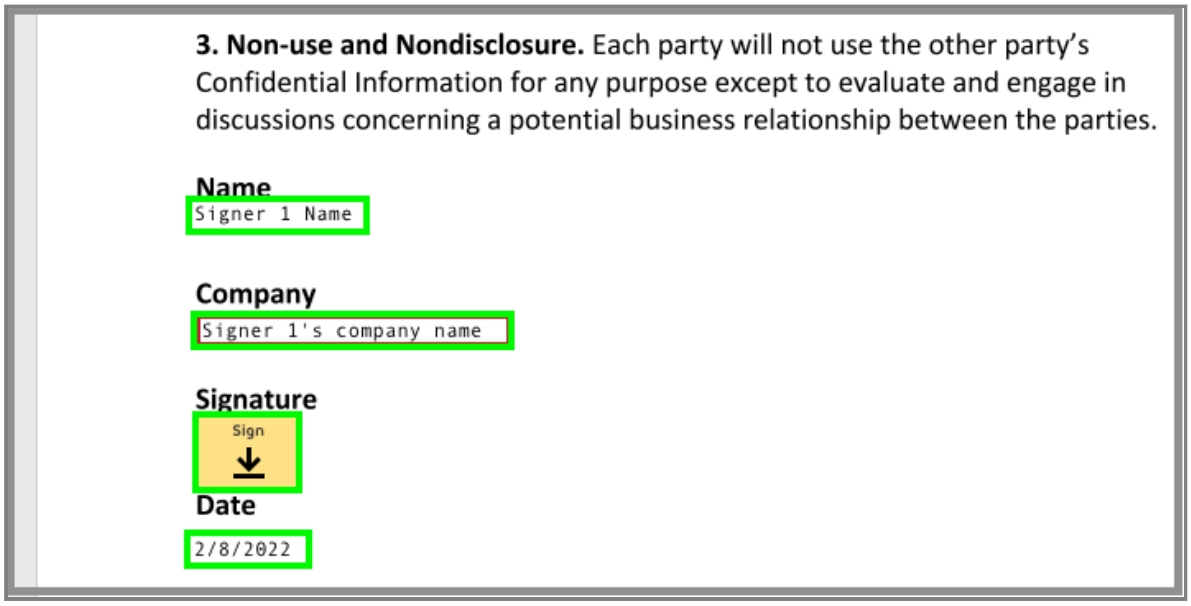
この文書をエンベロープやエンベロープテンプレートに追加します。自動配置テキストが「Signer 1」受信者用のフィールドに変換されます。白い自動配置テキストは文書上に表示されませんが、各フィールドは受信者に表示されることに注意してください。



「Signer 1」受信者がこのエンベロープを開くと、割り当てられているフィールドが表示されます。

この例では、「Signer 1」受信者に割り当てられた[名前]、[会社名]、および[署名日]フィールドに受信者データの値が自動的に入力されます。

「Signer 1」受信者は、[署名]フィールドに署名を行うだけでエンベロープを完了できます。



次の表は、Salesforce ロールに割り当て可能な自動配置テキストの一覧です。

> **注:** デフォルトのロール名（Signer 1、Signer 2 など）は、必要に応じて変更できます。

Salesforce ロール名と自動配置テキスト				
フィールドのタイプ	**Signer 1**	**Signer 2**	**Signer 3**	**Signer 4**
署名	\s1\	\s2\	\s3\	\s4\

Salesforce ロール名と自動配置テキスト				
フィールドのタイプ	**Signer 1**	**Signer 2**	**Signer 3**	**Signer 4**
イニシャル	\i1\	\i2\	\i3\	\i4\
オプションのイニシャル	\oi1\	\oi2\	\oi3\	\oi4\
名前	\n1\	\n2\	\n3\	\n4\
会社名	\co1\	\co2\	\co3\	\co4\
役職	\t1\	\t2\	\t3\	\t4\
署名日	\d1\	\d2\	\d3\	\d4\

たとえば、以下のように使用します。

- Salesforce ロール「**Signer 2**」受信者の[署名]フィールドを自動配置するには、文書内に「**\s2**」と入力します。
- Salesforce ロール「**Signer 3**」受信者の[会社名]フィールドを自動配置するには、文書内に「**\co3**」と入力します。
- Salesforce ロール「**Signer 1**」受信者の[署名日]フィールドを自動配置するには、文書内に「**\d1**」と入力します。

関連情報

エンベロープテンプレートのオプション: [フィールドの配置]ステップ

eSignature for Salesforce エンベロープの文書に自動配置テキストを追加する

エンベロープテンプレートの文書に自動配置テキストを追加する方法について説明します。

エンベロープテンプレートの文書に自動配置テキストを追加して、文書上にフィールドを自動的に配置して特定の受信者に割り当てることができます。

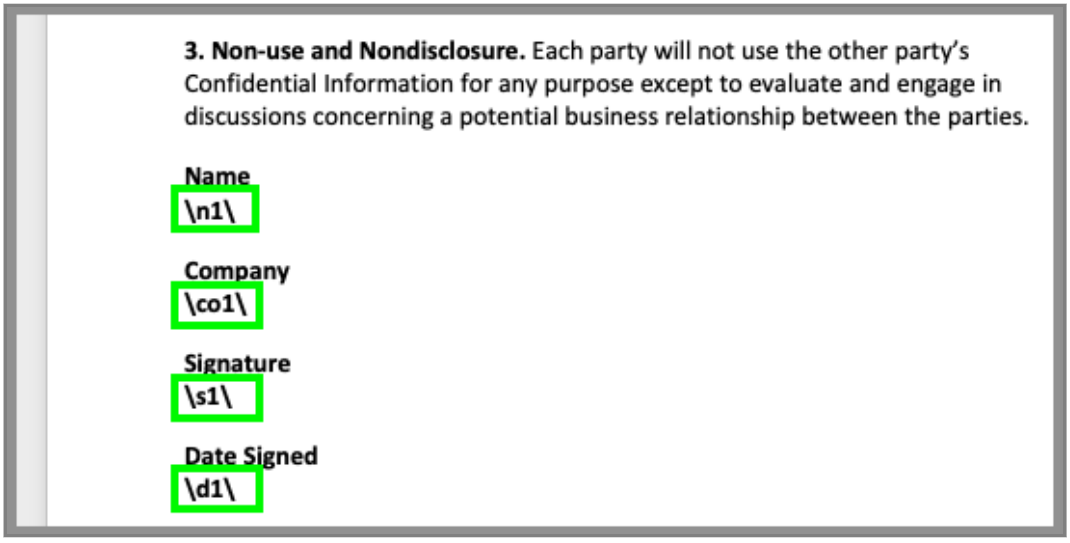
この機能では、DocuSign と Salesforce のフィールドをエンベロープの文書に自動的に配置できます。

エンベロープテンプレートの文書に自動配置テキストを追加するには、以下の手順に従います。

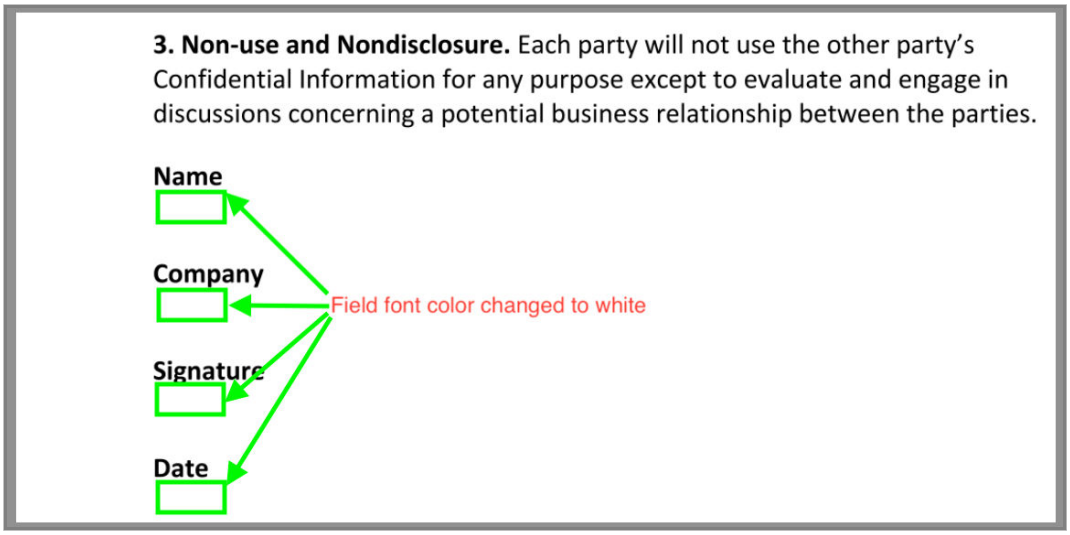
1. Salesforce 管理者として、エンベロープテンプレートの[文書]ページを開きます。
   a. Salesforce 画面の左上にある[アプリケーションランチャー]アイコン()をクリックします。
   b. ドロップダウンメニューから[すべて表示]リンクを選択します。
   c. [DocuSign アプリケーションランチャー]タイルを選択します。
   d. [DocuSign エンベロープテンプレート]タブを選択します。
   e. 編集するテンプレートの右端にある下向き矢印()を選択します。
   f. [編集]を選択します。エンベロープテンプレートの作成ページが開きます。
   g. [文書]の矢印を選択します。矢印を選択すると、テキストが表示されます。
2. 編集する文書の名前を選択します。
   文書のプレビューが開きます。
3. ページ右上の[ダウンロード]を選択します。

文書ファイルがダウンロードされます。

4. 以下の操作を行って、エンベロープテンプレートの文書に自動配置テキストを追加します。
   a. 文書を開き、自動配置テキストを配置する場所にカーソルを置きます。
   b. 自動配置テキスト(「Signer 1」受信者用の[署名]フィールドは「¥s1¥」、「Signer 1」受信者用の[名前]フィールドは「¥n1¥」など)を入力します。

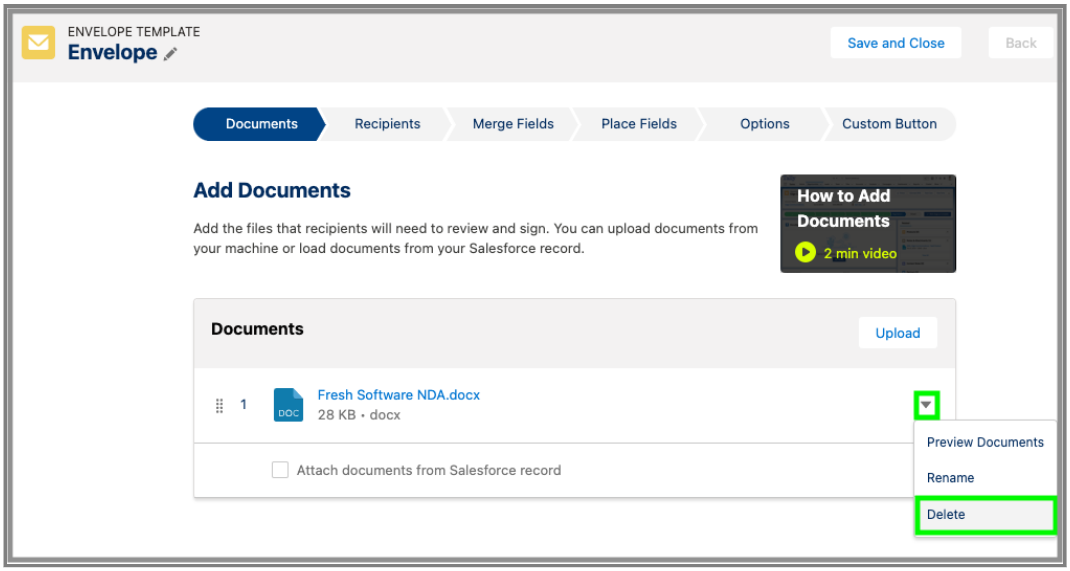


   c. 自動配置テキストの色を、文書の地の色に変更します。つまり、文書の地の色が白の場合は自動配置テキストの色を白に変更します。



> **注:** これにより、自動配置テキストが受信者に表示されなくなります。受信者には、実際のフィールド([署名]フィールドなど)が表示されます。

   d. 文書を保存します。
5. この文書で、テンプレートの既存の文書を置き換えます。
   a. エンベロープテンプレートの[文書]ページを開きます。
   b. 文書名の右端にある矢印ドロップダウンメニューを開きます。
   c. [削除]を選択します。文書が削除されます。



d. [アップロード]を選択します。
e. 自動配置テキストを追加した文書のファイルを選択します。
f. [開く]を選択します。アップロードするファイルを指定するダイアログボックスが開きます。
g. [完了]を選択します。

ダイアログボックスが閉じます。更新された文書の名前が表示されます。

6. ページ右上の[保存して閉じる]を選択します。
エンベロープテンプレートのページが開きます。

以上の手順により、エンベロープテンプレートの文書に自動配置テキストが追加されました。このテンプレートを使ってエンベロープを送信すると、自動配置テキストにより DocuSign フィールドまたは Salesforce フィールドが自動的に追加されます。受信者には自動配置テキストが表示されず、自分に割り当てられたフィールドのみが表示されます。

エンベロープテンプレートの[フィールドの配置]ステップにアクセスするには

既存のエンベロープテンプレートの[フィールドの配置]ステップにアクセスする手順について説明します。フィールドの配置アクション(コピー、貼り付け、元に戻す、やり直す、拡大)、eSignature フィールドオプションのカスタマイズ、新規カスタムフィールドの作成、[アクション]ボタンの使用、受信者プレビューアクションの使用などがあります。

[フィールドの配置]ステップでは、既存のエンベロープテンプレートを編集できます。フィールドの配置アクション(コピー、貼り付け、元に戻す、やり直す、拡大)、eSignature フィールドオプションのカスタマイズ、新規カスタムフィールドの作成などが可能です。
エンベロープテンプレートの[フィールドの配置]ステップにアクセスするには、以下の手順に従います。

Salesforce 管理者として、エンベロープテンプレートの[フィールドの配置]ページを開きます。

a. Salesforce 画面の左上にある[アプリケーションランチャー]アイコン( )をクリックします。
b. ドロップダウンメニューから[すべて表示]リンクを選択します。
c. [DocuSign アプリケーションランチャー]タイルを選択します。

d. [DocuSign エンベロープテンプレート]タブを選択します。
e. 編集するテンプレートの右端にある下向き矢印(▼)を選択します。
f. [編集]を選択します。エンベロープテンプレートの作成ページが開きます。
g. [フィールドの配置]の矢印を選択します。矢印を選択すると、テキストが表示されます。

以上の手順により、既存のエンベロープテンプレートの[フィールドの配置]ステップが表示されました。

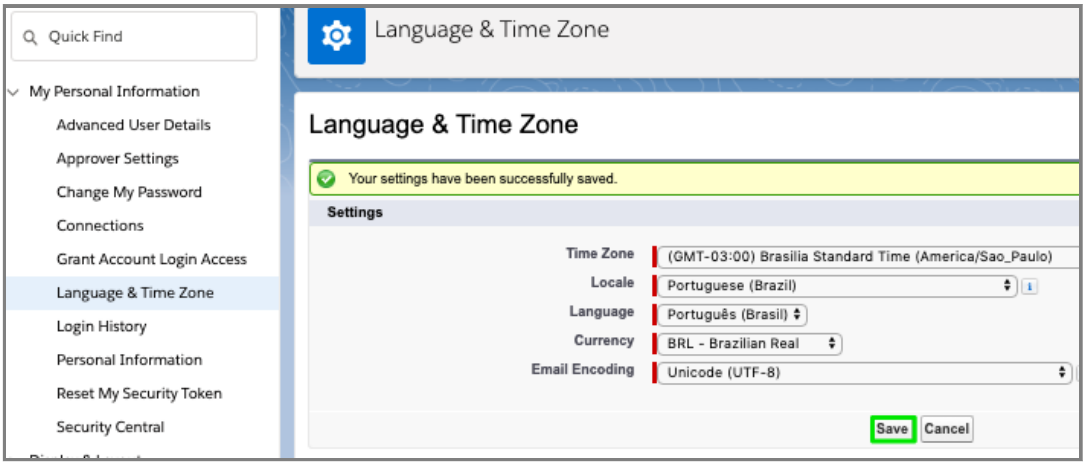
Salesforce ユーザーの翻訳の有効化

DocuSign アプリケーションランチャーの表示言語を変更するには、Salesforce の個人設定で言語設定を変更します。

DocuSign アプリケーションランチャーの表示言語を変更するには、Salesforce の個人設定で言語設定を変更します。

1. Salesforce ユーザーとして[言語とタイムゾーン]ページにアクセスします。
   a. ページ右上の Salesforce ユーザーボタン()を選択します。
   b. [設定]リンクを選択します。
   c. ページの左側で[言語とタイムゾーン]を選択します。
2. [言語]ドロップダウンメニューから、表示言語を選択します。
3. [保存]を選択します。

注: ページ上部に「設定が正常に保存されました」というメッセージが表示されます。



4. Web ブラウザーのキャッシュをクリアして、Web ブラウザーを再起動します。

以上の手順により、指定した言語で DocuSign アプリケーションランチャーの各アプリが表示されるようになりました。

eSignature for Salesforce トラブルシューティングガイド

ここでは、DocuSign Apps Launcher for Salesforce（DocuSign アプリケーションランチャー）パッケージでインストールされる DocuSign eSignature for Salesforce アプリで問題が発生した場合のトラブルシューティングについて説明します。

ここでは、DocuSign Apps Launcher for Salesforce（DocuSign アプリケーションランチャー）パッケージでインストールされる DocuSign eSignature for Salesforce アプリで問題が発生した場合のトラブルシューティングについて説明します。

以下の内容について説明します。

- エンベロープテンプレートに受信者の DocuSign 役割と eSignature フィールドがない
- エンベロープテンプレートのエラー:「このエンベロープにはアクセスできません」
- 文書プレビューエラー:「文書の生成時に問題が発生しました」
- PDF ファイルをエンベロープテンプレートにアップロードするとエラーメッセージ「PDF ファイルの検証が失敗しました」が表示される
- ユーザーの再認証が 1 時間ごとに要求される
- エンベロープと受信者のステータスが更新されない
- 文書と日付が Salesforce 側に書き戻されない
- DocuSign 接続アプリのログイン履歴に「制限された IP（Restricted IP）」エラーが記録される
- エンベロープテンプレートエラー:「ドロップダウンフィールドのいくつかにオプションがありません」
- Gen から CLM にアップグレードした後で CLM の権限が有効になるまで 1 時間ほどかかる
- DocuSign と Salesforce のリレーションにより、Gen for Billing 管理者が DocuSign アプリケーションランチャーをアンインストールできない
- Gen 文書を署名者に送信するときに Salesforce 文書が重複して表示される
- 差し込みフィールドの作成時にエンベロープテンプレートのエラー「Salesforce サービスへの接続に失敗しました」が発生する
- DocuSign と Salesforce の接続を解除して再接続した後もエンベロープテンプレートに差し込みフィールドを追加できない
- Gen テンプレートとエンベロープテンプレートのエラー:「ユーザーは、ロックの所有者ではありません」
- iOS 用の Safari や Salesforce モバイルアプリでエンベロープの送信や署名ができない
- Salesforce で DocuSign のボタンを選択したときにエラーメッセージ「Authorization flow, user receives "The link you followed wasn't valid for your session. Return to the Previous Page, Refresh It, and Try Again.」が表示される。
- Salesforce API の呼び出し時に「INVALID_SESSION_ID」というエラーメッセージが表示される
- Salesforce API の呼び出し時に「Object reference not set to an instance of an object」というエラーメッセージが表示される
- エンベロープテンプレートに PDF をアップロードするとエラー「このファイルのサイズが上限を超えています」が表示される

エンベロープテンプレートに受信者の DocuSign 役割と eSignature フィールドがない

DocuSign eSignature for Salesforce のエンベロープテンプレートに受信者を追加するときに、DocuSign と Salesforce で役割が競合していると問題が発生することがあります。

DocuSign eSignature for Salesforce のエンベロープテンプレートに受信者を追加するときに、DocuSign と Salesforce で役割が競合していると問題が発生することがあります。

エンベロープテンプレートに設定されている受信者が Salesforce と DocuSign の両方の役割（ロール）を持つ場合、以下の問題が発生することがあります。

- 受信者の DocuSign 役割が Salesforce 役割に置き換わる。
- これらの受信者の DocuSign フィールドがエンベロープテンプレートから削除される。

再現手順:

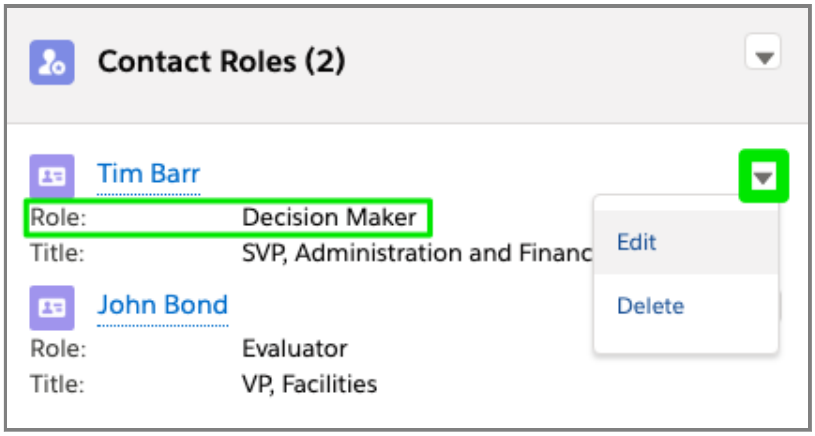
1. エンベロープテンプレートに DocuSign 受信者を追加します。
2. [関連リスト]から Salesforce の受信者（OpportunityContactRole など）を追加します。
3. エンベロープテンプレートを保存します。
4. eSignature for Salesforce でエンベロープの作成プロセスを開始します。
5. [受信者]ステップに進みます。受信者の DocuSign 役割が Salesforce 役割に置き換えられます。

   > 注: この問題は、Salesforce の役割（Decision Maker、Evaluator など）を持つ受信者でのみ発生します。

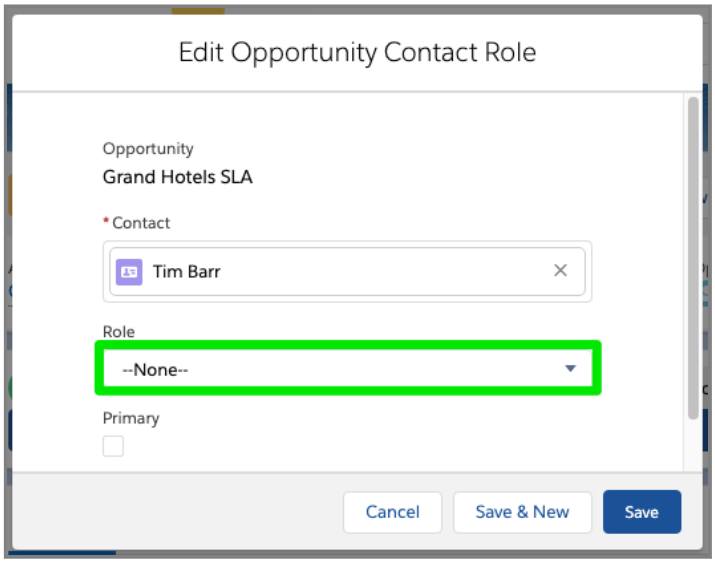
6. [準備と送信]ステップに進みます。DocuSign 受信者のフィールドが削除されます。
   結果: 受信者の DocuSign 役割と eSignature フィールドがテンプレートから削除されます。

解決策: Salesforce の取引先責任者から[ロール]フィールドを削除する

1. 取引先責任者の[ロール]フィールドを含んでいる Salesforce レコードページを開きます。
2. [取引先責任者の役割]セクションを見つけます。
3. 編集する取引先責任者の左にある下矢印（▼）を選択します。
4. [編集]を選択します。[取引先責任者の役割を編集]ダイアログボックスが開きます。



5. [ロール]ドロップダウンメニューを選択します。
6. [--なし--]を選択します。
7. [保存]を選択します。



[取引先責任者の役割]セクションに戻ると、[ロール]フィールドが空白になっています。
以上の手順により、受信者の Salesforce 役割の競合の問題が解決されます。エンベロープテンプレートを使って署名者に文書を送信するときに、DocuSign の役割とフィールドが正しく保持されます。

エンベロープテンプレートのエラー:「このエンベロープにはアクセスできません」

この問題を解決するには、アカウントのデフォルトを[アカウントのデフォルト設定を差出人が上書きすることを許可する]に設定します。これにより、エンベロープテンプレートを[文書]ページに保存して、後で編集できるようになります。

エンベロープテンプレートの作成時に[文書]ページの[保存して閉じる]ボタンを選択したときに、「このエンベロープにはアクセスできません」というエラーが発生することがあります。このエラーは、[文書]ページでのみ発生します。[受信者]、[フィールドの配置]、[オプション]、[カスタムボタン]のページで[保存して閉じる]を選択してもこのエラーは発生しません。

再現手順:

1. [DocuSign エンベロープテンプレート]タブを選択します。
2. ページ右上の[新規]をクリックします。
3. テンプレート名を入力して、標準オブジェクト([取引先]や[商談]など)を選択します。
4. すぐに[文書]ページの[保存して閉じる]をクリックします。
   結果: エラーメッセージ「このエンベロープにはアクセスできません」が表示されます。ユーザーはテンプレートの作成を続行できません。

解決策: 関連付けられている DocuSign アカウントの[アカウントのデフォルト設定を差出人が上書きすることを許可する]設定を有効にする

1. 管理者として、Salesforce 組織に接続済みの DocuSign アカウントにログインします。
2. [設定]タブを選択します。
3. 左側のナビゲーションペインの[リマインダーと有効期限]を選択します。
4. [アカウントのデフォルト設定を差出人が上書きすることを許可する]チェックボックスをオンにします。
5. [保存]をクリックします。
   以上の手順により、アカウントのデフォルトが、[アカウントのデフォルト設定を差出人が上書きすることを許可する]に設定されました。これにより、エンベロープテンプレートを[文書]ページに保存して、後で編集できるようになります。

文書プレビューエラー:「文書の生成時に問題が発生しました」

デモ環境の DocuSign アカウントの管理者資格情報を使用して DocuSign と Salesforce を接続した場合、Gen テンプレート作成プロセスの[文書のプレビュー]ステップで「文書の生成時に問題が発生しました」というエラーメッセージが表示されることがあります。

この問題は、デモ環境の DocuSign アカウントが Salesforce に接続されている場合に断続的に発生します。デモ環境の DocuSign アカウントの管理者資格情報を使用して DocuSign と Salesforce を接続した場合、Gen テンプレート作成プロセスの[文書のプレビュー]ステップで「文書の生成時に問題が発生しました」というエラーメッセージが表示されることがあります。この場合、以下のような問題が発生します。

- 受信者の DocuSign 役割が Salesforce 役割に置き換わる。
- これらの受信者の DocuSign フィールドがエンベロープテンプレートから削除される。

Salesforce ロールによりエンベロープテンプレートから **DocuSign** の役割とフィールドが削除される

再現手順:

1. エンベロープテンプレートに DocuSign 受信者を追加します。
2. [関連リスト]から Salesforce の受信者(OpportunityContactRole など)を追加します。
3. エンベロープテンプレートを保存します。
4. eSignature for Salesforce でエンベロープの作成プロセスを開始します。

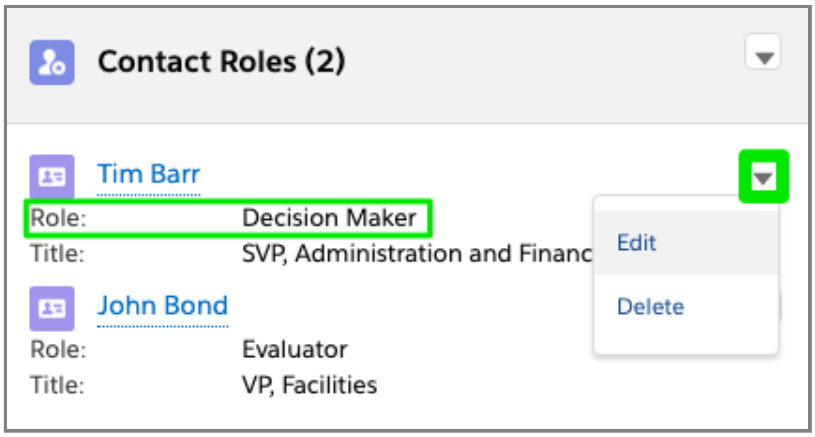
5. [受信者]ステップに進みます。受信者の DocuSign 役割が Salesforce 役割に置き換えられます。

> **注:** この問題は、Salesforce の役割（Decision Maker、Evaluator など）を持つ受信者でのみ発生します。

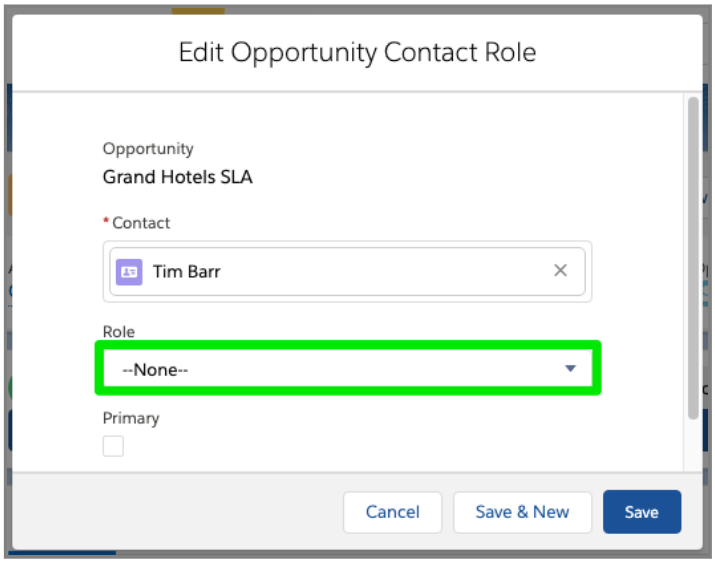
6. [準備と送信]ステップに進みます。DocuSign 受信者のフィールドが削除されます。
結果: 受信者の DocuSign 役割と eSignature フィールドがテンプレートから削除されます。

解決策 1: Salesforce の取引先責任者から[ロール]フィールドを削除する

1. 取引先責任者の[ロール]フィールドを含んでいる Salesforce レコードページを開きます。
2. [取引先責任者の役割]セクションを見つけます。
3. 編集する取引先責任者の左にある下矢印(▼)を選択します。
4. [編集]を選択します。[取引先責任者の役割を編集]ダイアログボックスが開きます。



5. [ロール]ドロップダウンメニューを選択します。
6. [--なし--]を選択します。
7. [保存]を選択します。



[取引先責任者の役割]セクションに戻ると、[ロール]フィールドが空白になっています。

解決策 2: Salesforce と DocuSign との接続を解除し、キャッシュをクリアしてから再接続する

1. [DocuSign セットアップ]タブを開きます。
2. ページ右上の[接続を解除]リンクを選択します。
3. Salesforce からログアウトします。
4. Web ブラウザーのキャッシュを消去します。
5. Salesforce にログインし直します。
6. 管理者として DocuSign アプリケーションランチャーを開きます。[Salesforce に DocuSign を接続]ページが開きます。
7. Salesforce に DocuSign を接続します。

> **注:** Salesforce と DocuSign を接続するときに、デモ環境の同じ DocuSign 管理者アカウントを使用してください。

以上の手順により、受信者の Salesforce 役割の競合の問題が解決されます。エンベロープテンプレートを使って署名者に文書を送信するときに、DocuSign の役割とフィールドが正しく保持されます。

PDF ファイルをエンベロープテンプレートにアップロードするとエラーメッセージ「PDF ファイルの検証が失敗しました」が表示される

エンベロープテンプレート作成プロセスの[文書]ステップで PDF ファイルをアップロードするときに、問題が発生する場合があります。この問題は、すべての PDF で発生するわけではありません。

PDF ファイルをエンベロープテンプレートにアップロードするときに、エラーメッセージ「PDF ファイルの検証が失敗しました(The Validation of the PDF File Failed)」が表示されることがあります。

この問題は、すべての PDF で発生するわけではありません。

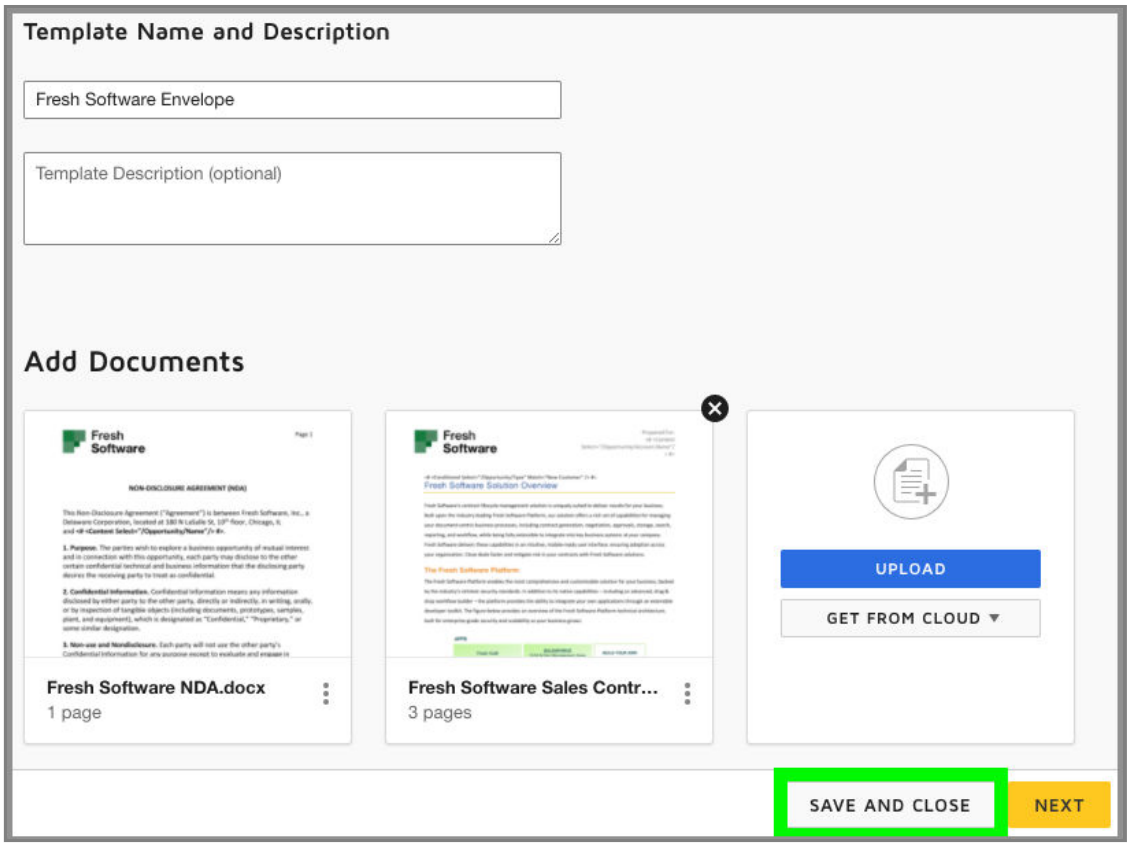
再現手順:

1. [文書]ステップで、PDF ファイルをエンベロープテンプレートにアップロードします。文書のロードに失敗します。
2. 「PDF ファイルの検証が失敗しました」という内容のエラーが表示されます。
   結果: PDF がエンベロープテンプレートに追加されません。

> **注:** エンベロープテンプレートでアップロードできる PDF ファイルのサイズは、3MB 以下である必要があります。この制限は、次回以降のリリースで緩和される予定です。

解決策 1: 関連付けられている **DocuSign eSignature** アカウントに直接ログインしてそのエンベロープテンプレートに **PDF** をアップロードします。

1. Salesforce 組織アカウントで、エンベロープテンプレートの[保存して閉じる]を選択します。
2. Web ブラウザーで新しいタブを開き、DocuSign アカウントにログインします。
3. [テンプレート]タブを選択します。
   [マイテンプレート]ページが開きます。
4. 作成しているエンベロープテンプレートを選択します。
   そのテンプレートのページが開きます。
5. [編集]を選択します。
   テンプレートの編集ページが開きます。
6. [アップロード]を選択します。
7. 目的の PDF ファイルをアップロードします。
8. [保存して閉じる]を選択します。



以上の手順により、Salesforce 内ではサイズ制限のためアップロードできない PDF ファイルが正しくテンプレートに追加されました。Salesforce レコードからこのテンプレートを使って送信するエンベロープには、アップロードした PDF が同封されます。

重要: Salesforce 内でこのテンプレートを編集するとエラーが発生し、変更ができなくなることに注意してください。

解決策: PDF ファイルを Salesforce にアップロードしておき、エンベロープ作成時にそれを添付する

1. Salesforce レコードの[メモ＆添付ファイル]に PDF ファイルをアップロードします。
2. エンベロープテンプレートの作成プロセスを完了します。
3. Salesforce のレコードからエンベロープテンプレートのカスタムボタンを選択します。
4. [Salesforce から追加]を選択します。[Salesforce から追加]ダイアログボックスが開きます。
5. [メモ＆添付ファイル]にアップロードした PDF のチェックボックスをオンにします。
6. [追加]を選択します。
7. エンベロープの送信プロセスを完了します。
   以上の手順により、エンベロープテンプレートに追加できなかった PDF ファイルが、送信時に[メモ＆添付ファイル]から追加されました。

ユーザーの再認証が 1 時間ごとに要求される

[API ログインの多要素認証]設定または[ログイン IP アドレスの制限]を変更して、ユーザーが 1 時間ごとに資格情報の再入力を求められる問題を解決します。

一部のユーザーで、1 時間ごとに資格情報の入力を求められます。この問題の原因には、以下の 2 つがあります。

- Salesforce 組織で、ユーザーのプロファイルの[API ログインの多要素認証]が有効になっている。この場合、DocuSign のサーバー間 API 更新が正しく機能しません。
- ユーザーのプロファイルで[ログイン IP アドレスの制限]が指定されている。この場合、DocuSign サーバーからのユーザーの API ログインが不可能になります。

解決策 1: ユーザーのプロファイルで[API ログインの多要素認証]を無効にする

1. Salesforce の[ユーザプロファイル]ページを開きます。
   a. ページ右上の歯車アイコン( )を選択します。
   b. [設定]を選択します。
   c. [クイック検索]ボックスに「プロファイル」と入力します。
   d. 左側のナビゲーションバーで[プロファイル]を選択します。
2. 編集するプロファイルの名前を選択します([標準ユーザ]など)。そのプロファイルのページが開きます。
3. [編集]を選択します。
4. [API ログインの多要素認証]チェックボックスをオフにします。
5. [保存]を選択します。
   以上の手順により、1 時間ごとの資格情報の入力が不要になります。

解決策 2: ユーザーのプロファイルで[ログイン IP アドレスの制限]を無効にする

1. Salesforce の[ユーザプロファイル]ページを開きます。

a. ページ右上の歯車アイコン()を選択します。
b. [設定]を選択します。
c. [クイック検索]ボックスに「プロファイル」と入力します。
d. 左側のナビゲーションバーで[プロファイル]を選択します。

2. 編集するプロファイルの名前を選択します([標準ユーザ]など)。そのプロファイルのページが開きます。
3. [ログイン IP アドレスの制限]を選択します。
4. IP アドレス範囲の左にある[削除]を選択します。
5. 「ログイン IP アドレスの制限を削除しますか?」というメッセージが表示されたら、上部のリンクの[OK]を選択します。
6. 必要に応じて[削除]アクションを繰り返して、残りのアドレス範囲を削除します。
以上の手順により、1 時間ごとの資格情報の入力が不要になります。

解決策 3: DocuSign エンドポイントの IP アドレスを許可リストに追加する

1. DocuSign の信頼済み IP アドレス範囲を追加します。
2. 必要に応じて、Salesforce のログイン履歴のログから、制限された IP アドレス(**Salesforce の IP アドレス**など)を追加します。
以上の手順により、1 時間ごとの資格情報の入力が不要になります。

エンベロープと受信者のステータスが更新されない

[API ログインの多要素認証]設定または[ログイン IP の範囲]を変更して、エンベロープや受信者のステータスが更新されない問題を解決します。

[DocuSign エンベロープのステータス]と[DocuSign 受信者のステータス]が更新されない場合、以下の 2 つの原因が考えられます。

- Salesforce 組織で、ユーザーのプロファイルの[API ログインの多要素認証]が有効になっている。この場合、DocuSign のサーバー間 API 更新が正しく機能しません。
- ユーザーのプロファイルで[ログイン IP アドレスの制限]が指定されている。この場合、DocuSign サーバーからのユーザーの API ログインが不可能になります。

解決策 1: ユーザーのプロファイルで[API ログインの多要素認証]を無効にする

1. Salesforce の[ユーザプロファイル]ページを開きます。
a. ページ右上の歯車アイコン()を選択します。
b. [設定]を選択します。
c. [クイック検索]ボックスに「プロファイル」と入力します。
d. 左側のナビゲーションバーで[プロファイル]を選択します。
2. 編集するプロファイルの名前を選択します([標準ユーザ]など)。そのプロファイルのページが開きます。
3. [編集]を選択します。

4. [API ログインの多要素認証]チェックボックスをオフにします。
5. [保存]を選択します。
以上の手順により、[DocuSign エンベロープのステータス]と[DocuSign 受信者のステータス]が更新されるようになりました。

解決策 2: ユーザーのプロファイルで[ログイン IP アドレスの制限]を無効にする

1. Salesforce の[ユーザプロファイル]ページを開きます。
   a. ページ右上の歯車アイコン( )を選択します。
   b. [設定]を選択します。
   c. [クイック検索]ボックスに「プロファイル」と入力します。
   d. 左側のナビゲーションバーで[プロファイル]を選択します。
2. 編集するプロファイルの名前を選択します([標準ユーザ]など)。そのプロファイルのページが開きます。
3. [プロファイル]ページの上部にある[ログイン IP アドレスの制限]を選択します。
4. IP アドレス範囲の左にある[削除]を選択します。
5. 「ログイン IP アドレスの制限を削除しますか?」というメッセージが表示されたら、[OK]を選択します。
6. 必要に応じて[削除]アクションを繰り返して、残りのアドレス範囲を削除します。
以上の手順により、[DocuSign エンベロープのステータス]と[DocuSign 受信者のステータス]が更新されるようになりました。

解決策 3: DocuSign エンドポイントの IP アドレスを許可リストに追加する

1. DocuSign Gen for Salesforce の信頼できる IP アドレス範囲を追加します。
2. ユーザーのログイン履歴に記録されている、制限された IP アドレスをすべて追加します。
以上の手順により、[DocuSign エンベロープのステータス]と[DocuSign 受信者のステータス]が更新されるようになりました。

文書と日付が Salesforce 側に書き戻されない

[API ログインの多要素認証]設定または[ログイン IP の範囲]を変更して、文書と日付が Salesforce 側に書き戻されない問題を解決します。

DocuSign テンプレートで有効にした書き戻しが正しく機能しない場合は、以下の 2 つの原因が考えられます。

- Salesforce 組織で、ユーザーのプロファイルの[API ログインの多要素認証]が有効になっている。この場合、DocuSign のサーバー間 API 更新が正しく機能しません。
- ユーザーのプロファイルで[ログイン IP アドレスの制限]が指定されている。この場合、DocuSign サーバーからのユーザーの API ログインが不可能になります。

解決策 1: ユーザーのプロファイルで[API ログインの多要素認証]を無効にする

1. Salesforce の[ユーザプロファイル]ページを開きます。
   a. ページ右上の歯車アイコン( )を選択します。
   b. [設定]を選択します。
   c. [クイック検索]ボックスに「プロファイル」と入力します。
   d. 左側のナビゲーションバーで[プロファイル]を選択します。
2. 編集するプロファイルの名前を選択します([標準ユーザ]など)。そのプロファイルのページが開きます。
3. [編集]を選択します。
4. [API ログインの多要素認証]チェックボックスをオフにします。
5. [保存]を選択します。
   以上の手順により、エンベロープの Salesforce 差し込みフィールドに変更が加えられると、Salesforce のレコードが更新されるようになりました。

解決策 2: ユーザーのプロファイルで[ログイン IP アドレスの制限]を無効にする

1. Salesforce の[ユーザプロファイル]ページを開きます。
   a. ページ右上の歯車アイコン( )を選択します。
   b. [設定]を選択します。
   c. [クイック検索]ボックスに「プロファイル」と入力します。
   d. 左側のナビゲーションバーで[プロファイル]を選択します。
2. 編集するプロファイルの名前を選択します([標準ユーザ]など)。そのプロファイルのページが開きます。
3. [プロファイル]ページの上部にある[ログイン IP アドレスの制限]を選択します。
4. IP アドレス範囲の左にある[削除]を選択します。
5. 「ログイン IP アドレスの制限を削除しますか?」というメッセージが表示されたら、[OK]を選択します。
6. 必要に応じて[削除]アクションを繰り返して、残りのアドレス範囲を削除します。
   以上の手順により、エンベロープの Salesforce 差し込みフィールドに変更が加えられると、Salesforce のレコードが更新されるようになりました。

解決策 3: DocuSign エンドポイントの IP アドレスを許可リストに追加する

1. DocuSign Gen for Salesforce の信頼できる IP の範囲を追加します。
2. ユーザーのログイン履歴に記録されている、制限された IP アドレスをすべて追加します。
   以上の手順により、テンプレートへの文書の書き戻し機能が正しく動作するようになります。

DocuSign 接続アプリのログイン履歴に「制限された IP（Restricted IP）」エラーが記録される

[API ログインの多要素認証]設定または[ログイン IP の範囲]を変更すると、DocuSign 接続アプリのログイン履歴で発生する「制限された IP」エラーの問題を修正できます。

DocuSign 接続アプリのログイン履歴に「制限された IP（Restricted IP）」のエラーが記録される場合、2 つの原因が考えられます。

- Salesforce 組織で、ユーザーのプロファイルの[API ログインの多要素認証]が有効になっている。この場合、DocuSign のサーバー間 API 更新が正しく機能しません。
- ユーザーのプロファイルで[ログイン IP アドレスの制限]が指定されている。この場合、DocuSign サーバーからのユーザーの API ログインが不可能になります。

解決策 1: ユーザーのプロファイルで[API ログインの多要素認証]を無効にする

1. Salesforce の[ユーザプロファイル]ページを開きます。
   a. ページ右上の歯車アイコン( )を選択します。
   b. [設定]を選択します。
   c. [クイック検索]ボックスに「プロファイル」と入力します。
   d. 左側のナビゲーションバーで[プロファイル]を選択します。
2. 編集するプロファイルの名前を選択します（[標準ユーザ]など）。そのプロファイルのページが開きます。
3. [編集]を選択します。
4. [API ログインの多要素認証]チェックボックスをオフにします。
5. [保存]を選択します。
   以上の手順により、DocuSign 接続アプリのログイン履歴に「制限された IP」エラーが記録されなくなります。

解決策 2: ユーザーのプロファイルで[ログイン IP アドレスの制限]を無効にする

1. Salesforce の[ユーザプロファイル]ページを開きます。
   a. ページ右上の歯車アイコン( )を選択します。
   b. [設定]を選択します。
   c. [クイック検索]ボックスに「プロファイル」と入力します。
   d. 左側のナビゲーションバーで[プロファイル]を選択します。
2. 編集するプロファイルの名前を選択します（[標準ユーザ]など）。そのプロファイルのページが開きます。
3. [プロファイル]ページの上部にある[ログイン IP アドレスの制限]を選択します。
4. IP アドレス範囲の左にある[削除]を選択します。
5. 「ログイン IP アドレスの制限を削除しますか?」というメッセージが表示されたら、[OK]を選択します。
6. 必要に応じて[削除]アクションを繰り返して、残りのアドレス範囲を削除します。
   以上の手順により、DocuSign 接続アプリのログイン履歴に「制限された IP」エラーが記録されなくなります。

解決策 3: DocuSign エンドポイントの IP アドレスを許可リストに追加する

1. DocuSign Gen for Salesforce を信頼できる IP アドレス範囲に追加します。
2. ユーザーのログイン履歴に記録されている、制限された IP アドレスをすべて追加します。
   以上の手順により、DocuSign 接続アプリのログイン履歴に「制限された IP」エラーが記録されなくなります。

エンベロープテンプレートエラー:「ドロップダウンフィールドのいくつかにオプションがありません」

エンベロープテンプレートに Salesforce の選択リストの差し込みフィールドを追加する場合、特定の手順に従う必要があります。

エンベロープテンプレートに Salesforce の選択リストの差し込みフィールドを追加する場合、特定の手順に従う必要があります。

[フィールドの配置]ページでフィールドを文書に追加するときに、「ドロップダウンフィールドのいくつかにオプションがありません」というエラーメッセージが表示されます。

[フィールドの配置]ページは DocuSign アカウントのページであり、Salesforce 組織からフィールドにアクセスできないとこの問題が発生します。

再現手順:

1. Salesforce 管理者として、DocuSign エンベロープテンプレートを開きます。
2. [フィールドの配置]の矢印を選択します。[フィールドの配置]ページが開きます。
3. ページ左側で[差し込みフィールド]タブを選択します。
4. Salesforce の選択リストフィールドを文書にドラッグします。

結果:「ドロップダウンフィールドのいくつかにオプションがありません」というエラーメッセージが表示されます。

解決策: [戻る]を選択してから[保存して閉じる]ボタンを選択する

1. ページ右下にある[戻る]を選択します。[テンプレートの名前と説明]ページが開きます。
2. ページ右下にある[保存して閉じる]を選択します。
   エンベロープテンプレートに選択リストフィールドが正しく追加されました。この問題は、次回以降のリリースで解決される予定です。

Gen から CLM にアップグレードした後で CLM の権限が有効になるまで 1 時間ほどかかる

DocuSign Gen を DocuSign CLM にアップグレードした場合、新しい CLM の権限が有効になるまで 1 時間程度かかります。1 時間経過後に[DocuSign セットアップ]タブの表示を更新すると、CLM の管理者ページが表示されます。

DocuSign Gen アカウントを DocuSign CLM にアップグレードした場合、新しい CLM の権限が有効になるまで 1 時間程度かかります。1 時間経過後に[DocuSign セットアップ]タブの表示を更新すると、CLM の管理者ページが表示されます。

再現手順:

1. DocuSign Gen アカウントを DocuSign CLM にアップグレードします。
2. 1 時間経過する前に、新しい CLM 管理者として Salesforce にログインします。
3. [DocuSign セットアップ]タブを選択します。

結果: DocuSign アプリケーションランチャーのホーム画面には、CLM の管理者画面ではなく、Gen-Negotiate の管理者画面が表示されます。

解決策: 1 時間経過したら、[DocuSign セットアップ]タブの表示を 2 回更新する

1. DocuSign Gen アカウントを DocuSign CLM にアップグレードしたら、1 時間待ちます。
2. Salesforce 組織にログインします。
3. [DocuSign セットアップ]タブを開きます。Gen-Negotiate の管理者画面が表示されます。
4. ページの表示を 1 回更新します。Gen-Negotiate の管理者画面が再度表示されます。
5. ページの表示をもう 1 回更新します。CLM の管理者画面が表示されます。
   これにより、CLM 管理者が[DocuSign セットアップ]タブの CLM 管理者ページにアクセスできるようになりました。
   上記手順を繰り返す必要はありません。この問題は、次回以降のリリースで解決される予定です。

DocuSign と Salesforce のリレーションにより、Gen for Billing 管理者が DocuSign アプリケーションランチャーをアンインストールできない

Gen for Billing 管理者が DocuSign アプリケーションランチャーをアンインストールしようとすると、「パッケージをアンインストールできません」という内容のエラーが表示される場合があります。この場合、まず余分なリレーションシップ、権限セット、および Apex クラスコンポーネントを組織から削除する必要があります。

Gen for Billing 管理者が DocuSign アプリケーションランチャーをアンインストールしようとすると、「パッケージをアンインストールできません」という内容のエラーが表示される場合があります。この場合、まず余分なリレーションシップ、権限セット、および Apex クラスコンポーネントを組織から削除する必要があります。

再現手順:

1. 標準的な DocuSign と Salesforce の依存関係（DocuSign コンポーネント、権限セットの割り当てなど）を削除します。
2. Salesforce 組織で[設定]>[インストール済みパッケージ]に移動します。
3. [DocuSign Apps Launcher]パッケージの[アンインストール]を選択します。
4. Salesforce に表示される指示に従って、パッケージをアンインストールします。

結果:「パッケージをアンインストールできません」という内容のエラーメッセージが表示され、削除が必要な Gen for Billing の依存関係リストが表示されます。

解決策**: Gen for Billing** のすべての依存関係を削除してからパッケージをアンインストールします。

1. Salesforce 管理者として、[インストール済みパッケージ]ページを開きます。
   a. ページ右上の歯車アイコン()をクリックします。
   b. [設定]を選択します。
   c. [クイック検索]ボックスに「インストール済みパッケージ」と入力します。
   d. ページ左側で[インストール済みパッケージ]を選択します。
2. [DocuSign Apps Launcher]パッケージの[アンインストール]を選択します。
3. Salesforce に表示される指示に従って、パッケージをアンインストールします。「パッケージをアンインストールできません」という内容のエラーメッセージが表示され、削除が必要な Gen for Billing の依存関係リストが表示されます。
4. 標準的な DocuSign と Salesforce の依存関係(DocuSign コンポーネント、権限セットの割り当てなど)を削除します。
5. 以下の Gen for Billing 依存関係を削除します。
   - InvoiceTriggerGenBilling: Apex トリガ詳細ページでこのトリガーを削除します。
   - DocuSign ログ: [項目とリレーション]ページでこのカスタムオブジェクトを削除します。
   - DocuSign Billing Admin: この権限セットからすべてのユーザーを削除します。
6. Salesforce に表示される指示に従って、DocuSign アプリケーションランチャーパッケージをアンインストールします。
   以上の手順により、DocuSign と Salesforce の依存関係をすべて削除し、DocuSign アプリケーションランチャーパッケージをアンインストールできました。

Gen 文書を署名者に送信するときに Salesforce 文書が重複して表示される

Gen 文書を署名者に送信するときにファイルが重複する問題を解決します。

エンベロープ作成プロセスの[文書]ステップで、文書が重複して表示されることがあります。

再現手順:

1. DocuSign エンベロープテンプレートを作成します。
2. エンベロープテンプレートの[文書]ページで[Salesforce レコードの文書を添付する]チェックボックスをオンにします。
3. ドロップダウンメニューからオプションを選択します。
4. Gen テンプレートを作成します。
5. Gen テンプレートの[ボタンの作成]のページで、エンベロープテンプレートへのリンクを追加します。
6. レコードの Gen カスタムボタンを選択して、文書を生成します。
7. 表示されるページで[DocuSign で送信]を選択します。

結果: [文書]ページに Salesforce の添付ファイルが重複して表示されます。

解決策: 重複する Salesforce ファイルのチェックボックスをオフにしてから送信する

1. Salesforce レコードの Gen ボタンを選択します。
   Gen によって新しい文書が作成され、プレビューページが開きます。
2. [署名者への送信]を選択します。
   エンベロープの作成プロセスの[文書]ページが開きます。
3. 重複して表示されている Salesforce 文書のいずれかのチェックボックスをオフにします。
4. 残りのエンベロープの作成プロセスを実行します。
   以上の手順により、重複する Salesforce 文書の問題が解決され、エンベロープが送信されます。

関連情報

DocuSign eSignature for Salesforce でエンベロープテンプレートを作成して電子署名プロセスを自動化する
Microsoft Word を使用して Gen テンプレートを作成する

差し込みフィールドの作成時にエンベロープテンプレートのエラー「Salesforce サービスへの接続に失敗しました」が発生する

DocuSign アカウントと Salesforce 組織の接続を解除して再接続します。これにより接続がリセットされ、問題が解決されます。

DocuSign エンベロープテンプレートに差し込みフィールドを追加するときに、以下のようなエラーメッセージが表示されます。

- 保存エラー: 一部のフィールドが同期されていない可能性があります。
- サービスに接続できません。
- Salesforce サービスへの接続に失敗しました。

再現手順:

1. [DocuSign エンベロープテンプレート]タブを選択します。
2. ページ右上の[編集]をクリックします。
3. [差し込みフィールド]タブを選択します。
4. [フィールドの追加]を選択します。
5. すぐに[文書]ページの[保存して閉じる]をクリックします。
   結果: エラーメッセージ「保存エラー: 一部のフィールドが同期されていない可能性があります。サービスに接続できません。Salesforce サービスへの接続に失敗しました」が表示され、新しい差し込みフィールドを追加できません。

解決策: DocuSign アカウントと Salesforce 組織の接続を解除して再接続する

1. Salesforce の[DocuSign セットアップ]タブで[接続の解除]リンクを選択します。
2. [DocuSign にログイン]を選択します。
   以上の手順により、DocuSign アカウントと Salesforce 組織の接続がリセットされ、DocuSign エンベロープテンプレートに差し込みフィールドを追加できるようになります。

関連情報

DocuSign と Salesforce の接続を解除して再接続した後もエンベロープテンプレートに差し込みフィールドを追加できない

DocuSign と Salesforce の接続を解除して再接続した後もエンベロープテンプレートに差し込みフィールドを追加できない

この問題を解決するには、最初に[DocuSign セットアップ]タブの[接続の解除]を選択します。その後で、DocuSign eSignature アカウントにアクセスして、DocuSign Connect 設定の Salesforce リンクを削除します。

DocuSign エンベロープテンプレートに差し込みフィールドを追加するときに、以下のようなエラーメッセージが表示されます。

- 保存エラー: 一部のフィールドが同期されていない可能性があります。
- サービスに接続できません。
- Salesforce サービスへの接続に失敗しました。

この場合、Salesforce の DocuSign アカウントの接続を解除して再接続しても、DocuSign エンベロープテンプレートへの差し込みフィールドの追加など、一部の機能で問題が発生します。さらに、DocuSign のトラブルシューティングページに従って接続を解除して再接続しても、問題が解決されません。

> 注: この問題は、一般的なシナリオでは発生しません。通常、管理者が[DocuSign セットアップ]タブの[接続の解除]リンクを使用するだけで、Salesforce と DocuSign 間の接続をリセットできます。

再現手順:

1. [DocuSign セットアップ]タブで[接続の解除]リンクを選択します。
2. [DocuSign にログイン]を選択します。
3. Salesforce と DocuSign を再接続します。
4. DocuSign エンベロープテンプレートを開きます。
5. 新しい差し込みフィールドを追加します。
   結果:「保存エラー: 一部のフィールドが同期されていない可能性があります」というエラーメッセージが表示されます。このため、差し込みフィールドを追加できません。

解決策: DocuSign の接続を解除してから DocuSign eSignature アカウント内で DocuSign Connect 設定の Salesforce リンクを削除する

1. Salesforce の[DocuSign セットアップ]タブで[接続の解除]リンクを選択します。
2. 管理者として、Salesforce 組織に接続済みの DocuSign アカウントにログインします。
3. [設定]タブを選択します。
4. ページの左側で[DocuSign Connect]を選択します。
5. [DocuSign Apps Launcher]の横にある[アクション]ドロップダウンメニューを選択します。
6. リストから[削除]を選択します。
7. [Connect 設定の削除]ダイアログボックスの[削除]を選択します。
8. Salesforce に戻り、[DocuSign にログイン]を選択します。
   以上の手順により、DocuSign アカウントと Salesforce 組織の両方でアカウントのリンクが切断され、Salesforce 内でアカウントが再接続されました。これで、エンベロープテンプレートに差し込みフィールドを追加できるようになります。

Gen テンプレートとエンベロープテンプレートのエラー:「ユーザーは、ロックの所有者ではありません」

Gen テンプレートまたはエンベロープテンプレートを編集するときに発生する「ユーザーは、ロックの所有者ではありません」エラーの解決方法について説明します。

DocuSign エンベロープテンプレートや DocuSign Gen テンプレートを編集しようとすると、

「ユーザーは、ロックの所有者ではありません。このテンプレートは、他のユーザーまたはアプリケーションによってロックされています」という内容のエラーメッセージが表示されます。

この問題が発生すると、テンプレートを編集したり変更内容を保存したりできなくなります。

再現手順:

1. Gen テンプレートまたはエンベロープテンプレートを開くか、作成します。
2. 通常のテンプレート作成手順に従って情報を追加または編集します(フィールドの追加、ボタンの作成など)。
3. [保存して閉じる]を選択せずに Web ブラウザーのタブを閉じます。
4. 同じテンプレートを開きます。
5. テンプレートの編集を試みます。
   結果:「ユーザーは、ロックの所有者ではありません。このテンプレートは、他のユーザーまたはアプリケーションによってロックされています」という内容のエラーメッセージが表示されます。このエラーが表示されると、編集も[保存して閉じる]の選択も実行できなくなります。

解決策: Salesforce にログインし直すか、Web ブラウザーのキャッシュを削除します。

1. ページ右上の Salesforce ユーザーアイコンを選択します。
2. ドロップダウンメニューから[ログアウト]を選択します。

3. Salesforce 組織にログインし直します。
4. Gen テンプレートの編集を再び試みます。
5. エラーメッセージが引き続き表示される場合は、Web ブラウザーのキャッシュを削除します。
6. Salesforce 組織にログインし直します。
7. Gen テンプレートの編集を再び試みます。
   以上の手順により、テンプレートのロックが解除されます。Gen テンプレートやエンベロープテンプレートを編集したり、変更内容を保存したりできるようになりました。

iOS 用の Safari や Salesforce モバイルアプリでエンベロープの送信や署名ができない

問題の解決方法

iOS 用の Safari を使って DocuSign エンベロープを送信または署名しようとすると、以下のような問題が発生します。

- エンベロープに DocuSign フィールドを追加する画面が空白で表示される。
- エンベロープに署名する画面が空白で表示される。
- 「URL が移動しました」という内容ののエラーページが表示される。

この問題は、Safari モバイルブラウザーまたは Salesforce モバイルアプリを使用しているときに発生します。

これらのエラーが発生すると、エンベロープを送信したり、署名したりできません。

重要: DocuSign も Salesforce も、Safari モバイルブラウザーの使用をサポートしていません。Apple iOS デバイスで送信または署名する場合は、Google Chrome、Mozilla Firefox、または Salesforce モバイルアプリを使用してください。

Safari モバイルブラウザーを使ってエンベロープを送信したり文書に署名したりしないでください。Google Chrome、Mozilla Firefox、または Salesforce モバイルアプリを使用してください。

Salesforce で DocuSign のボタンを選択したときにエラーメッセージ「The link you followed wasn’t valid for your session. Return to the Previous Page, Refresh It, and Try Again.」が表示される。

新規 DocuSign ユーザーが Salesforce で DocuSign オブジェクトを選択したときに表示されるエラーメッセージとその解決策について説明します。

Salesforce ユーザーに DocuSign ユーザーアカウントを割り当てた後で、「リンクが無効である」という内容のエラーメッセージが表示されることがあります。

この場合、Salesforce で DocuSign のボタンやコンポーネントを選択したときに、認証が求められます。

ユーザーが DocuSign と Salesforce の資格情報を入力しても、エラーメッセージが表示されます。

エラーメッセージには、「The link you followed wasn't valid for your session. Return to the Previous Page, Refresh It, and Try Again.」と表示されます。

この問題が発生すると、Salesforce で DocuSign のアプリや機能にアクセスできなくなります。

再現手順:

1. ユーザーが、DocuSign ユーザーのアクティブ化メールを受け取ります。
2. DocuSign のパスワードを作成し、自分のアカウントをアクティブ化します。
3. Salesforce で DocuSign のボタンやコンポーネントを選択します。
4. 認証画面が開いたら、DocuSign と Salesforce の資格情報を入力します。
   結果: エラーメッセージ「The link you followed wasn't valid for your session. Return to the Previous Page, Refresh It, and Try Again.」が表示されます。この問題が発生すると、Salesforce で DocuSign のアプリや機能にアクセスできなくなります。

解決策: Web ブラウザーの[戻る]を選択してから、ページの表示を更新します。

1. Web ブラウザーの[戻る]を選択します。
2. Web ブラウザーの更新ボタンを選択します。
3. DocuSign オブジェクトを再度選択します。
   以上の手順により、Salesforce での DocuSign オブジェクトの認証プロセスが完了し、管理者がアクセスを許可したすべての DocuSign アプリとサービスが利用可能になります。

Salesforce API の呼び出し時に「INVALID_SESSION_ID」というエラーメッセージが表示される

レイアウトリストの表示、ボタンの発行、Salesforce からの文書の取得を行うときに、「INVALID_SESSION_ID」という Web サービスエラーが表示されることがあります。

Salesforce API の呼び出し時に「INVALID_SESSION_ID」というエラーメッセージが表示されることがあります。

再現手順:

1. 以下のいずれかの Salesforce API コマンドを呼び出します。
   - レイアウトリストの表示
   - ボタンの発行
   - 署名者に送信する文書の Salesforce からの取得

   結果: エラーメッセージ「INVALID_SESSION_ID」が表示され、API コマンドを実行できません。

解決策: Salesforce で[ログイン時の IP アドレスとセッションをロックする]オプションを無効にします。

1. Salesforce 管理者として、[セッションの設定]ページを開きます。

a. ページ右上の歯車アイコン()を選択します。
b. [設定]を選択します。
c. [クイック検索]ボックスに「セッションの設定」と入力します。
d. 左側のナビゲーションバーで[セッションの設定]を選択します。

2. [セッションの設定]セクションの[ログイン時の IP アドレスとセッションをロックする]チェックボックスをオフにします。
3. [保存]を選択します。
4. いったん Salesforce からログアウトしてログインし直します。
5. API トランザクションを再実行します。
以上の手順により、[ログイン時の IP アドレスとセッションをロックする]オプションが無効になりました。

Salesforce API の呼び出し時に「Object reference not set to an instance of an object」というエラーメッセージが表示される

レイアウトリストの表示、ボタンの発行、Salesforce からの文書の取得を行うときに、「Object reference not set to an instance of an object」という Web サービスエラーが表示されることがあります。

Salesforce API の呼び出し時に「Object reference not set to an instance of an object」というエラーメッセージが表示されることがあります。

再現手順:

1. 以下のいずれかの Salesforce API コマンドを呼び出します。
   - レイアウトリストの表示
   - ボタンの発行
   - 署名者に送信する文書の Salesforce からの取得

   結果: エラーメッセージ「Object Reference is not set to an instance of an object」が表示され、API コマンドを実行できません。

解決策: **Salesforce** で[ログイン時の **IP** アドレスとセッションをロックする]オプションを無効にします。

1. Salesforce 管理者として、[セッションの設定]ページを開きます。
   a. ページ右上の歯車アイコン()を選択します。
   b. [設定]を選択します。
   c. [クイック検索]ボックスに「セッションの設定」と入力します。
   d. 左側のナビゲーションバーで[セッションの設定]を選択します。
2. [セッションの設定]セクションの[ログイン時の IP アドレスとセッションをロックする]チェックボックスをオフにします。
3. [保存]を選択します。
4. いったん Salesforce からログアウトしてログインし直します。

5. API トランザクションを再実行します。
   以上の手順により、[ログイン時の IP アドレスとセッションをロックする]オプションが無効になりました。

エンベロープテンプレートに PDF をアップロードするとエラー「このファイルのサイズが上限を超えています」が表示される

エンベロープテンプレートで PDF のファイルサイズエラーを回避する方法について説明します。

エンベロープテンプレートの[文書]ステップでに PDF をアップロードするとに、エラーが発生することがあります。この問題は、すべての PDF で発生するわけではありません。

注:

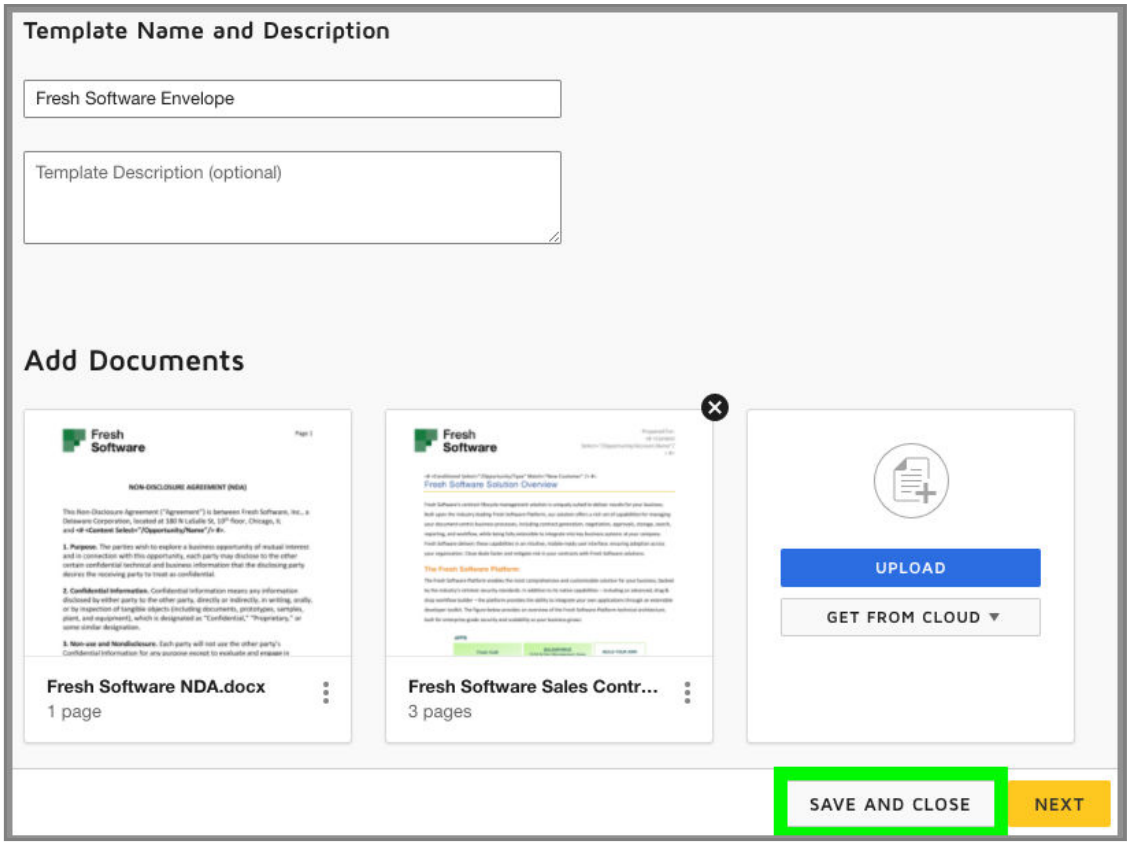
- このエラーは、**3MB** を超えるサイズのファイルをアップロードすると発生します。Salesforce 内の DocuSign テンプレートには、3MB のファイル制限があります。
- ただし、関連付けられている DocuSign eSignature アカウントに直接ログインして同じテンプレートにアクセスする場合、ファイルサイズの上限は **25MB** になります。

再現手順:

1. [文書]ステップで、PDF ファイルをエンベロープテンプレートにアップロードします。文書のロードに失敗します。
2. エラーメッセージ「このファイルのサイズが上限を超えています」が表示されます。
   結果: エンベロープテンプレートに PDF が追加されません。

解決策 1: 関連付けられている DocuSign eSignature アカウントに直接ログインしてそのエンベロープテンプレートに PDF をアップロードします。

1. Salesforce 組織アカウントで、エンベロープテンプレートの[保存して閉じる]を選択します。
2. Web ブラウザーで新しいタブを開き、DocuSign アカウントにログインします。
3. [テンプレート]タブを選択します。
   [マイテンプレート]ページが開きます。
4. 作成しているエンベロープテンプレートを選択します。
   そのテンプレートのページが開きます。
5. [編集]を選択します。
   テンプレートの編集ページが開きます。
6. [アップロード]を選択します。
7. 目的の PDF ファイルをアップロードします。
8. [保存して閉じる]を選択します。



以上の手順により、Salesforce 内ではサイズ制限のためアップロードできない PDF ファイルが正しくテンプレートに追加されました。Salesforce レコードからこのテンプレートを使って送信するエンベロープには、アップロードした PDF が同封されます。

重要: Salesforce 内でこのテンプレートを編集するとエラーが発生し、変更ができなくなることに注意してください。

解決策: PDF ファイルを Salesforce にアップロードしておき、エンベロープ作成時にそれを添付する

1. Salesforce レコードの[メモ＆添付ファイル]に PDF ファイルをアップロードします。
2. エンベロープテンプレートの作成プロセスを完了します。
3. Salesforce のレコードからエンベロープテンプレートのカスタムボタンを選択します。
4. [Salesforce から追加]を選択します。[Salesforce から追加]ダイアログボックスが開きます。
5. [メモ＆添付ファイル]にアップロードした PDF のチェックボックスをオンにします。
6. [追加]を選択します。
7. エンベロープの送信プロセスを完了します。
   以上の手順により、エンベロープテンプレートに追加できなかった PDF ファイルが、送信時に[メモ＆添付ファイル]から追加されました。

DocuSign eSignature for Salesforce - 用語集

自動配置テキスト**:** ユーザーが指定するリテラル文字列で、それに対して何らかのアクションを実行したり、指定したデータや入力で文字列が置き換えられたりします。

文書の一括作成**:** 複数のテンプレート文書を関連付けて、すべての文書を一括生成します。

データフィールド**:** 電子形式またはデジタル形式で格納される数量、文字、記号など、特定の種類のレコードに関連する特定の情報。

データソース**:** 生成する文書に取り込む（差し込む）データの取得元。

DocuSign Gen ユーザー**:** ユーザーまたは管理者として DocuSign Gen アカウントにアクセスできるユーザー。

DocuSign フィールド**:** DocuSign を使って文書上に配置され、署名者が署名したり特定のデータを入力したりできるフィールド。オプションで、署名者が DocuSign フィールド内に入力した情報を Salesforce 側のデータに反映させることもできます。署名、署名日、役職などの DocuSign フィールドがあります。

差し込みフィールドのインポート**:** DocuSign などの既存のテンプレートから差し込みフィールドを選択して、テンプレート設定として適用します。

メインデータソース**:** ユーザーが文書生成アクション処理を起動する Salesforce オブジェクト。たとえば、メインデータソースとして[商談]オブジェクトを選択した場合、そのオブジェクトおよび関連オブジェクト（[取引先]オブジェクトや商談品目名など）の任意のデータを生成文書内に取り込むことができます。